

三等局	毎日三回トス	毎日二回トス	毎日一回トス	毎日一回トス	月十五回トス	月十五回トス	月十五回トス	月十五回トス	月十五回トス	月十五回トス	計
	一	二九	一	五〇七	二八	三	二	四	二	二	六一六
合計	三	三三	五	五八三	二八	三	二	四	二	二	六六二

二、集配回数減少ノ箇所(悉ク兼行)

三等局	毎日二回トス	毎日一回トス	月一回トス	月一回トス	計
	二八	九	三	二	四二

一、二等局ニハ集配回数ヲ減少セシモノナシ

又市外僻遠ノ地ニ對シ繼替集配方法ヲ施行セシモノ十五箇所アリ而シテ其中遞送人ヲシテ駐在地ノ集配人ト繼替交換セシムルコト、セルモノ一箇所アリ

事業經濟中請負集配ニ屬スルモノ、維持困難ナルハ實ニ數年來頭腦ヲ煩ハス所ニシテ毎歲比較的多大ノ經費ヲ増加シ之カ救濟ニ努メタル結果稍其度ヲ減少スルニ至リシモ未タ全ク其困難ヲ排除スル能ハス惟フニ是レ比年物價勞銀ハ益昂騰ノ傾向アルニモ拘ハラズ豫算ノ増加ハ之ニ伴ハス財計頗ル餘裕ナキニ基因スルモノ多シト雖モ一面或ハ經理上其當ヲ得サルニ職由スルモノナクンハアラス今ニシテ斷然之カ救濟ノ途ヲ講セスンハ遂ニ其弊ヲ底止スル日ナカラシメ且ツ冗費費用ヲ節約シ其足ラサルヲ補フノ一端ト爲セル外尙ホ多大ノ費額ヲ増加シ以テ

根本的ニ維持上ノ整理改善ヲ計ルコトヲ得タルハ眞ニ祝スヘキコトニシテ之カ爲メ積年ノ宿弊ヲ一掃シ從來ノ困憊ヲ救治シ得タルハ疑ヲ容レサルナリ今其改善ノ内容ヲ摘記スレハ(一)請負集配人給料定率ヲ改正シタルコト(二)小包郵便物集配請負料ハ一定ノ算出率ニ依リテ之ヲ決シ又配達料ハ市内一箇ニ付一錢市外一箇ニ付二錢ノ割合ヲ以テ其物數ニ應シ之ヲ支給シ來リシモ三等局ノ取扱數ハ概ネ僅少ニシテ取集ノ如キ通常郵便ノ集配ト兼行セシムルモ實際支障ヲ見サルノミナラス又配達ニ在リテハ現ニ各局大抵通常郵便ノ配達ト兼行セシメ居ルノ實況ナルヲ以テ特ニ集配料ヲ支給スルハ殆ト費費ニ屬スルナキヤノ疑ヲ生スルニ因リ從來ノ規定ヲ全廢シ更ニ通常郵便集配請負料ノ算出方法ニ倣ヒ之カ請負料ヲ支給スルノ制ト爲シタルコト(三)訴訟書類ノ送達ニ付テハ規定上特殊ノ手數ヲ要スルニ似タルモ實際多クハ通常郵便ト併配セシメ書留其他特殊郵便ノ配達ト甚シキ差異アルヲ見サルニ之ニ對シ送達料ヲ支給スルハ是レ亦冗費ニ類スルノミナラス集配料算出上之ニ相當スルモノハ既ニ支給セラル、義ナルヲ以テ自然重複ノ嫌ナキ能ハサルニ因リ之カ支給ヲ廢止シタルコト(四)一、二等局集配人給料ハ請負集配料ノ如ク維持上甚シキ困難アラスト雖モ之ヲ世上一般ノ物價勞銀ニ照セハ未タ其比準ヲ得サルコト多キヲ以テ之カ救濟ヲ計ランカ爲メ經費ヲ増加シタル結果大ニ一般勞銀ニ接近セシムルコトヲ得タルコト等ハ蓋シ其主要ナルモノナルヘシ其他郵便區畫及集配區畫ノ變更ニ就キ改良ヲ施セシモノ少ナカラス

第六章 郵便線路

通信 郵便線路



本年度中郵便線路ニ關シ施設シタル事項ノ重要ナルモノヲ敘述スレハ左ノ如シ

一 通常道路郵便線路 陸路遞送ニ就キ本年度郵便事業ノ定期改良ヲ施設スルコト通常郵便二百六十八件小包郵便三十三件合計三百一十一件此遞送請負料月額金三千百六圓ヲ増シ郵便線路一日延里程通常郵便千四百三十五里小包郵便百八里ヲ延長セリ此他臨時ニ郵便線路ノ開廢ヲ行ヒシモノアリ是レ主トシテ鐵道工事ノ竣成シタルカ爲メニシテ就中與羽北線能代五城目間同五城目秋田間陰陽線御來屋境間篠ノ井線松本鹽尻間中央西線多治見中津川間ノ延長ハ大交通線路ノ脈路貫通ニ尠カラサル變動ヲ來シ大ニ郵便物ノ速達ヲ見ルニ至レリ今鐵道延長ニ伴ヒ陸路郵便線路竝ニ經費ニ波及セシ狀況ヲ表示スレハ左ノ如シ

鐵道延長月日	延長線路及區域	鐵道郵便延長		陸路郵便縮少		鐵道便經費		陸路便經費	
		實哩程	延哩程	實哩程	延哩程	增加年額	減少年額	增加年額	減少年額
三十五年六月一日	中野原、島澤、篠ノ井、松本	七〇〇	四二〇	二二〇	二〇九	七四九九	五二五	一〇一四	一〇一四
同 同	西條、新井	一五〇	九三〇	四〇七	四一三	六六〇九	一〇一四	一〇一四	一〇一四
七月一日	生野、新井	四一九	二五三四	二三四	八一五	一三三〇	二七八	二七八	二七八
同 同	大石、舟形	八二〇	四九四〇	三三三	二八三三	四〇九三	二〇五三	二〇五三	二〇五三
八月一日	能代、五城目	一七二〇	一〇三三四〇	八〇二	六二〇八	八四六二	三〇七二	三〇七二	三〇七二
九月六日	久喜、加須	七二二	四二七二	二三四	五三三	一一三三	一一三三	一一三三	一一三三
十月一日	中津川、大月	四二〇	二五四〇	一三〇	一六三三	二八九一	一一九九	一一九九	一一九九
同 同	五城目、秋田	一七四〇	一〇五〇〇	四一四	三三〇一	九一四一	四七〇〇	四七〇〇	四七〇〇
十一月一日	御來屋、境	二二六〇	一三六四〇	六二六	四六二八	五八三三	七八九〇	七八九〇	七八九〇

十二月十一日	同 同	同 同	同 同	同 同	同 同	同 同	同 同	同 同	同 同
九〇〇	八四六	一〇四一	二七二〇	一四三〇	一三三〇	一三〇〇	一六四〇	一〇四	一〇四
五四〇〇	一七二二	三六六〇	一六三三〇	八六〇〇	六八〇〇	一六三三	一〇一	六二四	六二四
四〇三	四一五	七一九	一一六	二二五	五二五	一〇一	三〇九	三〇九	三〇九
四〇二〇	八三三	一五〇三	一一七〇五	三三三	二七一一	二二九	二二九	二二九	二二九
二九八六	一一九	一六五二	二五二四	一八三〇	一六八七	六五七	六五七	六五七	六五七
一、八〇八三	三三〇	九七五二	一一二九六	六五二	五〇二四	五〇二四	五〇二四	五〇二四	五〇二四

二 鐵道郵便線路 鐵道郵便線路ハ鐵道線路ノ延長ニ伴ヒ之ヲ擴張シタルモノ十七箇所既設線路ヲ新ニ郵便線路ニ組入レシモノ二箇所ニシテ其實哩數ハ通常郵便小包郵便共ニ百八十七哩延哩數ハ通常郵便千六十六哩小包郵便五百八十五哩ナリ又遞送便數ノ増減ハ車中扱便ニ於テハ十二區域ヲ増シ閉糞便ニ於テハ十九區域ヲ増シ五區域ヲ減セリ而シテ其哩程ハ車中扱便通常郵便實哩七十二哩同延哩百三十八哩小包實哩六百十哩同延哩九百五十三哩ヲ増シ閉糞便ニ在リテハ差引通常實哩三百十四哩同延哩三百九十哩ヲ増シ小包郵便實哩六哩同延哩二哩ヲ減セリ此他事業ノ發展ニ伴ヒ車室ヲ擴張セシモノ二十一區域千八百八十二哩閉糞便線路ヲ車中扱便線路ニ改定セシモノ二區域十八哩トス而シテ又受渡局數ニ於テハ四十四局ヲ追加シ六局ヲ削除セリ之ニ線路延長ニ伴ヒ新ニ受渡ヲ開始セシモノ四十四局ヲ加フルトキバ前年度末ニ比シ實ニ八十二局ヲ増加セリ



鐵道郵便物受渡機械ニ關シテハ前年度ニ於テ夜中受渡ニハ「アセチリン」瓦斯燈ヲ使用スヘキ  
 コトニ決セラレシモ燈器ノ準備整ハサリシニ因リ實行ノ運ニ至ラサリシカ本年度ニ入り始  
 テ東海山陽兩線ニ使用スルニ至リ其結果頗ル良好ナリ而シテ本年度ニ於テ新ニ器械受渡ヲ  
 開始セシハ東京神戸間ニ在リテハ蒲郡、岡崎、福岡、彦根ノ四局ヲ増シタルニ過キササルモ一般ニ  
 成績益見ルヘキモノアルニ因リ更ニ之ヲ九州線ニモ施行セントシ目下計畫中ニ屬ス  
 鐵道郵便線路接續地ニ於テ積替ヲ要スヘキ郵便物ハ直ニ積替ヲ爲シ得ヘキモノ若クハ少時  
 間待合ノ上積替ヲ爲シ得ヘキモノヲ除ク外ハ總テ其地所在ノ郵便局ニ持込ミ保管ヲ爲サ、  
 ルヘカラサルヲ以テ其取扱ノ不便經濟ノ不利尠ナカラサルニ因リ是等ノ狀況ニ在ル主要ナ  
 ル停車場ニ鐵道郵便室ヲ建設シ積替郵便物保管ノ場所ニ充テ前記ノ不便不利ヲ救済シ併テ  
 係員郵便夫遞送人等ノ事務所兼詰所ト爲スノ目的ヲ以テ其工事ニ著手シ岩見澤、郡山、小山、八  
 王子、龜山、貴生川、神崎、津幡、高岡、岡山、熊本ノ各驛ハ既ニ其設置ヲ竣了セリ  
 三十六年一月二十日官線東海、北陸兩線山陽關西九州其他關係各會社線ハ悉ク其發著時刻ヲ  
 改正シ就中東海山陽兩線ハ最大急行列車ヲ一層快速ナラシメ同時ニ東海山陽九州北陸各本  
 支線全部ノ搭載時刻ヲ改正シ尙ホ遞送便數ノ増減補助便ノ開廢車室ノ擴張等種々改良ヲ加  
 ヘタルカ爲メ搭載料ノ如キハ通常小包兩郵便ヲ合シテ月額八千六百餘圓ノ増額ヲ要セシト  
 雖モ東京ト關西北陸中國九州各地方トノ間ニ於ケル郵便交通ヲシテ非常ニ迅速ナラシムル  
 ヲ以テ事業上ノ利益ハ蓋シ搭載ノ増費ヲ償ヒテ尙ホ餘リアルヘシ即チ東京ト中國九州地方

ニ於テハ十二分以上五時二十三分北陸地方ニ在リテハ九分以上一時五十九分關西線沿道ノ  
 地方ニ對シテハ六分以上一時十八分ノ速達ト爲レリ

三、水路郵便線路 通常道路ニ於ケル郵便物遞送至難ノ地又ハ各島嶼ニ對シ進テ航路ヲ開設セ  
 シメ或ハ航海度數ヲ増加セシムル等ノ方針ニ依リ船舶運送業者ト交渉ヲ遂ケ實施ヲ見ルニ  
 至リタルモノ枚舉ニ遑アラヌ爲ニ郵便物運送上著大ノ利便ヲ享有セシメタルノミナラス一  
 般運輸交通上其地方ニ與ヘタル便益鮮少ナリトセス而シテ郵便物遞送料ハ航路開始又ハ增  
 便ニ依リ通常道路遞送方法ヲ改正シテ節約シ得タル陸路郵便物遞送料ヲ以テ償フノ方針ヲ  
 採リシカハ全般ヲ通シ著シキ増額ヲ要セサリキ今其重ナルモノヲ舉クレハ鹽釜宮古間航路  
 開設ハ陸中東半部ニ於ケル陸路郵便物遞送ノ困難ヲ除去シ地方通信上多大ノ利便ヲ増進セ  
 リ又神戸高知間高知甲浦間高知下田間ノ各航路航海度數ヲ増加シ毎日定時發ニ改メタル結  
 果高知縣下發著郵便物ハ著シキ速達ヲ來タセリ從來本州各地ト高知縣下トノ相互發著通常  
 郵便物ハ殆ト多度津高知間陸路ヲ採リタル爲メ時々雨雪ノ郵便物ヲ浸濡セシムルコトアリ  
 其郵便物遞送費ノ如キモ又頗ル多額ニ上リタルカ神戸高知線ノ增便ニ依リ却テ其經費ヲ節  
 減シ且ツ郵便物ノ迅速安全ヲ購ヒ得タルノミナラス高知下田間高知甲浦間各航路ノ增便ト  
 共ニ土佐各地方交通上ノ面目ヲ一新セリ德島甲浦線ノ大阪ニ延長シタルト神戸撫養線ノ開  
 設ハ淡路阿波間ニ於ケル通信ノ不便ヲ除去シ大阪三輪崎線ノ開始ハ大阪四日市線ノ熱田ニ  
 延長ト共ニ紀州發著郵便物ヲ速達シ下關境線ノ開設ハ事業用物品運送上至大ノ利便ヲ得セ



シメタリ又港灣ニ於ケル海陸郵便物ノ接續ヲ計ルカ爲メ曩ニ北清事變ノ際購入シ宇品港ニ備附ケタル小蒸氣船ヲ多度津ニ回航シ或ハ小樽港内郵便物配達及船舶郵便物受渡用トシテ小蒸氣船一隻ヲ新造備附ケ其他解船端艇ヲ設備スルモノ十一港十三隻海陸便ノ聯絡ヲ計リ又港内配達ヲ迅速ナラシメタルモノ實ニ鮮少ナリトセス

本年度末現在郵便線路ノ狀況ヲ案スルニ通常郵便ニ於テハ通常道路一萬二千三百七哩鐵道四千二百十七哩水路一萬七千九哩鐵索二哩受渡線路五百十五哩ニシテ前年度末ニ比シ通常道路ニ二百十六哩鐵道ニ百八十八哩水路ニ二千二百十九哩前年及本年兩年度末ヨリ外國航路ニ間三九百五十三里受渡線路ニ二十一哩ヲ増加シ鐵索ハ異動ナシ又小包郵便ニ於テハ通常道路間ヲ除キ比較セリ受渡線路四百六十九哩ニシテ鐵道水路及鐵索ハ通常郵便ト異ナルナシ之ヲ前年度末ニ較フレハ通常道路三百四里ヲ増シ受渡線路十三里ヲ減セリ而シテ鐵道水路及鐵索ノ増減ハ亦通常郵便ト異ナルナシ

### 第七章 郵便取扱上ノ施設

從來小包郵便料ハ距離ノ遠近ニ依リ其率ヲ異ニシ創始後嘗テ之カ改正ノ舉ナキニアラサリシモ猶ホ未タ全ク之カ痕跡ヲ絶ツニ至ラサリキ是レ蓋シ該郵便ノ狀況及事業經濟等ニ牽制セラレ止ムヲ得サルノ策ニ出テタルモノナリトス然ルニ時勢ノ進歩ニ伴ヒ郵便物數大ニ増加シ陸ニハ鐵道延伸シ海ニハ航路擴張シ交通ノ便愈加ハルノ今日ニ在リテハ敢テ舊制ヲ墨守スルノ必要ヲ認メサルナリ熟現時ニ於ケル事業經濟ノ實況ヲ見ルニ里程ノ遠近ハ必シモ經費ニ著シ

キ影響ヲ及ホサス汽車汽船ノ便ニ依ルモノハ比較的僅少ノ費用ヲ以テ之ヲ遠距離ニ遞送スルヲ得ルニ反シ陸路遞送ニ係ルモノハ近距離ト雖モ却テ是ヨリ多額ノ經費ヲ要スルカ如キ現象ヲ呈シ遠近料金ヲ異ニスルノ目的ト聊カ相背馳スルノ感ナクンハアラス況ヤ郵便制度ノ要義トシテ遠近均一料金タラサルヘカラサルハ爭フヘカラサルコトニ屬スルヲ以テ三十五年十二月十六日ヨリ斷然從來ノ規定ヲ廢止シ距離ノ遠近ニ拘ハラス料金均一ノ制ヲ採リ同時ニ量目ノ區分ニ改正ヲ加ヘタリ唯同一郵便區内ニ達スルモノハ單ニ集配ノミニ止マリ遞送ヲ要セサルニ因リ之ヲ均一制ノ外ニ措キ量目ノ輕重ヲ論セス一區内ヲ通シテ料金五錢ヲ徵收スルコト、セリ而シテ改正ノ結果料金ノ收入ニ減少ヲ來スカ如キコトナカルヘシト雖モ目下專ラ實驗中ニ屬ス其詳細ハ他日ヲ期シテ之ヲ發表セン尙ホ此改正ニ依リテ里程表調製ノ手數ヲ省略シ且ツ取扱上一層簡捷ナルヲ得タルノミナラス公衆ニ於テモ一見料金算定ノ便ヲ得差出上尠ナカラサル不便ヲ除去スルニ至レリ又内地臺灣間ノ料金モ同シク均一制ニ則リ改正ヲ加ヘタリ而シテ從來ニ比シ大ニ其料金ヲ輕減セシ所以ノモノハ同島ノ經營益進歩スルニ伴ヒ諸般ノ經濟狀態大ニ整備シ事業維持上昔日ノ如ク困難ヲ感セス敢テ高額ノ料金ヲ徵收スル必要ヲ見サルニ因ル又此改正ニ伴ヒテ清韓小包郵便規則ヲ改正シ日本清韓三國相互間ニ發著スル小包郵便物料金ノ計算ヲ簡易ニスルト同時ニ之ヲ低減シ特ニ定メタル臺灣及清韓國小包郵便料ナルモノヲ廢止シ三十六年一月十六日ヨリ之ヲ實施セリ

受取所ノ配置ハ今ヤ殆ト全國ニ洽ネシト雖モ同所ニ於テ猶ホ未タ代金引換郵便物ノ引受竝ニ



同取立金ノ拂渡ヲ取扱ハサルハ一般ノ不便トスル所ニシテ科便普及ノ目的ニ副ハス隔靴搔痒ノ感ヲ禁スル能ハス而モ一面既ニ爲替事務ヲ取扱ヒ送金ノ便アルニ拘ハラス猶ホ未タ此事務ヲ開始セサルハ爲替機關ノ運用上ヨリ觀ルモ施設上其策ヲ得タルモノト云フヲ得サルヘシ因テ三十五年八月十六日ヨリ全國郵便電信受取所及郵便受取所ヲシテ代金引換郵便物ノ引受並ニ同取立金ノ拂渡ヲ取扱ハシムルコト、シ以テ其機能ヲ完カラシメタリ

郵便取扱規程及郵便受取所郵便取扱規程ハ郵便法實施ノ際制定シタルモノニシテ爾來幾多ノ經驗ヲ重ヌルニ從ヒ或ハ規定未タ其當ヲ得サルモノ或ハ手數煩雜ナルモノ等種々ノ缺點アルヲ認メタルニ因リ該規程ニ改正ヲ加ヘ以テ取扱上一層適當簡捷ナラシメンコトヲ期セリ今其改正ノ概要ヲ指摘スレハ郵便日記帳ヲ設ケタルコト、深山孤島其他僻陬ノ地ニ宛テタル訴訟書類及特殊取扱ノ郵便物ニシテ通常ノ方法ニ依リ配達シ難キモノハ受取人ノ出頭スルマテ留置スル旨配達局ヲシテ差出人ニ通知セシムルノ制ヲ設ケタルコト、郵便局所ニ差出サ、ル特殊取扱記號ヲ附シタル郵便物若クハ小包郵便物ニシテ寸尺重量及金額ノ制限ニ觸レズ且ツ包裝完全ニシテ記號相當ノ料金ニ不足セサルモノハ便宜其記號相當ノ手續ヲ爲シ其儘遞送配達スルコト、シ往復葉書發信ノ際返信用ニ記載スヘキ事項ハ單ニ受信人ノ宿所氏名ニ限リタルヲ改メテ返信用文言ヲモ記載シ得ルコト、シ遞送集配中ノ新聞雜誌ニシテ行政差押處分ニ附セラレタルモノハ警察署ノ請求ヲ俟テテ引渡ス制ナリシヲ改メテ直ニ之ヲ差押へ最寄警察署若クハ駐在所へ通知シ受領證引換ニ引渡スコト、シ發送準備完了前ニ於ケル郵便物ノ取戻シハ差

出人ノ正當ナルコトヲ確認シタルトキニ限り直ニ還付スルノ制ヲ開キタルコト、式紙ノ多種多樣ニ涉リテ煩雜極リナク且ツ不經濟ニ失スルモノアルヲ廢シ更ニ可成同一ノ式紙ヲ共通シ且ツ炭酸紙ヲ使用セシメ以テ其煩雜ヲ避クルト同時ニ經濟上ノ利益ヲ計ルノ外尙ホ様式ノ缺漏不備ヲ補正シタルコト是レナリ

本邦ト在外郵便局所所在地トノ間並ニ在外郵便局所所在地相互間ニ發著スル通常郵便物ニ關シテハ三十五年六月二十日ヨリ價格表記通常郵便物代金引換通常郵便物並ニ現金取立郵便物ノ取扱ヲ開始セリ而シテ彼我稅關通過上ノ關係ニ基キ價格表記通常郵便物トシテ取扱フ有價ノ物件ハ紙幣又ハ有價ノ證券ニ限り且ツ其料金ハ本邦在外局所間ニ於ケル爲替料トノ權衡ヲ得セシムル爲メ内地ニ比シ稍高價トセリ

外國郵便ニ在リテハ本邦ハ明治十年以降萬國郵便聯合條約ニ加盟シ洽ク諸外國ト通信往復ノ途ヲ開キタリト雖モ該條約ハ金銀珠玉等貴重品ノ郵送ヲ禁遏セルノミナラス郵便物ノ價格ニ對スル保險ノ法ヲ存セス唯僅ニ書留郵便物ノ亡失ニ對シ其價格ノ如何ニ拘ハラス金五十法邦本通貨ニ換算スレハナチ賠償スルノ制アルニ過キササルヲ以テ紙幣金券等有價ノ證券ヲ外國へ郵送邦本給ト二十圓ニ當ルハナチ賠償スルノ制アルニ過キササルヲ以テ紙幣金券等有價ノ證券ヲ外國へ郵送セント欲スル者ハ郵便局へ書留ノ手續ヲ爲スト同時ニ更ニ他ノ機關ニ依リテ保險ヲ附スルノ止ムヲ得サルノ境遇ニ在リ又外國小包郵便ニ在リテハ從來本邦ト佛蘭西獨逸英吉利加那太及香港トノ間ニ約定ヲ締結シテ小包郵便物ノ交換ヲ取扱ヒシモ是等以外ノ諸國ト交換スルモノニ在リテハ其媒介ニ賴ラサルヲ得サルニ因リ暹羅英領印度埃及等ノ如キ諸國へ宛ツル小包郵



便物ハ直接ノ船便アルニ拘ハラズ佛蘭西若クハ英吉利ヲ經由シテ送達セサルヘカラサルカ故ニ勢其郵便料ハ歐洲諸國行ノモノニ比シ不廉ナルノミナラス遞送時間モ殆ト二倍ノ長キヲ要スルヲ以テ是等不便利ヲ除却スル爲メ三十五年十二月一日ヨリ西曆千八百九十七年明治三十年六月華盛頓ニ於テ締結セラレタル價格表記信書及箱物交換約定竝ニ小包郵便交換條約ニ加盟セリ其結果トシテ外國通常郵便ニ於テハ一萬フランク迄ノ表記價格ヲ保險シ貴重品及有價證券等ヲ外國へ郵送スルノ途ヲ開始シ外國小包郵便ニ於テハ英吉利及其殖民地ヲ除クノ外文明諸國ハ概ネ此約定ニ加盟セルヲ以テ諸盟諸國トノ間ニ交換スル小包郵便物ハ各其遞送ノ距離ニ應シテ郵便料金ヲ制定シ且ツ其遞送ニ就テモ直接適當ノ線路ヲ撰擇スルコトヲ得ルニ至レリ而シテ本邦佛蘭西間及本邦獨逸間小包郵便條約ハ本邦カ萬國小包郵便聯合條約ニ加盟スルノ時期迄之ヲ施行スルノ條件ヲ以テ締結シタルモノナレハ本約定實施ノ日ヨリ之ヲ廢止ニ歸セシメタリ又露西亞ニ差出ス小包郵便物ニ添附スヘキ稅關告知書ニハ包有諸件ノ種類別ニ其品名價格及數量ヲ明細ニ記載スルコトヲ要シ右ノ條件ヲ具備セサル小包郵便物ハ露西亞ニ於テ之カ輸入ヲ拒絕スヘキ旨當該國郵政廳ヨリ通知アリタリ

### 第八章 郵便物數

本年度ニ於ケル通常郵便物總數引受ハ八億九千二百四十二萬餘箇ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ八千二百四十九萬餘箇即チ一割二厘ヲ増加セリ總數トシテハ此ノ如ク増進ノ狀アリト雖モ其内容ヲ觀察スレハ其間復々消長アルヲ免カレス今其概要ヲ擧ケンニ内地局所ノ引受數ハ八

億八千九百五十四萬餘箇ニシテ之ヲ前年度ニ較フレハ八千二百七十一萬餘箇即チ一割三厘ヲ増加シタルニ反シ在外局所ノ引受數ハ二百八十八萬餘箇ニシテ前年度ヨリ減少セルコト二十萬餘箇即チ七分二厘ナリ更ニ此數ヲ在清韓兩國局所ニ區別スレハ在韓局所ハ七分四厘ヲ増シタリト雖モ在清局所ハ一割八分八厘ヲ減セリ即チ知ル在外局所引受數ノ衰退ハ在清局所引受數ノ減少ニ因ルモノナルコトヲ由來在外局所引受通常郵便物數ハ四週間調ニ屬スルヲ以テ其期間ノ事情ニ因リ積算上差異ヲ生スヘキハ勿論ナレトモ在清駐屯兵ノ漸次引揚ケタルコト蓋シ其主因ナルヘシ内地局所引受通常郵便物數ノ各種類ニ就キ前年度ト比較スルトキハ孰モ増加セリト雖モ其内最モ著シキハ業務用書類ノ五割三分四厘ニシテ農產物種子二割三分一厘見本一割五分九厘葉書二割八厘書狀九分二厘書籍類八分九厘順次之ニ次キ新聞雜誌ノ六分九厘ヲ以テ最少ノ増加トス又以上ノ内特殊取扱ニ屬スル郵便物ノ狀況ヲ述ヘンニ前年度ヨリ増加セルモノハ現金取立口數三割四分九厘配達證明一割四分四厘書留九分三厘別配達七分約束郵便二分四厘ニシテ其減少セシモノハ留置普通五分二厘留置通知四割五分八厘價格表記箇數二割三分一厘代金引換箇數五割三分ナリ價格表記箇數ハ此ノ如ク減少シタリト雖モ其金額ニ在リテハ却テ五割六分四厘ノ増加ヲ見ル是レ皮相上奇異ノ感ナキ能ハスト雖モ會テ客年度ニ於テ價格表記料金ヲ高ムルト同時ニ其表記金額ノ制限ヲ廢止シタルヲ回顧スレハ直ニ其結果ナルコトヲ聯想スルニ難カラサルヘシ代金引換金額モ又其箇數ノ趨勢ト反對ノ方向ニ立チ二分四厘ノ増加ヲ表シタルヨリ考フレハ蓋シ亦價格表記料金改正ノ影響ヲ被リタルモノナルヘ



シ何トナレハ代金引換ト爲スヘキモノハ通常郵便物ニ付テハ價格表記ニ限リタレハナリ  
 小包郵便物引受總數ハ千三十一萬餘箇ニシテ前年度ニ比スレハ一割一分一厘ノ増加トス又引  
 受局所ノ地域ニ依リテ之ヲ區別スレハ内地局所千二十九萬餘箇在外局所一萬六千餘箇ニシテ  
 内地局所ハ一割一分一厘在外局所ハ四割五分五厘ヲ増加セリ而シテ其増加ハ局所ノ増設及業  
 務ノ擴張ニ伴フ自然ノ結果ニ外ナラサルヘシ

内地局所引受特殊取扱小包郵便物數中前年度ヨリ増加セルモノハ價格表記ニアラサル代金引  
 換箇數ノ二割九分一厘其金額二割四分二厘此他價格表記ニ屬スル代金引換別配達二割二分三厘配達證明九分三厘ニシテ減少セルモノハ價格表記ノ代金引換箇數五割七分二厘其金額五割九分六厘同代金引換ニアラサルモノ、箇數二割二分一厘其金額一割四分三厘留置普通一分三厘同通知三割九分三厘ナリ價格表記箇數及金額減少ノ原因ハ通常郵便物ニ就キ續述セシト同一ノ關係ニ出テタルモノニアラサルカ

通常郵便物數ハ駭々乎トシテ日ニ月ニ増進ノ勢ヲ呈セリ今内地局所引受數ニ就キ本年度ヲ以テ十年前即チ二十五年ニ比スレハ實ニ二倍二分ノ増加ニシテ人口一人ニ對スル發送郵便物數二十五年ニ於テハ僅ニ六箇八分ナリシモ本年度ニ至リテハ十九箇四分ノ多キニ達シ若シ無料ヲ除キ有料ノミニ就テ云ヘハ六箇四分ナリシモノ十八箇七分ノ多キニ達セリ更ニ種類別トシテ之ヲ見レハ人口一人ニ對シテ書狀一箇八分ナリシモノ四箇六分ト爲リ葉書三箇二分ナリシモノ十箇六分新聞雜誌一箇二分ナリシモノ三箇三分ト爲リシ等ナリ

小包郵便物數ノ増進ニ至リテハ更ニ大ニ見ルヘキモノアリ即チ本年度内地局所引受總數ハ二十六年度ノ同引受數ニ十四倍シ二十六年度ニ於テ人口百人ニ付僅ニ一箇八分ニ過キサリシ發送數ハ本年度ニ至リ二十二箇五分即チ十ノ多キニ達シ若シ無料ヲ除キ有料ノミヲ見レハ一箇七分ナリシモノ二十一箇四分ノ多キニ上レリ  
 通常郵便物及同郵便物中特殊取扱ト爲シタルモノ、逐年増進ノ狀況ヲ表示スレハ左ノ如シ

内地局所取扱郵便物數引受最近十箇年比較

種 類	二 十 六 年 度		二 十 七 年 度		二 十 八 年 度		二 十 九 年 度		三 十 年 度		三 十 一 年 度		三 十 二 年 度		三 十 三 年 度		三 十 四 年 度		三 十 五 年 度		
	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	書 狀	人口一ニ付	
通 常	八三、五六三	三〇	九八、九九三	三三	一一三、四八八	三七	一三六、七三六	三〇	一四八、三四一	三三	一六〇、九一七	三三	一七三、三三三	三三	一八〇、〇〇九	三三	一九五、五二八	三三	二〇八、五三三	三三	二二八、五三三
往 復	一五八、一四七	一〇六、六三六	一七〇、六三六	一〇六、六三六	一八三、三六八	一〇六、六三六	一九八、六三六	一〇六、六三六	二一七、〇九三	一〇六、六三六	二三三、六三六	一〇六、六三六	二五〇、八三三	一〇六、六三六	二六八、〇〇九	一〇六、六三六	二八六、八三三	一〇六、六三六	三〇五、五三三	一〇六、六三六	三二四、五三三
封 緘	一八、一四七	一〇、六三六	一九、六三六	一〇、六三六	二〇、三六八	一〇、六三六	二一、六三六	一〇、六三六	二二、〇九三	一〇、六三六	二三、六三六	一〇、六三六	二四、八三三	一〇、六三六	二六、〇〇九	一〇、六三六	二七、八三三	一〇、六三六	二九、五三三	一〇、六三六	三一、五三三
私 封	一、一四七	〇、六三六	一、六三六	〇、六三六	二、三六八	〇、六三六	三、六三六	〇、六三六	四、〇九三	〇、六三六	五、六三六	〇、六三六	六、八三三	〇、六三六	八、〇〇九	〇、六三六	九、八三三	〇、六三六	一一、五三三	〇、六三六	一三、五三三
葉 書	一、一四七	〇、六三六	一、六三六	〇、六三六	二、三六八	〇、六三六	三、六三六	〇、六三六	四、〇九三	〇、六三六	五、六三六	〇、六三六	六、八三三	〇、六三六	八、〇〇九	〇、六三六	九、八三三	〇、六三六	一一、五三三	〇、六三六	一三、五三三
計	一八、二九四	三六、二七二	一九、三〇二	三六、二七二	二〇、七三六	三六、二七二	二二、二七二	三六、二七二	二三、八三三	三六、二七二	二五、二七二	三六、二七二	二六、八三三	三六、二七二	二八、〇〇九	三六、二七二	二九、六三六	三六、二七二	三一、一六六	三六、二七二	三二、〇六六
新 聞 雜 誌	五、九六七	一、四	八、〇〇〇	一、四	九、六三六	一、四	一一、三三三	一、四	一三、〇〇〇	一、四	一四、六三六	一、四	一六、三三三	一、四	一八、〇〇〇	一、四	一九、六三六	一、四	二一、三三三	一、四	二三、〇〇〇
人 口 一 二 付	一、一四七	〇、六三六	一、六三六	〇、六三六	二、三六八	〇、六三六	三、六三六	〇、六三六	四、〇九三	〇、六三六	五、六三六	〇、六三六	六、八三三	〇、六三六	八、〇〇九	〇、六三六	九、八三三	〇、六三六	一一、五三三	〇、六三六	一三、五三三

通信 郵便物數



種 類	通										總 人 口 一 二 付 計
	有					無					
	書籍、印刷物、寫真、畫圖	業務用書類	商品見本及雕形、博物學上ノ標本	計	農産物種子	貨幣封入	小計	人口一付	合計	人口百付	
二六年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
二七年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
二八年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
二九年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三〇年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三一年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三二年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三三年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三四年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三五年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

備考 \*封緘業書私製業書及業務用書類ハ三十三年十月ヲ以テ開始セラレ貨幣封入ハ三十三年九月

月限り廢止セラレ  
三十四、三十五兩年度ニ於ケル無料小包郵便物數ノ著シク増加シタル所以ハ現金遞送規程ニ據ル  
遞送額ノ返還又ハ電報書類差立手續改正等ノ結果ニ因ルモノトス

在外局所取扱郵便物數最近十箇年比較

種 類	通										總 人 口 一 二 付 計
	有					無					
	信書(引受配達)	端書	印刷物	業務用書類	商品見本	計	無料	合計	有料	無料	
二六年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
二七年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
二八年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
二九年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三〇年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三一年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三二年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三三年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三四年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
三五年度	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

通信 郵便物數



備考	小包郵便ノ三十二年十一月一日ノ開始トス	種別		年度
		小包配	總計	
			計	二十六年度
			計	二十七年度
			計	二十八年度
			計	二十九年度
			計	三十年度
			計	三十一年度
			計	三十二年度
			計	三十三年度
			計	三十四年度
			計	三十五年度

内地局所郵便物特殊取扱件數金額累年比較

種別	留配	書配	表價	代金引換	三十三年度		三十四年度		三十五年度	
					通	小	通	小	通	小
別配	留配	書配	表價	代金引換	通	小	通	小	通	小
普通	普通	普通	普通	普通	129,033	6,000	131,140	4,917	124,871	6,015
通知	通知	通知	通知	通知	7,651	5,956	4,655	11,566	4,433	11,415
證明	證明	證明	證明	證明	57	996	142	860	77	523
有留	有留	有留	有留	有留	108,892	3,751	134,806	3,159	154,160	77
無留	無留	無留	無留	無留	7,871,986	80,798	8,077,986	80,808	8,908,081	80,808
有格	有格	有格	有格	有格	1,133,708	11,526	977,053	7,996	1,186,078	11,526
無格	無格	無格	無格	無格	1,837,335	5,463	3,761,781	7,996	6,274,099	6,015
金筒	金筒	金筒	金筒	金筒	2,065	38,774	1,089	55,613	512	7,193
金筒	金筒	金筒	金筒	金筒	2,065	38,774	1,089	55,613	512	7,193
合計	合計	合計	合計	合計	2,065	38,774	1,089	55,613	512	7,193

在外局所郵便物特殊取扱件數金額累年比較

種別	留配	書配	表價	代金引換	三十三年度		三十四年度		三十五年度	
					通	小	通	小	通	小
別配	留配	書配	表價	代金引換	通	小	通	小	通	小
普通	普通	普通	普通	普通	75,867	1,522	100,298	946	172,228	2,833
通知	通知	通知	通知	通知	3,175	85	3,304	104	6,970	174
證明	證明	證明	證明	證明	72,692	101	96,994	36	106,624	142
有留	有留	有留	有留	有留	101	7	146	5	146	5
無留	無留	無留	無留	無留	72,692	101	96,994	36	106,624	142
有格	有格	有格	有格	有格	1,133,708	11,526	977,053	7,996	1,186,078	11,526
無格	無格	無格	無格	無格	1,837,335	5,463	3,761,781	7,996	6,274,099	6,015
金筒	金筒	金筒	金筒	金筒	2,065	38,774	1,089	55,613	512	7,193
金筒	金筒	金筒	金筒	金筒	2,065	38,774	1,089	55,613	512	7,193
合計	合計	合計	合計	合計	2,065	38,774	1,089	55,613	512	7,193

通信郵便物數



備考 表中ハ三十三年十月一日×ハ三十五年六月二十日已降ノ取扱ニ係ルモノトス

上掲内地局所取扱郵便物中外國へ發送シ又ハ外國ヨリ到着シタルモノ、交換國別及累年比較ハ左ノ如シ

外國通常郵便物數各交換國別

三十五年度

洲名	國名	直接交換開始年月	信書	端書	印刷物	業務用書類	見本品	免稅	書留	合計	前年度比シ増
亞細亞	清	九年四月	六六五、八三四	二〇、八九一	八九二、五五五	八四五	三三八〇	二八、四四四	四二、四三三	八三六、三三四	減五〇、九五三
	韓	同十一月	六七九、三三七	一六一、三〇四	二一〇、八三四	四三九四	七二六七	四二、八七三	四二、八七三	八三六、三三四	同
	英領殖民地	十二年四月	七三三、五二八	四三三、三三〇	五三三、一三三	九七一	三〇、八一〇	二一、〇八八	四八、二五七	九八八、〇二七	減二八、一三三
	露西亞	同	四七六、二二六	三三三、四九二	九六、九九三	二六二六	三七、二〇六	四八、二五七	九八八、〇二七	同	同
	英領印度	同	一一四、〇〇八	八、二九四	四六、二八八	八〇六	一、三三六	一一、四二二	一一、四二二	一六六、五〇八	減三三、四四七
	露西亞	同	一九〇、〇〇二	二〇、四七五	四〇、七四四	四〇三	五九八	一〇、八八五	一〇、八八五	一九三、三三九	減三三、九六五
	英領印度	同	六七、三三七	六、六九五	五五、四六六	一三	一三〇	四、五五二	五、〇九八	一一三、九六七	減一六、五二二
	露西亞	同	二九、九二六	七、七六一	八、七六二	一	一〇四	一〇、九三六	一〇、九三六	一三、五五二	減一、〇二八
	英領印度	同	四〇、六七七	三、二一一	一五、六〇〇	二七三	九八五	三、九二二	三、九二二	四九、一七三	減一〇、三八八
	露西亞	同	四〇、六七七	四、〇〇四	一六、〇四二	一九五	一〇四	三、九二二	三、九二二	四九、一七三	減一〇、三八八
亞細亞	蘭領殖民地	同	八、七三六	九六二	四一、八六六	二六	一五六	一、三二一	一、三二一	一五、八八三	減一、六六五
	佛領殖民地	同	八、四三七	九六二	三六、二七七	二六	一五六	一、三二一	一、三二一	一五、八八三	減一、六六五
	佛領殖民地	同	六、二〇一	七四一	一八、二二〇	五二	一〇四	一、三二一	一、三二一	一五、八八三	減一、六六五
	佛領殖民地	同	七、七三三	二、七七一	四、五七六	二六	一〇四	一、三二一	一、三二一	一五、八八三	減一、六六五
	暹羅	同	三、六五三	七四一	四、二九〇	二六	一〇四	一、三二一	一、三二一	一五、八八三	減一、六六五
亞細亞	土耳其	同	六六三	二六	一一、二二一	一	一三	一	一	九八、四四一	減六、九一
	比律賓群島	未詳	二七、四八二	二、八四四	一一、〇九〇	三〇	五八五	一六九	四、〇三七	四六、六七七	減二五、〇四九
	其他	同	一八、三三〇	三、三三四	五、三三〇	三九	一七	六四三	六四三	三三、七九六	減一、〇八三
	其他	同	七、一五〇	一、九七六	三、六七九	二六	五二	一〇、一五	一〇、一五	一三、三〇六	減六、六五四
	其他	同	八、九七七	九七五	四、八二二	二六	五二	二〇、一五	二〇、一五	一六、八七四	減七、六一三
	計	同	一、六五〇、八五七	六六二、〇二五	五、六〇、一四三	一一、九六〇	一、三〇、五二二	六、二二七	九三、三五一	一、〇五三、四一五	減八七、六六三
	計	同	一、三九三、四八三	五二五、八一一	三、九二六、七八	七、七六一	二、三、九七二	八、二二七	一一、三、七七八	一、〇五三、四一五	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三

洲名	國名	直接交換開始年月	信書	端書	印刷物	業務用書類	見本品	免稅	書留	合計	前年度比シ増
亞細亞	土耳其	同	六六三	二六	一一、二二一	一	一三	一	一	九八、四四一	減六、九一
	比律賓群島	未詳	二七、四八二	二、八四四	一一、〇九〇	三〇	五八五	一六九	四、〇三七	四六、六七七	減二五、〇四九
	其他	同	一八、三三〇	三、三三四	五、三三〇	三九	一七	六四三	六四三	三三、七九六	減一、〇八三
	其他	同	七、一五〇	一、九七六	三、六七九	二六	五二	一〇、一五	一〇、一五	一三、三〇六	減六、六五四
	其他	同	八、九七七	九七五	四、八二二	二六	五二	二〇、一五	二〇、一五	一六、八七四	減七、六一三
	計	同	一、六五〇、八五七	六六二、〇二五	五、六〇、一四三	一一、九六〇	一、三〇、五二二	六、二二七	九三、三五一	一、〇五三、四一五	減八七、六六三
	計	同	一、三九三、四八三	五二五、八一一	三、九二六、七八	七、七六一	二、三、九七二	八、二二七	一一、三、七七八	一、〇五三、四一五	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三
亞細亞	土耳其	同	六六三	二六	一一、二二一	一	一三	一	一	九八、四四一	減六、九一
	比律賓群島	未詳	二七、四八二	二、八四四	一一、〇九〇	三〇	五八五	一六九	四、〇三七	四六、六七七	減二五、〇四九
	其他	同	一八、三三〇	三、三三四	五、三三〇	三九	一七	六四三	六四三	三三、七九六	減一、〇八三
	其他	同	七、一五〇	一、九七六	三、六七九	二六	五二	一〇、一五	一〇、一五	一三、三〇六	減六、六五四
	其他	同	八、九七七	九七五	四、八二二	二六	五二	二〇、一五	二〇、一五	一六、八七四	減七、六一三
	計	同	一、六五〇、八五七	六六二、〇二五	五、六〇、一四三	一一、九六〇	一、三〇、五二二	六、二二七	九三、三五一	一、〇五三、四一五	減八七、六六三
	計	同	一、三九三、四八三	五二五、八一一	三、九二六、七八	七、七六一	二、三、九七二	八、二二七	一一、三、七七八	一、〇五三、四一五	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三
	計	同	二、〇四三、三三〇	一一、五五六	一、〇五三、三三〇	一九、七二一	二、三、九七二	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	一、〇五三、三三〇	減八七、六六三

通信 郵便物數



洲名	國名	直接交換 開始年月	信書	端書	印刷物	業務用 書類	見商 本品	免稅	書留	合計	前年度 比増																																																																																															
												洲名	國名																																																																																													
太平洋	英領殖民地	十二年四月	四九〇七五 二六、四三三	七九〇四 一、五〇八	二一四五〇 七四八八	二九〇 一〇六六	三、四九七 一、〇六六	一三〇 一三〇	三八六八 三、一四五	八六、三三三 三九、六八八	一九、七三三 六、三七五																																																																																															
												計	未詳	七二四、七六三 七、〇八七	八五、九六九 八、一七二	二八三、九九八 五九三、三五九	三、七七〇 二、七〇四	二八、六三九 一、八七三	二、一三三 一、〇二七	三〇、三〇一 二〇、八〇六	五九、五七二 四、二八六	一九、二二六 一、八六八																																																																																				
																							其他	同	四〇五	二二四	三三八	一	一	二〇七	一、九一〇	同																																																																										
																																	智利	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同																																																																	
																																										英領殖民地	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同																																																								
																																																			亞然的音	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同																																															
																																																												伯刺西爾	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同																																						
																																																																					白露	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同																													
																																																																														墨西哥	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同																				
																																																																																							加奈太	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同											
																																																																																																北米合衆國	同	四〇三	二六〇	四一六	一	一	二〇七	同		
																																																																																																									計	八年七月
其他	同	一〇四	一三	一四三	一	一	二七	二八	二八	七九																																																																																																
											歷山堡	同	一〇四	一三	一四三	一	一	二七	二八	二八	七九																																																																																					
																						其他	同	一〇四	一三	一四三	一	一	二七	二八	二八	七九																																																																										

二百五

洲名	國名	直接交換 開始年月	信書	端書	印刷物	業務用 書類	見商 本品	免稅	書留	合計	前年度 比増																																																																																																														
歐洲	澳大利洪島利	十二年四月	一、二六七 九、八一五	一、一六七 九、二八二	七、三三三 九、八八〇	一、五六 一、五六	一、二七 一、〇二七	二、六〇 一、三〇	一、九三三 一、六二二	三、五〇八 三、一九一	六、四二二 三、九三三																																																																																																														
												瑞西	同	七、七六一 七、二四一	三、四五一 四、九〇一	六、四三三 五、〇一八	六、八九 六、八	一、〇一 八、七一	二、七三 二、七三	一、九〇八 一、三八七	三、一〇三 一、九七五	四、三九九 六、九二二																																																																																																			
																							白耳義	同	六、三三八 五、三三六	二、二一〇 二、〇八〇	六、三三三 七、九三〇	二、六 二、六	二、三三 二、三三	一、〇二 七、八	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二																																																																																								
																																		和蘭	同	六、二六六 六、七二二	一、七六八 一、〇四〇	四、四八五 五、八六三	一、一七 一、一七	三、三八 三、三八	一、三 一、三	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二																																																																													
																																													諾威	同	四、七一九 三、七六三	四、四一五 四、一六	一、五九八 一、五七三	九、一一 九、一一	二、六 二、六	二、六 二、六	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二																																																																		
																																																								西班牙	同	二、二八八 二、二八八	四、四一五 四、一六	一、二四八 一、二四八	七、八 七、八	二、三 二、三	二、三 二、三	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二	一、〇二 一、〇二																																																							
																																																																			丁抹	同	二、九九〇 二、八九九	二、四七二 二、四七二	二、四七二 二、四七二	二、四七二 二、四七二	二、四七二 二、四七二	二、四七二 二、四七二	二、四七二 二、四七二	二、四七二 二、四七二	二、四七二 二、四七二																																												
																																																																														瑞典	同	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六	二、二六六 二、二六六																																	
																																																																																									葡萄牙	同	四、六八 九、三三	五、九一 五、九一	四、六八 九、三三	五、九一 五、九一	四、六八 九、三三	五、九一 五、九一	四、六八 九、三三	五、九一 五、九一	四、六八 九、三三																						
																																																																																																				英領殖民地	同	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三	二、四七 六、六三											
																																																																																																															土耳其	同	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五	一、〇六六 四、五五
勃爾瓦利	同	二、四三 二、八六	三、九 三、九	二、四三 二、八六	三、九 三、九	二、四三 二、八六	三、九 三、九	二、四三 二、八六	三、九 三、九	二、四三 二、八六																																																																																																															
											希臘	同	一、〇四 二、三三	六、五 二、六	一、〇四 二、三三	六、五 二、六	一、〇四 二、三三	六、五 二、六	一、〇四 二、三三	六、五 二、六	一、〇四 二、三三																																																																																																				

二百四



洲名	國名	直接交換開始年月	信書		端書		印刷物		業務用書類		見本品		免稅書留		合計		前年度比増
			計	內	計	內	計	內	計	內	計	內	計	內			
總計			三,三三〇,五六一	一,三七七,五〇六	九六三,八九八	八五二,五五三	二,一七三,六八二	一,七三三,四八二	二,一七三,六八二	一,七三三,四八二	七,八八九	一,三〇七,〇二二	八,四六五	一,九三三,六七六	二,一五〇,一七〇	一〇,六一〇,七五五	二,五五八,八七六
洲	計		五〇一,二〇三	一,三七七,五〇六	三五〇,〇〇九	九,九〇七	六四,七九九	一八,五四六	五七二	二八六	一,一九〇,九	三,六二七	二,三三五	一,二八九五	一〇,六八八	六,七三三	一,三七,八三三
太	佛領殖民地	十二年四月	五〇三	九八九三	二九九	二九九	七五四	二九	二六	二七	一三	三〇七	六五四七	一一,一〇	六,九八六	三,九四一	
洋	布哇	十九年四月	四四六,八六二	一,三四一,三六六	二六,七九三	四二,四五八	一七,四七〇	七,八	二,三四	九,二八二	一八二	八,六二二	五,三三四	六,二二七	六,二二七	一,四,五九八	
洲	獨逸保護國	廿五年七月	一〇四	二三四	一三	一三	一七	一三	一三	一三	一三	九七	九七	九七	四八七	四三	

備考 直接交換開始年月欄中清國ハ在上海本邦郵便局置局年月、韓國ハ在釜山本邦郵便局置局年月、北米合衆國ハ日米間郵便交換條約實施年月、其他ノ諸國ハ本邦力萬國郵便聯合條約ニ加盟セシ年月(明治十二年四月)若クハ其後ニ於ケル他國ノ加盟年月ヲ記入セリ

外國小包郵便物數各交換國別(在外局取扱ノモ)

三十五年度

國名	直接交換開始年月	發送到	著	前年度比増
香港	十三年二月	一,二二五	七,一四	七,一四
加奈太	二十三年十月	一,四二	四八一	一八一
獨逸	二十八年一月	四七七	四五一	九三三
英吉利	二十九年十月	六,七九六	八三四	五〇〇
佛蘭西	三十一年十月	四七	一,二五八	一九六
總計		一〇,三七七	一五,二二	三,四三七

備考 清國及韓國發著ニ係ルモノハ本表各國ノ如ク交換條約ニ據ラス清韓小包郵便規則ニ依リテ之ヲ取扱フモノトス

外國郵便物數最近十箇年比較(在外局取扱ノモ)

年	發		送		到		著		付送百ニ
	通	小包	計	小包	通	小包	計		
二十六年	一,一五五,三三七	一〇一	一,一五五,四三八	一,五八三,五〇九	一,四一五	一,五八三,六五四	一,三三七	一三二	
二十七年	一,四一三,八九八	一九〇	一,四一四,〇八八	一,八一三,二六八	一,七九	一,八一三,四四七	一,二八二	一一八	
二十八年	二,〇八一,七三四	三五八	二,〇八二,〇九二	二,四五八,七五〇	一〇九	二,四五九,八四一	一,一八一	九八	
二十九年	二,五五九,五四二	一,二七四	二,五六〇,八一六	二,五二一,三三七	二,一七〇	二,五二一,五〇七	二,一五五,六〇七	九三	
三十年	二,八三七,一八三	四,〇三五	二,八四一,二一八	二,六六一,三九五	四〇〇	二,六六五,三九九	二,六六五,三九九	九三	
三十一年	二,九一七,八八五	四,五七六	二,九二二,四六一	二,七四三,五三〇	六二五	二,七四九,七八三	二,七四九,七八三	九四	
三十二年	三,四二八,〇四二	五,三三三	三,四三三,三七五	三,二二一,三三三	八三七	三,二二九,六九九	三,二二九,六九九	九四	
三十三年	五,三七九,九九四	五,一三九	五,三三八,一三三	六,三三三,六六六	一〇,八五〇	六,三三九,五一六	六,三三九,五一六	一八七	
三十四年	六,五二〇,六九九	六,九四〇	六,五二七,六三九	七,一四〇,九六〇	七,一四〇,九六〇	七,一五〇,三四五	七,一五〇,三四五	一〇九	
三十五年	六,七七六,五七五	四〇,三三六	六,八二七,二八八	七,〇一〇,五二七	一五,三二一	七,〇二五,八二八	七,〇二五,八二八	一〇九	

備考 三十五年度ニ於ケル小包發送數ノ著シク増加シタル所以ハ從來清韓兩國ハ發送シタルモノハ内國小包郵便物數中へ合算調査セシニ因ル又其到着數ハ清韓ニ係ルモノハ之ヲ調査ナク

通信 郵便物數



## 第九章 萬國郵便聯合加盟二十五年紀念祝典

往古群雄割據ノ時代ニ方リテヤ交通ノ繁多ナラザリシハ勿論中世紀ニ及ヒテモ猶ホ各國其領土ヲ固守シ郵政ニ於テハ各國又其主義ヲ異ニシ隨テ種々ノ條約規則ヲ締結シ爲ニ頗ル通信ノ困難ヲ感シタリシカ機運ノ進化ハ永ク其狀態ニ在ルヲ許サス千八百六十三年(文久三年)米國ノ首唱ニ依リ佛國巴里ニ會議ヲ開キ同志ノ諸國ヨリ委員ヲ派遣シ協議スル所アリシモ不幸ニシテ未タ完全ノ效果ヲ收ムル能ハサリキ千八百七十四年(明治七年)再ヒ瑞西國伯爾尼府ニ會議ヲ開キ郵便上各國ヲ合シテ一疆域ト爲シ從來孤獨ノ諸國定ニ代フルニ一ノ郵便聯合條約ヲ以テシ郵便料金ヲ一定シ相互海陸遞送ノ自由ヲ保護シ以テ字内ヲ一貫シ郵便交換ノ利益ヲ全フセシコトヲ決議シ同年十月九日各國全權委員ノ調印ヲ經テ翌千八百七十五年(明治八年)七月一日ヨリ之ヲ實施セリ是ヲ萬國郵便聯合ノ濫觴トス

今ヤ本邦文化大ニ進ミ通信制度漸ク完備ノ域ニ近ツカントシ寒村僻邑ノ兒童猶ホ且ツ郵便ノ利ヲ說クニ至ルモ既往ノ經歷ヲ回顧スレハ轉、感慨ニ禁ヘサルモノアリ維新創草ノ際ニ於ケル通信事業ハ長夜ノ眠未タ覺メス只微々タル民間ノ手ニ依リテ營マレシニ過キサリキ當時ノ邦人ハ誰レカ知ラン後日此事業カ政府ノ經營ニ移リ鎖々タル均一料金ヲ以テ雁信鱗翰ヲ全地球ノ窮局ニ通シ而モ我國庫ニ納ムル收入千四百萬圓ニ達センコトヲ蓋シ夢ニタモ想像シ得ザリシ所ナルヘシ然ルニ文武農商百般ノ業務其緒ニ就クニ從ヒテ内ハ本邦通信機關ノ設備ヲ促シ外ハ列國交通ノ急迫ヲ告ケ時ノ驛遞頭前島密等苦心焦慮ノ結果郵便規則ヲ定メ海外郵便ノ制

ヲ設タリト雖モ當時開港地タル橫濱神戸長崎ニ英米佛ノ郵便局アリテ各外國郵便事務ヲ取扱ヒシニ因リ本邦ハ僅ニ之ト聯絡ヲ通シ外國郵便業務ヲ開設スルニ過キス明治八年一月一日日米間締結ノ郵便條約實施セラレ始テ外國ト郵便物直接交換ノ途ヲ開キ本邦設置ノ米國郵便局先ツ撤回スルニ至レリ然レトモ同國以外ノ諸國トハ明治六年日米條約ニ依リ悉ク同國ノ媒介ヲ經テ往復シタルヲ以テ唯リ料金ノ廉ナラサルノミナラス頗ル複雑ヲ極メ困難ヲ感シタリキ此時ニ當リ明治九年五月獨逸國駐劄帝國特命全權公使青木周藏ヨリ萬國郵便會議ニ加入方ヲ電稟シ來リ太政官ハ審議ノ未加入ヲ可決シ萬國郵便總理局ハ千八百七十七年(明治十年)一月八日ノ回章ヲ以テ之ヲ聯合各國ニ諮リ成規六週間ノ期間内ニ異議ヲ唱フルモノナキヲ以テ我帝國ハ同年二月十九日始テ萬國郵便聯合ニ加入スルノ權ヲ得同年六月十九日布告第四十五號ヲ以テ萬國郵便聯合條約ヲ同第四十六號ヲ以テ改正萬國郵便料金ヲ公布シ翌二十日(即チ紀念當日)ヲ距ルコト二十五年前ヨリ之ヲ實施セリ今當時ノ訂盟國名ヲ擧クレハ獨逸、奧地利、洪曷利、白耳義、丁抹、埃及、西班牙、北米合衆國、佛蘭西、大不列顛、希臘、伊太利、歷山堡、那威、和蘭、葡萄牙、羅馬尼、露西亞、塞爾維、瑞典、瑞西、土耳其、香港、英領印度、錫蘭、海峽殖民地、佛國諸殖民地ノ二十六ニシテ該條約實施ノ結果郵便料ハ低廉且ツ統一シ取扱ハ正確且ツ敏捷ヲ加ヘ大ニ一般ノ便益ヲ増進シ文運發達ノ一大動機ト爲リタルノミナラス英佛兩國郵便局ヲシテ遂ニ本邦ヨリ撤回セシメ始テ我郵政上獨立自主ノ實ヲ收ムルニ至レリ是レ當ニ我郵政史上ニ特筆スヘキノミナラス又我文明史上ニ大書シテ以テ永ク後昆ニ傳フヘキ所ナリ



萬國郵便聯合加盟二十五年紀念祝典ハ明治三十五年六月二十日ヲ以テ東京市麴町區内山下町帝國ホテルニ於テ舉行セラル此日霖雨新ニ霽レ日比谷公園ヨリ打揚クル煙火ハ爆々トシテ天地ニ轟キ烟ハ龍ノ如ク跳リ葉書ハ燕ノ如ク舞フ「ホテル」ノ門前ニハ大綠門大國旗ノ裝飾アリ堂ニ昇レハ來賓送迎掛ヨリ次第書印刷ノ扇子竝ニ紀念繪葉書一組ヲ配付セラル休憩場ニ入レハ文具ノ備附アリテ發信ニ便セシニ依リ祝賀紀念トシテ海ノ内外ニ郵送セントスル葉書忽チ積テ山ヲ爲シ特ニ設置セラレタル紀念郵便局ノ職員十數名ハ互ニ敏ヲ競ヒテ之ヲ受付ケ紀念消印ヲ押捺シ自轉車ヲ以テ差立ヲ爲サシム又別ニ電信電話ヲモ取扱ハシメシカ孰モ頗ル多忙ヲ極メタリ時器三時ヲ報スルニ及ヒ朝野ノ縉紳貴女雲ノ如ク集リ滿堂殆ト立錫ノ地ヲ殘サス式初マリ嚙曉タル軍樂ノ止ムト共ニ芳川遞信大臣壇ニ登リ祝賀開會ノ式辭ヲ述ヘ米國公使バツク各國公使ヲ代表シテ祝辭ヲ朗讀シ小松通信局長ハ二十五年以上勤績セル集配人遞送人郵便夫水夫取締役十名竝ニ在清國上海本邦郵便局雇清國人一名ヘ目錄ヲ授與ス東京局集配人井上清次郎總代トシテ之ヲ受クルヤ拍手ノ音轟々四壁ニ起リ滿堂爲ニ動ク式了ルヤ芳川大臣ハ諸大臣各國公使同夫人等ヲ別室ニ導キ其他ハ後園假設ノ食堂ニ入りテ立食ノ饗應ヲ受ケ天皇陛下ノ萬歲ヲ唱ヘ和氣洋々ノ間ニ散會セリ

此日ノ紀念トシテ繪葉書用紙六種ヲ發行シ六月十八日ヨリ六種一組金五錢ノ價格ヲ以テ賣下ケ同月二十日ヨリ三日間東京局外二十三局ヲシテ特種郵便日附印ヲ使用セシメタリ又本邦内外郵便電信ノ沿革及統計ヲ編纂シテ紀念志ト名ケ之ヲ紀念切手帳ト共ニ晚餐會ヘ招待ノ來賓竝ニ萬國郵便聯合總理局及同聯合諸國郵政廳ニ配付セリ其他郵便博物館ヲ開キテ郵便ノ思想ヲ鼓吹シ全國一、二等局ヲシテ國旗ヲ掲ケ祝意ヲ表セシメタリ

## 第十章 郵便博物館

郵便博物館ハ汎ク内外郵便ニ關スル器具及圖書ヲ蒐集陳列シ以テ斯業計畫ノ資ニ供スルヲ目的トシ明治三十二年五月始テ遞信省構内ニ之ヲ設置セリ

本館ハ萬國郵便聯合加盟二十五年紀念祝典舉行ニ當リ大ニ陳列方法ヲ擴張シ我郵便業務發展ノ活歴史ヲ沿革的ニ實現シ此短期間ニ斯業カ如何ニ長大足ノ進歩ヲ爲セシヤヲ知了セシメ又世界各國郵便施設ノ狀況ヲ實物模型若クハ圖書ヲ以テ表示シ宇宙ノ郵政ヲ一堂ノ下ニ視察スルノ便ヲ得セシメ傍ラ電信電話ニ屬スル古今東西ノ器械ヲ陳列セリ

本館ノ開館ハ祝典ノ翌日即チ三十五年六月二十一日ヨリ同年七月十日ニ至ル二十日間トシ内六月二十一日ヨリ同二十五日ニ至ル五日間ハ祝典ニ招待シタル來賓ノ觀覽ニ供シ爾餘十五日間ハ一般希望者ノ觀覽ニ供セリ而シテ其來觀人員ハ内外人ヲ通シテ四千二百九十六人ニシテ一日平均二百十五人ナリキ

## 第十一章 郵便爲替ニ關スル施設

清韓兩國在留本邦人ハ其生活ノ程度高ク且ツ在留地ニ於ケル金融機關ノ設備完カラサルニ因リ清韓兩國ト本邦トノ間及兩國内相互間ニ受授スル金員ハ概ネ郵便爲替ヲ利用シ且ツ其金額モ多額ナルヲ以テ證書一枚ノ最高金額五十圓ニテハ其制限低キニ失シ公私共ニ手數ヲ要シ不



便鈔ナカラサルヲ以テ特ニ證書一枚ノ最高金額ヲ百圓トセリ又一般金融機關ノ設備完カラサル地方ヲ相手トシ金員ノ受授ヲ爲スニ當リテハ郵便爲替ヲ利用セサルヲ得ス然ルニ證書一枚ノ最高金額ニ制限アルカ爲メ多額ノ郵便爲替ヲ送付セントスルモノアルトキハ數多ノ振出請求書ト爲替證書ノ調製ヲ要シ徒ラニ當事者ノ煩累ヲ來スニ過キサレハ此弊ヲ避ケンカ爲メ定期又ハ無定期ノ多額送金者ヲシテ豫メ逓信大臣ノ認可ヲ受ケ證書一枚ノ金額制限以上ヲ超過スルコトヲ得セシメタリ

郵便爲替郵便貯金及郵便取立金受拂事務取扱時間ハ既往ノ經歷ニ徴スルニ日曜日及大祭祝日ニ於テハ事務僅少ナルニ因リ其取扱時間ヲ正午十二時迄ニ短縮シ以テ經費ノ節約ヲ期シ又郵便爲替貯金及取立金事務用ノ日附印ハ郵便用ノ日附印ト區別セシモ其必要ヲ認めサルヲ以テ郵便日附印ヲ使用シ只受取所ノミ追テ郵便日附印ヲ交付スル迄從來ノ爲替貯金日附印ヲ使用セシムルコト、爲シ共ニ三十六年四月一日ヨリ施行セントス

本邦ト蘭領東印度間竝ニ本邦ト埃及國間郵便爲替交換ハ從來英國郵政廳ノ媒介ニ依リ之ヲ取扱ヒシモ此方法タル頗ル迂遠ナルノミナラス尙ホ媒介手数料ヲ要スル等ノ不利アルヲ以テ蘭領東印度トノ間ハ三十五年十月一日埃及國トノ間ハ三十六年一月一日以降華盛頓締結郵便爲替事務約定ニ依リ直接交換ヲ開始シ且ツ埃及國トノ間ハ同時ニ電信爲替ノ交換ヲモ取扱ヘリ

### 第十一章 郵便爲替ノ狀況

本年度ニ於ケル内國郵便爲替ノ取扱數ハ振出證書八百九十五萬餘枚其金額八千九百七十八萬

餘圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ證書枚數一割六分九厘其金額九分四厘ヲ増シ更ニ之ヲ取扱局所ノ地域ニ依リ分析スレハ内地局所ノ取扱數ハ證書八百八十六萬餘枚金額八千八百十五萬餘圓ニシテ前年度ニ較フレハ證書枚數一割六分九厘金額一割ヲ増シ在外本邦局所ノ取扱數ハ證書枚數九萬餘枚金額百六十三萬餘圓ニシテ前年度ニ比シ證書枚數ハ一割一分一厘ヲ増セシモ其金額ハ却テ一割五分六厘ヲ減セリ因テ尙ホ之ヲ清韓ニ別テ觀察スレハ在韓局所ハ證書枚數二割九分六厘其金額二割五分二厘ヲ増スト雖モ在清局所ハ證書枚數一割二分九厘其金額四割三分一厘ヲ減セリ又拂渡證書ハ九百一十一萬餘枚其金額九千二百三十七萬餘圓ニシテ前年度ニ比シ證書枚數一割六分七厘金額九分ヲ増加セリ之ヲ内地在外ニ分テハ内地局所取扱證書枚數一割六分七厘金額九分ヲ在外局所取扱證書枚數二割一分八厘金額一割八分一厘ヲ増進セリ而シテ振出證書平均一枚ニ對スル金額ハ十圓二錢六厘ニシテ之ヲ内地在外ニ分テハ内地ハ金額僅ニ九圓九十四錢四厘ナルモ在外ハ十八圓八錢五厘ニシテ十ト十九ノ比例ナリ然レトモ此各平均金額ヲ以テ前年度ニ比スレハ内地ハ五分九厘在外ハ二割四分ヲ減少シ内地人口百ニ對スル振出證書ハ十九枚其金額百九十二圓六十五錢五厘ニシテ前年度ニ比シ枚數二枚金額十五圓四十六錢五厘ヲ増加セリ又更ニ内國爲替振出證書ヲ種類別トセハ通常爲替證書ハ三百三萬餘枚其金額六千四百七十八萬餘圓小爲替證書五百四十一萬餘枚其金額千三百二萬餘圓電信爲替證書四十九萬餘枚其金額千九百八十八萬餘圓トス之ヲ前年度ニ比スレハ進歩ノ最モ著シキモノハ小爲替ニシテ證書枚數二割一分七厘其金額二割四分二厘ヲ増シ通常爲替ハ證書枚數一



割六厘其金額七分電信爲替ハ證書枚數及其金額各八分三厘ヲ増セリ  
尙ホ内地及在外局所ニ於テ取扱ヒタル内國爲替ノ最近十箇年間ノ狀況ヲ見ルニ左ノ如シ

内國郵便爲替最近十箇年比較

年度	通常爲替		電信爲替		小爲替		合計		前年度ニ比シテ増加口數
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	
二十六年	1,685,772	1,045,400	9,279	1,131,680	1,999,000	3,777,080	2,856,077	3,804	100%
二十七年	1,981,772	1,103,336	12,101	1,225,815	2,998,000	4,026,851	3,991,779	35,072	101%
二十八年	2,336,378	1,474,445	18,884	1,526,091	3,346,000	4,872,136	4,783,658	88,478	101%
二十九年	2,573,277	1,626,121	18,195	1,648,810	3,346,000	5,001,000	4,911,350	89,650	101%
三十年	2,993,890	1,772,722	15,499	1,788,621	3,346,000	5,343,312	5,253,762	89,550	101%
三十一年	3,101,343	1,890,633	19,789	1,910,622	3,346,000	5,667,314	5,577,764	89,550	101%
三十二年	3,443,849	2,046,810	29,257	2,076,067	3,346,000	6,101,134	5,911,350	189,784	101%
三十三年	3,993,723	2,263,388	39,177	2,302,565	3,346,000	6,645,143	6,355,593	289,550	101%
三十四年	4,743,753	2,633,666	46,011	2,679,677	3,346,000	7,405,353	7,045,593	359,760	101%
三十五年	5,073,866	2,827,817	57,121	2,884,938	3,346,000	7,938,876	7,578,113	360,763	101%

備考 從來通常爲替及電信爲替金額ノ制限ハ證書一枚ニ付三十圓ナリシカ三十三年十月一日以降之ヲ五十圓トシ同時ニ小爲替金額ノ制限三圓ナリシヲ五圓トセリ

外國郵便爲替ハ振出證書八千二百餘枚其金額二十三萬九千餘圓ニシテ前年度ニ比スレハ證書枚數一割八分二厘金額二割三分七厘ヲ増シ列國中證書枚數一千枚金額一萬圓以上ノモノヲ舉

クレハ僅ニ指ヲ北米合衆國證書枚數三萬二千二百餘枚其獨逸證書枚數千四百餘枚英國證書枚數千九千餘圓ノ三者ニ屈スルノミ又拂渡證書ハ枚數五萬二千四百餘枚其金額三百八十一萬七千餘圓ニシテ之ヲ前年度ニ較フレハ證書枚數二割七分三厘金額二割九分八厘ヲ増シ列國中最多數ヲ占ムルモノハ北米合衆國證書枚數三萬九千餘枚其金額三百三萬三千餘圓ニシテ加奈太證書八千二百餘枚其金額五十五萬餘圓香港及其媒介地方證書二千七百餘枚其金額十四萬千餘圓順次之ニ次キ其他ハ證書千枚金額十萬圓ニ滿タサルモノ、ミ而シテ振出ト拂渡トヲ對照スレハ拂渡常ニ優勢ニシテ枚數ハ六倍金額ハ十六倍ノ多キヲ見ル又試ニ證書平均一枚ノ金額ヲ算出スレハ振出ハ二十九圓八厘拂渡ハ七十二圓八十一錢七厘ニシテ前年度ニ比シ振出一圓二十八錢二厘拂渡一圓三十八錢二厘ヲ増加セリ其詳細ハ左ノ如シ

外國郵便爲替各交換國別

三十五年度

直接交換開始年月	振		出		拂		渡		平均一口ノ金額
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	
香港及其媒介地方 又ハ三月 十四年十月	381	95,140	1,111	2,771	1,003	2,500	1,111	5,000	50.9
英國 十六年一月	1,975	380,930	470	717	1,782	1,930	1,975	2,409	124.9
英國媒介國 十九年四月	88	32,266	36	82	410	371	371	51.2	51.2
獨逸	1,463	6,133	536	526	2,496	426	426	50.4	50.4
瑞西	35	1,143	13	15	89	35.5	35.5	59.9	59.9
奧地利	38	1,943	15	33	1,113	51.1	51.1	36.8	36.8

通信 郵便爲替ノ狀況



直接交換開始年月	振		出		拂		平均一口ノ金額	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	振出	拂渡
匈牙利 十九年四月	九	五九六	一	五	九	一九七	六六二	一〇八
歷山堡 同 五月	一	三	一	三	一	一九	三〇	一九〇
聯合國 同 同	一	一六	一	一	一	七	一六〇	七〇
勃爾瓦利 同 六月	二	七八	一	一	一	七	三九〇	一〇〇
羅馬尼 同 同	二	七八	一	一	一	七	三九〇	一〇〇
白耳義 二十五年十月	四九	二四〇五	一八	一八	一〇	四九九	四九一	一一〇
和蘭 三十五年一月	四五	九七三	八	八	一六	二八七	二一六	一七九
蘭領東印度 同 十月	一	三	一	一	三	三七	三〇	一一三
埃及 三十六年一月	二	一八	一	一	一	一	九〇	二二
佛國 十八年三月	七三三	二二三〇	二四二	八四	二七	四九七	二九	三三
北美合衆國 同 十月	三二二	八五五〇五	九六六	三九〇八二	三〇	三六七二	二六六	七七六
伊國 十九年十月	七九	五二五一	四三	三七	三七	二八五八	六六五	七七二
加奈太 二十二年十月	一四五	六八六七	七二	八二二六	五五〇	五〇六	四七四	六六九
總計	八二五七	二二九三二	二五五六	五二四二〇	三八一七〇	七七一	二九〇	七二八

備考 本表所載ノ事實ハ郵便爲替貯金管理所ニ於テ取扱ヒタルモノナルヲ以テ附錄地方別表ト符合セス

外國郵便爲替最近十箇年比較

振	出		拂		前年度ニ比シ増	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額
振	口數	金額	口數	金額	口數	金額
出	口數	金額	口數	金額	口數	金額
拂	口數	金額	口數	金額	口數	金額
前年度ニ比シ増	口數	金額	口數	金額	口數	金額

二十六年度	二、四二九	六八、七九九	七、八四	五、一〇〇	二、四〇六	〇、五二	一、四八	四、三五
二十七年度	二、四四二	七九、四六四	八、二九	七、三三四	三、七九四	〇、〇五	一、五五	五、七七
二十八年度	三、三一九	九一、六四〇	一、四四	一〇、三二六	五、五六〇	三、五九	一、五三	四、三三
二十九年度	三、五八一	九三、八二八	一、二七	一一、〇九七	五、八〇六	〇、七九	〇、八五	四、六六
三十年度	三、九六〇	一〇八、八一六	一、二八〇	一一、九五三	七、二九八	一、〇六	一、六七	二、五七
三十一年度	四、三三八	一一一、二六一	一、三三七	一五、〇四六	八、六九二	〇、〇九	一、六二	一、九一
三十二年度	五、三三五	一三五、七八〇	一、四八二	二二、六四五	一、五七二	二、二〇	五、七二	七、八〇
三十三年度	六、二八二	一七七、一七四	一、八二〇	三〇、〇二九	一、九六八	三、〇五	二、七〇	二、七二
三十四年度	六、九八五	一九三、六六九	二、〇三六	四一、一七九	二、九四一	〇、九三	三、七一	四、九四
三十五年度	八、二五七	二二九、五二二	二、五五六	五二、四二〇	三、八一七	二、三七	二、七三	二、九八

備考 三十三年度以降ニ係ルモノハ郵便爲替貯金管理所ニ於テ取扱ヒタルモノトス

第十三章 郵便貯金ニ關スル施設

郵便貯金即時拂ハ一箇月一回金二十圓迄ノ制限ナリシモ社會ノ趨勢ニ伴ヒ生活費用漸ク多キヲ加ヘ此制限額ニテハ預ケ人ノ需用ヲ満足セシムルニ足ラサルノミナラス郵便局所ニ於テ正當預ケ人ナルヤ否ヤヲ確ムヘキ資料ナク只郵便局所ニ於テ預ケ人ヲ熟知シ正當權利者ナリト認メ得ル者ニ對シテノミ其取扱ヲ爲スヘキモノニシテ交通頻繁變遷急激ナル都會ノ地ニ於テハ其實行困難ナルヲ以テ制限額ヲ一箇月二回トシ一回金三十圓迄ニ擴張スルト同時ニ特別即時拂戻ニ關スル規定ヲ設ケ一、二等郵便電信局二等郵便局及各其支局並ニ清國及韓國ニ設置シタル郵便局所ニ於テハ豫メ認可ヲ受ケタル預ケ人ニ對シ金額及回数ニ制限ナク即時拂ヲ取扱



ヒ又郵便爲替貯金管理所同支所ニ於テ利子記入又ハ檢閲ヲ了シタル通帳若クハ再度通帳ハ郵便局所ニ於テ預ケ人ノ出頭ヲ待テ交付スルノ制ナリシモ之ヲ改メテ直チニ郵便集配人ヲシテ預ケ人ノ居宅ニ就キ彙ニ渡シタル通帳受取書ト引換ニ通帳ヲ交付スルコト、シ又通帳毀損汚斑若クハ亡失ノ爲メ再度交付手数料金ヲ半減シ一方ニ於テハ改印届書ニ保證人ノ連署ヲ要セシメ以テ貯金ノ騙取ヲ豫防シ其他取扱手續ノ簡便ヲ企圖スル爲メ郵便貯金條例施行細則ヲ改正セリ又在清國郵便局所ニ於ケル郵便切手ノ賣下ハ墨銀ヲ本邦通貨ト並價ニ取扱ハシムルノ結果銀貨下落ニ際シ奸黠ノ徒之ヲ奇貨トシ私利ヲ貪ラントスルノ傾向アルノミナラス在清國郵便局所ニ於テハ切手貯金ノ取扱ヲ爲サシムルモ其實益少ナキヲ認メ郵便切手貯金ノ取扱ヲ廢止セリ

日本興業銀行債券鹿兒島縣築港公債及其利札ハ額面金額五十圓ヲ超過セサル範圍内ニ於テ郵便貯金ニ預入ヲ爲スコトヲ得ルノ途ヲ開キ一般公衆ノ利便ヲ圖レリ

#### 第十四章 郵便貯金ノ狀況

本年度ニ於ケル郵便貯金ハ預入度數八百二十九萬餘度其金額千八百五十八萬餘圓公債利子加餘圓ヲ包含ス拂戻度數百三十八萬餘度金額千六百二十三萬餘圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ預入度數二割三分三厘拂戻度數二割八厘其金額五分三厘ヲ増スト雖モ預入金額ハ反テ二厘ヲ減少セリ又新規預入人員ハ九十一萬餘人全額拂戻人員ハ四十一萬餘人ニシテ前年度ニ較ブレハ新規預入人員一割九分六厘全額拂戻人員九分八厘ヲ増加セリ而シテ平均一度ノ預入金額

ハ二圓二十四錢二厘拂戻金額ハ十一圓六十九錢一厘ニシテ前年報ニ記述セシ如ク益低減ノ傾向ヲ呈セリ

本年度末ニ於ケル現在預ケ人員ハ二百八十六萬餘人金額二千九百六十九萬餘圓平均一人ノ貯金額十圓三十六錢一厘ニシテ前年度末ニ比シ人員二割一分金額八分七厘ヲ増加シタルニ反シ平均一人ノ貯金額ハ一割二厘ヲ減少セリ今右現在預ケ人員ヲ其各貯金額ニ依リ區別スレハ人員ノ最モ多キハ五十錢未滿九十八萬五千餘人總預入千分ノ三百四十四分ニシテ之ニ次クモノハ五十錢以上一圓未滿四十萬六千餘人總預入千分ノ四百四十二分以上二圓未滿三十八萬三千餘人總預入千分ノ三百三十四分以上五圓未滿二十二萬七千餘人總預入千分ノ八十五分以上十圓未滿二十二萬四千餘人總預入千分ノ七十八分等ナリ又其金額ニ於テハ百圓以上二百圓未滿五百十六萬六千餘圓總貯金額萬分ノ七百四十分第一位ヲ占メ五十圓以上百圓未滿四百八十一萬九千餘圓總貯金額萬分ノ六百二十三分三百圓以上五百圓未滿四百二十七萬二千餘圓總貯金額萬分ノ四百三十九分二百圓以上三百圓未滿三百十萬九千餘圓等順次之ニ次キ人員ニ於テ最多數ナリシ五十錢未滿ハ僅ニ二十八萬千餘圓總貯金額萬分ノ九十五分ニ過キス更ニ歩武ヲ進メ其職業別ヲ内地在外ニ分テ且ツ職業未詳ヲ除キ内地ニ於テ人員金額共ニ優勢ナルハ農業人員七十九萬八千餘人内地總人員百分ノ二十八分金額七百七十一萬二千餘圓内地貯金額總額ニシテ之ニ次クモノハ人員ヲ以テシテハ學校生徒五十七萬四千餘人總人員百分ノ二十一分アルモ其貯金額ハ僅ニ百五十二萬千餘圓内地貯金額總額百分ノ五ヲ超エス貯金額ヲ以テシテハ商業五百四十二萬四千餘圓内地貯金額總額百分ノ十八分ニシテ其人員三十二萬八千餘人内地總人員百分ノ十一分トス之ニ次キ其第三位ヲ占ムルモノハ官吏軍人十五萬七千餘人内地總人員百分ノ



六 貯金額二百三十萬六千餘圓 内地貯金額ノ八ナリ 又在外局取扱ニ係ルモノハ人員金額共ニ最多數ナルハ官吏軍人千八百餘人 在外總人員百貯金額四萬六千三百餘圓 在外總貯金額ニシテ之ニ次クモノハ商業九百九十五人 在外總人員百貯金額一萬九千三百餘圓 在外總貯金額職工及使用人六百十三人 在外總人員百貯金額一萬六千餘圓 在外總貯金額八等ナリ而シテ平均一人ノ貯金額ヲ算出スレハ内地ニ在リテハ總平均額十圓三十三錢七厘 内最高額者ハ社寺其他團體二十八圓三十六錢一厘ニシテ雜業十六圓七十五錢六厘 商業十六圓五十三錢四厘 官吏軍人十四圓六十二錢一厘 順次之ニ次キ學校生徒ハ僅ニ二圓六十四錢七厘ニ過キス 在外局取扱ニ係ルモノハ總平均二十圓八十二錢六厘ニシテ漁獵業及船夫四十五圓二十一錢二厘 其最高額ヲ占メ順次之ニ次クモノハ雜業四十圓五十六錢八厘 官吏軍人二十四圓五十八錢七厘 社寺其他團體十九圓八十四錢四厘 等ナリ

尙ホ最近十箇年間ニ於ケル預拂及各年度末現況ヲ示セハ左ノ如シ

郵便貯金最近十箇年比較

年度	預入		拂戻		平均一度ノ金額		年		度	
	度數	金額	度數	金額	預入	拂戻	預ケ人	金額	前年度末ニ比シ増減ノ率	平均一人ノ貯金額
二十六年	二九四、三九六	五、五三二、一九二	四八四、七〇〇	二、二〇二、七三三	五、四	二、五	二、〇六〇	一、五五九、四九九	一、一八	一、四六
二十七年	二九七、七四〇	四、五八九、九	五五七、〇三六	一、四七三、〇九三	五、〇	二、六	二、〇八七	一、五九〇、一三三	〇、四六	一、〇
二十八年	三二八、一〇六	四、八三三、七九三	五七八、六九九	一、五二六、三六九	五、六	二、六	二、一三三	一、八六五、四二七	一、〇	一、一八

年度	入		下		人員	年度末	購入手數料
	度數	金額	度數	金額			
二十九年	三二四、〇八九	七、〇八一、九二一	六六六、〇一七	七、八三〇、二〇〇	二、七〇	二、七三三、三六三	二、八二五、一九七
三十年	二九五、四五五	四、八六六、四〇〇	六七〇、三三三	七、三三〇、七〇五	五、〇	二、五九一、二五三、六三八	二、五七五、四二七
三十一年	二五五、四三七	一、一五六、七七	六五〇、四四五	四、八七九、六二三	四、四	二、二九一、二四〇、八九二	〇、一〇五、一〇五
三十二年	三三三、九四三	三、三三三、四六三	六〇一、八八一	七、九八八、七七一	三、七	一、九六三、三九七、六五一	一、三三、四五五、〇六五
三十三年	六四八、三二八	四、六四〇、五二七	八八八、四九九	四、〇八三、〇五	二、三	一、五八一、九八三、七九八	二、四〇、八八二、三三
三十四年	六七五、二四八	一、八六二、九四一	一、四九二、九八一	一、四八三、〇五	二、八	一、三三三、三六八、四八六	二、七三、一五二、九八
三十五年	八二九、一六四	一、八五六、七〇一	一、三八八、六五二	一、六三三、四八四	二、二	一、一七二、八六五、七五四	二、九六九、二四〇、三

第十五章 電信線路及機械  
第一節 電信線路ノ増設及現里程

本年度ニ於テ新局所開始ノ爲メ架設シタル陸上線ハ新築線路二百二十二里 添架線路三百三十四里 線條合計五百五十六里 建植電柱一萬七千八百三十四本 取附支線一萬四百三十九箇所ニシテ水底線ハ線條及心線各二十三裡ナリ 又電報増加ノ爲メ架設シタル陸上線ハ新築線路二十二里 添架線路千九百七十一里 線條合計千九百九十三里 建植電柱二萬二千三百三十九本 取附支線二萬二千九百五十九箇所ニシテ水底線ハ線條十八裡 心線三十六裡ナリ而シテ本年度末ニ於ケル

通信 電信線路及機械

M 35



現在陸上線ハ線路六千六百五里線條三萬二千二百九十二里水底線ハ線條二千三百三十里心線二千七百五十七里ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ陸上線ハ線路二百二十八里線條二千三百九十四里水底線ハ線條四十三里心線六十里ヲ増加セリ今試ニ線路百里ニ對スル線條ヲ舉クレハ四百四十一里ニシテ前年度末ニ較フレハ十八里ヲ加ヘ二十五年度末ニ比スレハ百五十八里ヲ増セリ更ニ陸上線ヲ本邦面積ニ比例スレハ百方里ニ對スル線路ハ二十七里ニシテ前年度末ニ比スレハ一里ヲ加ヘ二十五年度末ニ較フレハ十三里ヲ増セリ又同線條ハ百三十里ニシテ前年度末ニ比スレハ九里ヲ加ヘ二十五年度末ニ較フレハ二倍強ヲ増進セリ  
尙ホ最近十箇年間ノ狀況ヲ表示スレハ左ノ如シ

電信線最近十箇年比較

年度末	陸上線		海底線		河底線	
	線路	線條	線路	線條	線路	線條
二十六年末	三、七〇九	一〇、一三三	二、六五五	三、二四四	三、三三三	三、三三三
二十七年末	三、八四六	一、一五〇	二、八五五	三、四四四	三、四四四	三、四四四
二十八年末	三、八八二	一、一五〇	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
二十九年末	四、七二〇	一、五〇三	三、七七七	四、六四四	四、六四四	四、六四四
三十年末	五、一三九	一、八三六	一、五四四	一、六七二	一、六七二	一、六七二
三十一年末	五、二九六	二、〇五二	一、七五一	一、九六九	一、九六九	一、九六九
三十二年末	五、六八八	二、四三三	一、七九九	二、〇一〇	二、〇一〇	二、〇一〇

年度末	陸上線	海底線	河底線
三十三年末	六、〇三九	二、七三九	二、〇一五
三十四年末	六、三三七	二、九八八	二、〇六七
三十五年末	六、六〇五	三、二九二	二、一〇九

備考 表中\*ハ湖底線ナリ

電信線ノ延伸ニ伴ヒ電柱及碍子モ亦増加シ本年度末現在數ハ電柱四十八萬三千三十七本碍子六十九萬四千四百二十一箇ニシテ前年度末ニ比スレハ電柱一萬八千五百六本碍子二十四萬五千六百六十六箇ヲ増セリ又電柱ヲ丹礬注入ト不注入トニ依リ區別スレハ注入柱二十四萬六千六百六十九本不注入柱二十三萬四千三百六十八本ニシテ前年度末ニ較フレハ注入柱ハ四萬二千二百七十九本ヲ増シ不注入柱ハ二萬三千七百七十三本ヲ減セリ此ノ如ク注入柱ト不注入柱ト増減ノ趨勢ヲ異ニセルハ丹礬ヲ注入シ腐朽ヲ防キ耐久年限ヲ長カラシムルノ施設ニ出テタルヲ以テナリ而シテ陸上線路一里ニ對スル電柱ハ七十三本ノ割合ナリ  
他官廳又ハ會社等ニ屬スル私設陸上電信線中本省ニ其保守ノ依託ヲ受ケタルモノハ本年度末現在線路百四十一里線條二百六十七里電柱八千八百五本内鐵柱十一本其ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ線路一里線條百二十七里電柱四百四十八本ヲ減少セリ

第二節 電信回線及機械

本年度ニ於ケル回線施設ノ概要ヲ舉グレハ(一)新ニ電信事務取扱ヲ開始スル局所三百四十三ヲ



在來局所ニ接続スル爲メ新設シタル回線數百十四其内電信機裝置ノモノ二十、電話機裝置ノモノ九十四又在來ノ回線ヲ延長シ且ツ其接続ヲ變更シタルモノ二十九、單ニ回線ノ接続ヲ變更シタルモノ六十三(二)各局所相互間ニ發著スル電報ヲ一層速達セシメンカ爲メ増設シタル回線十九(三)各局所相互間通信上ノ便宜ヲ考量シ回線ノ接続ヲ變更シタルモノ二百四十一(四)以上三項ノ施行及其他ノ必要上單ニ回線ノ名稱ヲ變更シタルモノ六十三ナリ而シテ是等施設ノ結果前年度末ヨリ増加シタル回線數ハ實ニ百七十九ニシテ本年度末現在數ハ千一ナリ次ニ通信上ノ便否得喪ヲ較察シテ通信方式ヲ變更シタルモノヲ述フレハ單信音響通信ヲ二重音響通信ニ改メタルモノ八座、四回線單信現字通信ヲ單信音響通信ニ變シタルモノ十二座、十二回線ニシテ其他電話機ニ依ル通信ヲ單信現字電信機ノ通信ニ變更シタルモノ二座、單信現字電信機ニ換フルニ電話機ヲ以テシタルモノ三座ナリ

前記本年度末現在千一ノ回線ヲ其接続局ニ依リ區別スレハ二局所ヲ接続スル回線三百八十二ニシテ其數最モ多ク六局所接続百四十三、五局所接続百三十三、三局所接続百三十二、四局所接続百三十一、七局所接続七十三順次之ニ次キ八局所接続九ナリ以テ最少數トス又右回線ヲ通信方式ニ依リテ區別スレハ單信機ヲ用ユルモノ七百三十七、二重通信機九十八、四重通信機八、自働機三、現波機二、電話機通信百五十三ナリ其詳細ハ左ノ如シ

電信回線通過電報通數別

三十五年度末

接続局數	一日ノ通過電報		同百通迄	同二百通迄	同三百通迄	同五百通迄	同五百以上	合計
	一	二						
二局	一九五	二八	三九	四八	四六	二四	三八〇	
三局	三三	二四	四八	一九	二	二	一一三	
四局	二二	四	五五	三	一	一	一一三	
五局	二二	五	五四	三	一	一	一一三	
六局	一七	三	三四	三	一	一	一一三	
七局	一四	二	二二	一	一	一	一一三	
八局	一	六	三	一	一	一	一一三	
總計	三〇八	二八三	二五三	八一	五〇	二六	一〇〇一	
三十四年度末	二二七	二五〇	二二三	七八	四二	二二	八三三	
三十三年度末	一五二	二一四	二〇九	六四	五七	二四	七二〇	
三十二年度末	八九	一一四	一九八	八一	六〇	三六	五九六	
三十一年度末	九九	一五〇	一四八	七一	四三	二九	五四〇	
三十年度末	一一七	七三	一六三	八四	五〇	三三	五一九	

備考 本表一日通過電報通數ハ年度末日分ニ依ル

電信回線通信方法別

三十五年度末

接続局數	單信		二重		四重音響	自働	現波	電話	合計
	現字	音響	現字	音響					
二局	七	一一四	三	九五	八	三	一	一一三	三八〇

通信 電信線路及機械







電信機械現用數累年比較(在外局ニ屬スルモノハ包含セズ)

年次	現 字 機			音 響 機			自働機	現 波 機		電話機 交換機 合計
	單 信	二 重	四 重	單 信	二 重	四 重		單 信	二 重	
三十二年度末	一、六七三	二五	二	六、六〇	八一	一〇	六	二	九	二、六五九
三十三年度末	一、六〇二	三	一	九、九四	一五六	二二	六	二	三六	三、〇五七
三十四年度末	一、七三七	四	一	一、三四	一七二	二二	三九	三	一〇四	三、〇五七
三十五年度末	一、八六〇	五	一	一、二二五	一七六	一四	三三	三	三三二	三、九二二

備考  
電信機械ノ電報傳達量ヲ比スルニ大約現字單信機、音響單信機、電話機ノ三者ハ相同シキモ現字及音響二重機ノ各一座ハ現字單信機ノ二座ニ、現字及音響四重機並自働機、現波單信機ノ各一座ハ現字單信機ノ四座ニ、現波二重機ノ一座ハ現字單信機ノ八座ニ相當スルヲ以テ合計ノ欄ニハ右ノ比例ニ依リテ換算シタルモノヲ掲ケタリ從テ單ニ其内譯ヲ合算スルモ合計ニ符合セス  
本表ニハ鐵道停車場公衆電信取扱所ハ、貨渡中ノモノハ之ヲ包含セス

### 第十六章 電報取扱上ノ施設

内地臺灣間ニ發受スル電信私報ハ至急ト爲シタルモノ、外之ヲ取扱ハサリシヲ以テ公衆ノ不便鮮ナシトセス然ルニ此兩地間ニ二重通信法ヲ行ヒシ以降通信數量俄ニ増加シ必シモ從來ノ如ク至急ト爲シタルモノ、ミニ限定シテ以テ電報ノ輻輳ヲ避クルノ必要ヲ認メサル境域ニ達シタルニ因リ至急ト爲サ、ル私報ノ取扱ヲモ爲スコト、セリ然レトモ此兩地間ハ長距離海底

線ヲ沈布スル等特殊ノ設備ヲ要スルヲ以テ別ニ其料金ヲ定メ三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行セリ又警報氣象電報ハ其警戒區域内ノ測候所ニ限り無料ニテ發送スルヲ得セシメシモ未ダ效用ノ全カラサルモノアルニ因リ普ク全國ノ測候所ニ對シ無料ニテ發送セシムルノ趣旨ヲ以テ取扱手續ヲ改正スルト同時ニ一般氣象報傳送ニ關シ分送ノ方法ヲ設ケタリ又同文電報中ニ混同シタル電報ニシテ其著信局ト同一市區町村内ニアラサル地ニ宛テタルモノアルトキハ之ヲ同文電報トシテ取扱フヲ得ス其著信局ヨリ近距離ニシテ且ツ電信局所ノ設置アル場合ト雖モ之ヲ郵送セサルヘカラサル結果遂ニ贏輪ヲ一瞬ノ間ニ爭フ電報ノ效力ヲ失フコトアルヲ以テ其電報ガ著信局所ヨリ一里以内ノ地又ハ著信局所所在ノ市街地ト連擔セル場合ニ宛テタルモノナルトキハ其受持局所ヘ分送スルコト、セリ又内地發臺灣島内ニ於テ解船ニ依リ配達スヘキ電報ノ解船料ハ内地ト同シク電報規則第七十條ニ依リ金二十錢ヲ徵收シタリシモ到底此平均金額ニテハ支持シ難キモノアルヲ以テ解船配達實費額カ右料金額ヲ超過シタルトキハ其超過額ハ受信人ヨリ之ヲ追納セシメ若シ發信人カ之ヲ納付セントスル場合ニハ制規ノ略符號ヲ指定シ電信局所ノ指示スル相當金額ヲ豫納セシメ著信局所ノ報知ニ依リ精算スルコト、シ三十六年二月一日ヨリ之ヲ施行セリ又電報配達用トシテ自轉車ヲ使用スル電信取扱局ハ漸次其數ヲ増加シ且ツ其使用ノ效果大ニ見ルヘキモノアルヲ以テ從來ニ於ケル試驗的設備ヲ一變シ一定ノ規程ニ依リ之ヲ整理セシムルコト、セリ  
軌近電信局所設置請願者頗ル多シト雖モ請願地ハ概ネ微々タル小町村ニ屬シ設置後ニ於ケル



收入能ク其維持費ヲ償フニ足ルモノ寡ナシ然ルニ政府ノ經濟ハ是等ノ請願地ニ對シ無限ニ其施設ヲ爲スコトヲ許サ、ルヲ以テ施設ノ爲メニ要スル創設費ノ全部及維持費ノ一部ヲ負擔スルニ於テハ其町村ノ請願ニ依リ電信局所ヲ新設シ其他電報ニ關スル通信取扱時間ノ制限ヲ解除スル等便宜ノ方法ヲ設クルノ途ヲ開キ又時間ヲ定メテ通信取扱ヲ爲ス電信局所ハ只至急電報ニ限り時間外特ニ受附ノ手續ヲ爲スコトアルモ一般ニ其取扱時間外ニ於テハ受附ノ傳送配達ノ事務ヲ取扱ハサリシニ因リ漸次定時間局所ノ増加ニ從ヒ公衆ノ不便尠カラス故ニ至急電報ニ限り時間外ト雖モ傳送配達ノ取扱ヲ爲サシメ且ツ是等取扱ニ關スル事項ハ告示ノ形式ヲ用ヒシカ實際ノ便宜ヲ慮リ之ヲ當該局所前ニ揭示スルコトニ改メタリ又電報通信數ノ寡少ナル三等郵便局電報取扱時間ハ從來ノ如ク長キニ涉ルノ要ナキニ因リ之ヲ限定スルコト及郵便電信受取所電信受取所ノ電報取扱時間ハ區々一律ナラサリシニ因リ之ヲ統一スルコトノ必要ヲ認メ毎年三月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル間ハ午前九時ヨリ午後八時迄十一月一日ヨリ翌年二月末日ニ至ル間ハ午前九時ヨリ午後七時迄ト限定シ孰モ三十六年四月一日ヨリ施行スルコト、セリ

外國電報ニ在リテハ三十五年四月十日ヨリ本邦ト清國北京天津及芝罘間ニ羅馬字ヲ以テ普通ノ日本語ヲ記載シタル新聞電報ノ送受ヲ開始シ同年九月十日ヨリ本邦ト清國上海トノ間ニ於テモ普通ノ獨逸語ヲ書シタル新聞電報ノ送受ヲ開始シ以テ新聞社及新聞通信者ノ利便ヲ圖リタリ其他清國滿州各局ニ宛ツル事務報ハ旅順ニ宛ツルモノヲ除ク外總テ佛語ヲ以テ書載スルコト、シ又北清事變鎮定シ各國駐屯兵漸次其軍隊ノ全部若クハ一部ヲ撤去スルニ方リ最早集合電報ノ取扱ヲ爲ス必要ナキヲ認メ三十五年九月三十日限りノ力取扱ヲ廢止セリ又北清地方宛電報ハ必ス上海ヲ經由セシメシモ清國盛京省吉林省及黑龍江發著電報ハ烏拉日阿斯德線ヲ經由スルコトヲ得ルニ至リ又亞米利加各地發著電報ハ從來烏拉日阿斯德線及香港「マドラス」線ノ孰カ一方ヲ經過セシメシモ三十五年十二月八日太平洋線經瀋洲開通ノ結果同線ヲ經テ迅速ニ之ヲ發受スルヲ得ルニ至レリ

### 第十七章 電報數及料金

本年度中各局所ニ於テ取扱ヒタル内國電報(發信)ハ和文千七百十萬餘通歐文十萬餘通和歐文合セテ千七百二十一萬餘通此料金三百八十五萬餘圓ニシテ前年度ニ比スレハ通數八分五厘料金八分一厘ヲ増加セリ之ヲ和歐文ニ區別スレハ和文ハ通數八分五厘料金八分三厘ヲ増シ歐文ハ通數七分五厘料金七厘ヲ減セリ而シテ有料電報平均一通ノ料金ハ和文二十四錢八厘歐文六十四錢三厘トス

外國電報發著信ハ和文三十五萬餘通歐文四十五萬餘通和歐文合セテ八十一萬餘通料金五十二萬餘圓會計規則ニ依リテ整理スルハ尙ホ此他ニ發信人ヨリ徵收シタル料金百六十六萬圓餘額アリト雖モ是レ本邦ヨリ外國ヘノ發信ニ付其傳送料トシテ外國政府又ハ電信會社ヘ拂渡スヘキモノナルヲ以テ孰モ茲ニ之ヲ除クニシテ之ヲ前年度ニ較フレハ和文七分一厘歐文一割六分四厘和歐文ヲ合セテ一割二分二厘ヲ増加セリ而シテ其發信有料電報平均一通ノ通常料金外國政府又ハ會社ヘ仕拂ヒシモ和文三十八錢一厘歐文一圓八十八錢八厘ノ割合ナリ

通信 電報數及料金











年度	內國報(發信)		外報		平均一通ノ料金	
	通數	料金	通數	國內傳送料	內國報	外報
二十七年(和文)	七、六七、〇三三	一、七四二、六八八	二〇、三三三	四、五一八	〇、〇三三	二、〇三三
二十八年度	八、五六、一五四	一、八七、七〇六	二七、五九七	四、九四九	〇、〇三三	二、〇三三
二十九年度	一〇、三三、八七〇	二、三三、八二二	一八、五二七	四、〇〇九	〇、〇三三	二、〇三三
三十年度	一〇、三三、八七〇	二、三三、八二二	一八、五二七	四、〇〇九	〇、〇三三	二、〇三三
三十一年度	一〇、三三、八七〇	二、三三、八二二	一八、五二七	四、〇〇九	〇、〇三三	二、〇三三
三十二年度	一〇、三三、八七〇	二、三三、八二二	一八、五二七	四、〇〇九	〇、〇三三	二、〇三三
三十三年度	一〇、三三、八七〇	二、三三、八二二	一八、五二七	四、〇〇九	〇、〇三三	二、〇三三
三十四年度	一〇、三三、八七〇	二、三三、八二二	一八、五二七	四、〇〇九	〇、〇三三	二、〇三三
三十五年度	一〇、三三、八七〇	二、三三、八二二	一八、五二七	四、〇〇九	〇、〇三三	二、〇三三

外國有料電報發著國別

三十五年度

洲名	發信著信	前年度ニ比シ増
亞細亞	六、四六、一	一、七九、四
印度	七、八三、八	一、六二、七
露西亞	二、二五、四	六、四一
歐洲	一、〇八、七	一、〇三、八
伊太利	五、九、三	四、八一、一

洲名	發信著信	前年度ニ比シ増	細亞		亞非利加		歐洲		巴羅		總計
			合	其	合	其	合	其	合	其	
比律賓群島	一、八、〇	二、二八、二	一、七、三	三、二、五	二、七、八	九、七	一、二、六	一、一、二	一、一、二	一、一、二	一、一、二
暹羅	四、五、〇	三、七、六	三、一、九	二、五、四	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
交趾支那	六、八、七、五	六、四、八、五〇	七、九、五、三	一、一、〇、四〇	二、七、八	七、〇	二、七、八	二、七、八	二、七、八	二、七、八	二、七、八
錫蘭	一、八、〇	一、九、三	一、二、一	九、六	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
緬甸	六、二、四	五、六、〇	四、一、三	三、四、七	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
其他	二、九	二、三	一、〇	一、〇	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
埃及	二、三、九	三、四、五	二、二	一、六、二	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
其他	二、四	二、三	一、一	一、七	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
合計	二、二、六、四、二	二、三、一、一、五	一、八、〇、九〇	二、四、七、九二	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
歐洲	二、五、三	三、六、八	九	一、五、五	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
大不列顛	一、四、五、三、八	一、五、四、八、五	五、九〇	一、一、五、九	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
日耳曼	五、四、二、九	五、一、六、一	一、九、六	二、八、三	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
佛蘭西	三、六、六、四	三、〇、一、三	一、五、五	二、八、三〇	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
瑞西	一、二、七、二	八、七、六	三、三、九	五、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
合計	一、一、八、〇	一、一、八、〇	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
巴羅	一、一、八、〇	一、一、八、〇	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
白耳義	四、〇、六	四、二、八	一、〇、一	一、〇、一	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
洪地	三、八、三	四、一、七	一、三、八	五、五、九	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
和蘭	二、四、七	二、四、七	一、一、六	一、一、六	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
諾威	一、一、六	一、一、六	一、一、六	一、一、六	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
西班牙	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
其他	二、七、八、九、七	二、七、一〇、一	二、七、一〇、一	二、七、一〇、一	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
合計	二、七、八、九、七	二、七、一〇、一	二、七、一〇、一	二、七、一〇、一	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
亞非利加	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
加奈太	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
合衆國	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
合計	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
歐洲	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
深太刺利亞	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
瓜哇	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
其他	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
合計	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
巴羅	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
白耳義	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
洪地	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
和蘭	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
諾威	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
西班牙	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
其他	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八
合計	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八	一、一、八

第十八章 電話ニ關スル施設

通信 電話ニ關スル施設

二百三十九

備考 本表ニハ爲替電報、再送電報、課金事務報及韓國ニ於ケル本邦局相互間ノ發著數下ヲ包含セズ



電話交換加入區域外ノ町村ヨリ都府トノ聯絡通信若クハ電話交換局設置ノ企圖ヲ請願スル者多シト雖モ財政ノ事情ハ是等ノ需要ヲ満足セシムル能ハサルニ因リ特設電話加入規則ヲ制定シテ電話交換加入區域外ニ在ル電話所所在地及其附近ニ居住スル者ハ電話ニ必要ナル一切ノ設備及維持等ヲ負擔シ電話加入ヲ爲シ得ル方法ヲ設ケ電話通信ノ普及ヲ計レリ今同規則第二條ニ依リ本年度ニ於テ指定シタル特設電話所名ヲ舉クレハ左ノ如シ

名 稱	指 定 年 月 日	交 換 業 務 開 始 年 月 日
葉山電話所	三十五年七月二十四日	三十五年八月三十日
宮ノ下電話所	同 同	同 同
湯本電話所	同 同	同 同
鎌倉電話所	同 同	同 同
日光電話所	同 同	同 同
大磯電話所	同 同	同 同
中宮祠電話所	同 同	未 定

同一電話加入區域内ニ於ケル電話料一通話金十五錢呼出料一回金十錢ナリシモ三十五年八月一日ヨリ普通加入區域内ハ電話料一通話金五錢呼出料一回金五錢ニ減額シ特別加入區域内ニ設置セル自働電話機及電話所ニ發著スル通話料金ノミ從前ノ如ク一通話時電話料金十五錢一回呼出料金十錢トセリ是レ蓋シ近時電話加入者電話所及自働電話機ノ増殖ニ伴ヒ一般公衆ヲ

シテ電話所及自働電話機ノ利用ヲ多カラシメントスルニ外ナラサルナリ

### 第十九章 電話局所及加入者

本年度ニ於テハ新設岡山電話交換局及東京電話交換局下谷分局ニ電話業務ヲ開始シ又前橋及福井ノ二市ニ電話交換局ヲ設置シ各業務開始ノ準備ヲ爲シ其他樞要ノ地ニ電話所ヲ設置シタルヲ以テ年度末現在數ハ業務開始準備中交換本支分局ヲ併セ二十七局電話所百五十一箇所ナリ之ヲ前年度末ニ較フレハ二局三十九箇所ノ増加トス又自働電話ハ漸次増加シテ百三十四箇ノ多キニ達シ前年度末ニ比シ六十七箇ヲ増加セリ

電話加入者ハ歳ヲ逐ヒテ増殖シ本年度末現員二萬九千九百四十一人ニシテ前年度末ニ比スレハ五千五十四人ヲ増加セリ此他既ニ加入申込ヲ受理セシモ年度末日迄ニ線條及機械ノ架設竣了セサルカ爲メ加入者ト爲スノ運ニ至ラサリシモノ實ニ二萬三千三百五十二人アリ今交換局設置市區ノ現在人口一萬人中加入者ノ割合ヲ舉クレハ本年度末ハ六十人ニテ前年度末ノ五十二人ニ比スレハ八人ヲ増加シ遡テ二十五年度末ノ八人ニ比スレハ七倍五分ノ多キニ上レリ而シテ本年度末ニ於ケル加入者ヲ市區別トセハ東京市ノ一萬千六百四十四人ノ總數百分ヲ最多トシ大阪市ノ六千三百四十一人ノ總數百分京都市ノ千八百七十五人ノ總數百分ニ次キ桑名町ノ百五十三人ヲ最少數トス是ニ由リテ觀レハ右三大市ノ加入者ヲ合シタル數ハ實ニ總數百分ノ六十六ヲ占ムル割合ナリ又加入者ヲ其職業ニ依リテ分類セハ旅宿温泉料理店等二千八百三十七人ノ總數百分ノ九ヲ最多トシ吳服織物商二千二百八十九人ノ總數百分ノ七十六官廳公署千四百四十人ノ總數百分ノ三十八等順次之



在韓國京城及仁川本邦郵便電信局ハ三十五年六月一日ヨリ電話交換業務ヲ兼掌シ同時ニ龍山及永登浦電話所亦電話通信ヲ開始セリ是ヲ本邦在外局ニ於ケル電話通信ノ權輿トス越テ三十六年三月十一日釜山郵便電信局ニ於テモ亦電話交換業務ヲ開始シ又西山電話所ヲ開設セリ而シテ本年度末現在取扱局所數ハ三局三箇所ニシテ電話加入者ハ三百十人同加入申込中ノ者ハ二人ナリ

今既往ニ於ケル事業擴張ノ狀況ヲ示サンカ爲メ左ニ局所及加入者ノ累年比較表ヲ掲クヘシ

電話局所及加入者最近十箇年比較

年度末	電話交換局		電話所		加入者		加入申込中ノ者
	本局	分局又ハ支局	加入者	加入申込中ノ者	本局	分局又ハ支局	
二十六年度末	二	二	二四	一七九七	六分局	一三	八〇六四
二十七年年度末	二	二	二四	二八〇八	一〇分局	一四	一一八二三
二十八年年度末	二	二	二四	四〇九八	一六分局	一四	一八六六八
二十九年年度末	二	二	二五	六五〇八	一七分局	一四	二四八八七
三十年度末	五分局	一	五三三六	一〇三三九	一八分局	四五	二九九四一

備考  
表中\*ハ自動電話ナリ  
本表ニハ年度末ニ於テ業務開始準備中ノ局所ヲ掲載セス附表亦同シ  
又在韓國本邦郵便電信局ニ於テハ三十五年六月ヨリ電話交換業務ヲ兼掌ス其取扱局所及加入者

ハ左ノ如シ

年度末	電話交換取扱局	電話所	加入者	加入申込中ノ者
三十五年度末	三	三	三三〇	二

第二十章 電話線路及機械

本年度末ニ於ケル架空裸線ハ電信線ニ添架シタル線路八十四里添架セサル線路九百二十五里其線條一萬七千百十三里架空「ケーブル」ハ裸線ニ添架シタル線路三十七里添架セサル線路十里其線條七十二里心線六千五百九十九里地下「ケーブル」ハ線路十八里線條六十二里心線一萬九千六百九十九里海底「ケーブル」ハ線條四里心線二十九里ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ架空裸線ハ電信線ニ添架シタル線路八十四里添架セサル線路三十二里線條千六百二十六里架空「ケーブル」ハ裸線ニ添架シタル線路九里添架セサル線路四里線條十五里心線千五百四十五里地下「ケーブル」ハ線路四里線條九里心線四千九百二十五里ヲ増加シ海底「ケーブル」ハ線條ハ増減ナク心線ハ二里ヲ減少セリ而シテ此線路ノ延長ニ伴ヒテ電話柱及碍子モ亦大ニ其數ヲ増殖セリ即チ本年度末現在電話柱ハ八萬三千九百四十六本内本柱七万四千四百二十五本支柱九千五百二十一本ニシテ前年度末ニ比シ總數六千九百二十四本内本柱四千三百四十三本支柱二千五百八十一本ヲ増加シ碍子ハ百九十萬二千九百二十七箇ニシテ前年度末ニ比スレハ二十二萬二千六百一十一箇ヲ増加セリ是等ノ増加ハ皆電話事業ノ擴張ニ伴フ自然ノ結果トス

今明治二十六年年度ニ遡テ線路延長及機械増加ノ狀況ヲ見ルニ左ノ如シ



電話線最近十箇年比較

年度	架空線		架空ケーブル		地下ケーブル		海底ケーブル	
	線路	線條	線路	線條	線路	線條	線路	線條
二十六年度末	一六五	一七九七	一	一三	一	一	一	一
二十七年末	一七六	一八八七	一	一三	一	一	一	一
二十八年末	一七八	二一三六	一	一三	一	一	一	一
二十九年末	二二六	二七七八	一	一三	一	一	一	一
三十年度末	三二四	五、四八〇	一	一三	一	一	一	一
三十一年度末	五九七	八、八二八	一	一三	一	一	一	一
三十二年度末	六一一	一、七〇三	一	一三	一	一	一	一
三十三年度末	七四四	一、四二六	一	一三	一	一	一	一
三十四年度末	八九三	一、五八七	一	一三	一	一	一	一
三十五年度末	一、〇〇九	一、七一一	一	一三	一	一	一	一

備考  
表中×ハ電信線へ裸線へ添架セルモノトス  
本表ノ外在外局所屬ノモノハ左ノ如シ而シテ×ハ會社線へ添架セルモノトス

年度	線路	線條	線路	線條	線路	線條	線路	線條
三十五年度末	内×	内×	内×	内×	内×	内×	内×	内×

電話機械最近十箇年比較(在外局ニ包含セス)

年度	交換機		電話機		合計	
	式列	式列	式列	式列	式列	式列
二十六年度末	一〇〇	一四	二七五	一四三	四一八	一〇〇
二十七年末	一〇	一	二九三	一八一	四七四	一〇
二十八年末	一	一	二九七	一八一	四七八	一
二十九年末	一	一	三三三	一八一	四四四	一
三十年度末	一〇	一	三三三	一八一	四四四	一〇
三十一年度末	一〇	一	三三三	一八一	四四四	一〇
三十二年度末	一〇	一	三三三	一八一	四四四	一〇
三十三年度末	一〇	一	三三三	一八一	四四四	一〇
三十四年度末	一〇	一	三三三	一八一	四四四	一〇
三十五年度末	一〇	一	三三三	一八一	四四四	一〇

第二十一章 電話交換局職員

本年度末ニ於ケル電話交換局職員ハ奏任官十七人判任官二百八十二人雇員及之ニ準スル者二千六百六十九人傭人九百七十四人合計三千四百四十二人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ奏任官ニ三人判任官ニ六人雇員及之ニ準スル者ニ三百七十八人傭人ニ三十八人合計四百二十五人ヲ増加セリ其職名別ヲ示セハ左ノ如シ

職名	人員		前年度末ニ比シ増	
	人員	月給	人員	月給
技師局長	一	一、四三三	一	一、四三三
通信 電話交換局職員	一	一、四三三	一	一、四三三











備考  
表中ハ自動電話ニ依リテ通話シタルモノトス  
本表ノ外在外局所ニ屬スルモノハ左ノ如シ

三十五年 六月以降	一 區域内		二 區域間	
	加入者ヨリ	電話所ニテ	加入者ヨリ	電話所ニテ
五〇九三三三	一	五〇九三三三	一六二〇〇	三二二四
	合計		合計	
	七三三		一九四一四	三二五四

電話ニ附隨シテ電話線託送電報ヲ述フレハ總數二十三萬九千四百七十一通ニシテ内加入者ヨリノ發信十萬七千六百七十九通加入者ヘノ著信二萬七千七百九十三通加入者以外ノ者ヨリノ發信六萬二千六百加入者以外ノ者ヘノ著信四萬三千九百七十三通ナリ今試ニ發信ト著信トヲ對照セハ加入者ハ發信三十九通ニ對シ著信十通ニシテ加入者以外ノ者ハ發信十四通ニ對シ著信十通ノ割合ナリ

### 第二十三章 郵便電信收入及支出

本年度ニ於ケル郵便電信收入ハ二千六十九萬二千餘圓ニシテ前年度ニ比シ百八十九萬六千餘圓即チ一割一厘ヲ増加シ之ニ對スル支出ハ千六百六十八萬三千餘圓ニシテ前年度ニ比シ七十一萬四千餘圓即チ四分五厘ノ増加トス尙ホ其各事業ニ付テノ狀況及既往十年間ノ事實ヲ對比スレハ左ノ如シ

#### 郵便電信收入遞信費對照表

三十五年度

事業ノ種類	收入	百分比	前年度ニ比シ増	支出	百分比	前年度ニ比シ増	支出ニ對スル收入超過	對スル支出
通常郵便	二二六〇九六七九	五六・一	〇・八七	七八四〇八八五	四七・〇	〇・七六	三三六八七九四	六七・五
小包郵便	一六八四二六三	八・一	〇・九三	一六九〇四六七	一〇・一	〇・六一	六二〇四	一〇・四
郵便貯蓄	八六三三三	四・〇	一・八七	八三七一九三	五・〇	〇・三三	二〇八六二	一〇・三
郵便貯蓄	三五六三	一・〇	六・九七	五四九七八七	三・三	〇・六七	五四六二二四	一〇・三
電信	四三一四六七三	二〇・九	〇・五八	四四八六〇五九	二六・九	〇・二八	一七一三八六	一〇・四
電話	二二六三六二六	一〇・九	二・五〇	一二七八九九一	七・七	〇・八八	九八四六三五	五六・五
總計	二〇六九二一三五	一〇〇・〇	一・〇一	一六六八三三八二	一〇〇・〇	〇・四五	四〇〇八七五三	八〇・六

備考  
本表收入ハ會計科目ニ所謂郵便電信收入中ヨリ切手貯金額五十二萬四百三十二圓及外國政府又ハ電信會社ハ仕拂フヘキ電報料金百三十六萬三千四百八十八圓又支出ハ會計科目ニ所謂遞信費中ヨリ收入印紙費下ニ屬スル經費七萬二千五百八十四圓切手貯金拂込金五十四萬九千八百三十三圓及外國政府又ハ電信會社ハ仕拂フヘキ電報料金百三十六萬二千四百八十六圓ヲ孰モ控除シテ前項電報料金ハ外國ヘ仕拂フヘキモノト本邦ヘ受取ルヘキモノトノ差額ナリ而シテ其收支二者ノ間ニ差額アル所以ハ前者ハ公衆ヨリ收入ノ月ヲ以テ調査シ後者ハ仕拂ノ月ヲ以テ調査シタルニ因ル

#### 郵便電信收入最近十箇年比較(圓トス)

年度	通常郵便				小包郵便				電信				電話			
	收入	支出	對	對	收入	支出	對	對	收入	支出	對	對	收入	支出	對	對
二十六年	四〇九七六五八	一〇一・一四	二七・八八六	七四〇・一四	四九九五九	五九七・二五	一・五二	一・五二	四〇九七六五八	一〇一・一四	二七・八八六	七四〇・一四	四九九五九	五九七・二五	一・五二	一・五二
二十七年	四七三〇〇九二	一九五・四九三	二六・〇三三	一・三三八	一三二・九六七	七五〇・四九三	一・五四	一・五四	四七三〇〇九二	一九五・四九三	二六・〇三三	一・三三八	一三二・九六七	七五〇・四九三	一・五四	一・五四

備考  
通信 郵便電信收入及支出 二百四十九



年度	通常郵便					小包郵便					電信					電話					合計										
	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	
二十八年年度	五二四、二〇七	二八、一三六	三三、四二五	九九五、二四〇	五五七、〇	一四、四三二	八三六、八八一	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三
二十九年年度	五九七、三六一	四六、八五二	三三、七三三	三三、七三三	三三、七三三	一五〇、四四四	九三、七二七	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三	一〇、四三三
三十年年度	六、五七九、六六七	七三、三三三	三八、四七〇	一、六〇九、三二〇	一、〇七、七八〇	二二八、五〇五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五
三十一年年度	七、二九四、八五一	八三、三八七	四〇、九二九	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	五七四、三三三	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五	一〇、二五五
三十二年年度	九、六四八、四三七	一〇、六五、九七五	五、九〇八	一、五六一、三三三	一、五六一、三三三	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五	一、〇三五、九七五
三十三年年度	一〇、五〇八、九九五	一三、三八七	六、四三三	一、九七六、四三三	一、九七六、四三三	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四	一、八三三、四四四
三十四年度	一〇、六七七、九三七	一五、四〇、五六一	六、八七五	二、一〇〇、四〇七	二、一〇〇、四〇七	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一	一、八七五、五七一
三十五年度	一一、六〇九、六七九	一六、八四、二六三	八、一六、三三三	二、五五三、三三三	二、五五三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三	二、六三三、三三三

備考 本表ハ會計科目ニ所謂郵便電信收入中ヨリ切手貯金額及外國政府又ハ電信會社へ仕拂フヘキ電報料金ヲ控除シ以テ實際ノ收入額ヲ示シタルモノナリ而シテ其電報料金ハ三十四年十一月以降ハ外國へ仕拂フヘキモノト本邦へ受取ルヘキモノトノ差額トス

遞信費最近十箇年比較(圖トス)

年度	通常郵便					小包郵便					電信					電話					合計										
	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	
二十六年年度	二、八七五、六二七	二九、八六七	二九、五五七	二、九二六、八八一	一、九六、七七九	五、二八四	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇
二十七年年度	三、一八三、三五九	三五、三八〇	三五、四六六	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	五、五五五	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四	五、四四四
二十八年年度	三、七二九、七七七	三九、九六八	三九、八七五	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	六、六六六	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五	六、五五五

年度	通常郵便					小包郵便					電信					電話					合計											
	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金	郵便	小包	郵便	郵便	貯金		
三十年年度	四、二九六、七八九	九八、八五〇	四三、〇七二	四、三三三、三三三	四、三三三、三三三	七、七九九	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	七、六八八	
三十一年年度	五、〇七三、三四〇	一〇、三三三	一〇、三三三	五、一三三、三三三	五、一三三、三三三	八、八八八	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	八、七七七	
三十二年年度	六、〇三三、七八八	一四、〇九〇	一四、〇九〇	六、一三三、三三三	六、一三三、三三三	一〇、〇〇〇	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八	九、八八八
三十三年年度	六、六六一、六九三	一六、一三三	一六、一三三	六、七三三、三三三	六、七三三、三三三	一一、〇〇〇	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	一〇、八八八	
三十四年度	七、二八六、〇三〇	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	七、三三三、三三三	七、三三三、三三三	一二、〇〇〇	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	一一、八八八	
三十五年度	七、八四〇、八八五	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	七、九三三、三三三	七、九三三、三三三	一三、〇〇〇	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八	一二、八八八

第二十四章 吏員養成

工其事ヲ善セント欲セハ必ス先ツ其器ヲ利ニス今日ノ事タル人物ノ養成ヨリ急且ツ切ナルハナシ殊ニ我通信事業ハ電信電話ノ如キ技術ニ屬スルモノタルト將タ郵便郵便爲替郵便貯金ノ業務ニ執掌スルモノタルトナ論セス孰モ普通ノ行政事務ト其趣ヲ異ニシ一種ノ技能熟練研究ヲ要スルヲ以テ適當ノ人物ヲ養成センカ爲メ夙ニ東京郵便電信學校ヲ設ケ又電氣通信技術傳習生養成規則及女子電氣通信技術傳習生養成規則ヲ定メタリト雖モ疑々タル社會ノ進運ニ對シテハ未タ此設備ヲ以テ能ク其需用ヲ満足セシムルニ足ラサル憾アルニ因リ本年度ニ於テ通信吏員本務外事務修習規程通信傳習生養成規則及通信講習生養成規則ヲ制定スルト同時ニ電氣通信技術傳習生養成規則及女子電氣通信技術傳習生養成規則ヲ廢止シ大ニ規模ヲ擴張シ益々新業ノ刷新ヲ期セントス以下順次節ヲ追ヒテ其大綱ヲ述ヘシ

通信 吏員養成



第一節 東京郵便電信學校

法規 三十五年四月十二日告示第百九十二號ヲ以テ本校規則中各科ノ學科目ヲ改正セリ其科目ヲ掲クレハ行政科ハ內國通信法規萬國通信法規郵便爲替貯金法規事業規畫法法制會計法規經濟學電氣通信英語第二外國語(佛語又ハ獨語)統計學商業地理和漢文兵式體操技術科ハ電氣學電信學電話學電氣工學電線建築學電氣通信電氣實驗數學及力學圖學物理學化學英語第二外國語(佛語又ハ獨語)會計法規兵式體操トス之ト同時ニ公達第百九十九號ヲ以テ通信科規則中學科目ヲ改正セリ今其科目ヲ掲クレハ電信學法制電氣通信電氣實驗數學圖學英語第二外國語佛語又ハ獨語商業地理兵式體操トス同年五月十九日告示第百三十號ヲ以テ本校規則中第五條行政科及技術科學科目中第二外國語(佛語又ハ獨語)ヲ第二外國語佛語獨語清語韓語ノ内一語トセリ是レ近時本邦ト清韓トノ關係益々密接シ通信事業ニ從事スル吏員ハ此兩國語ヲ研究セシムル必要アルニ因ルモノトス

聯絡學校 三十六年三月私立明倫中學校及同日比谷中學校ヨリ同校卒業證書ヲ有スル者ニ對シ本校規則第十五條ニ據リ第一次試驗ヲ省略セラレンコトヲ申請セシニ因リ其學科程度及教員ノ資格等ヲ審査シ之ニ承認ヲ與ヘタリ

圖書館 本校圖書館ハ學生校友其他本校ニ緣故アル者ニ限り閱覽セシメタリシカ其設備稍整頓シ一時ニ百二十名ノ閱覽者ヲ收容スルモ別ニ支障ヲ認メサルニ至リシヲ以テ本年度ヨリ更ニ進テ遞信部内一般ノ吏員ニ對シ閱覽ノ便ヲ開キ以テ斯業ニ關スル智識ノ普及ヲ計レリ

校舍設備 前年度ニ於テ寄宿舎ノ一部ヲ新築シ本年度ニ入り更ニ比隣ノ民家ヲ買收シ之ニ修理ヲ施シ以テ寄宿舎ニ充用シタリ其建坪木造二階建百八坪餘ニシテ外ニ寄宿舎設備ニ關聯セル浴室病室暖房機關室廊下等ノ附屬建物二百二十二坪餘ヲ新築セリ

學生入學 本年度ニ於テ入學セシムヘキ學生ハ行政科五十名技術科四十五名通信科七十名合計百六十五名ナルニ其應募者行政科二百十六名內中學卒業生百三名技術科百七十名內中學卒業生七十二名合計三百八十六名ニシテ試驗ノ結果入學ヲ許可シタル者行政科五十名內中業卒業生三十六名技術科三十九名內中學卒業生二十六名ナリ而シテ通信科學生ハ一等郵便電信局長ノ撰拔ヲ受ケ本校ノ學力試驗ヲ經テ入學セシムル規定ニシテ其試驗ニ及第シタル者五十一名ナリ

學生異動及現員 本年度ニ於ケル卒業生ハ行政科三十四名技術科三十一名通信科四十八名ニシテ行政科卒業生ハ通信書記ニ技術科卒業生ハ通信技手ニ任用シ通信科卒業生ハ各其任地ニ歸レリ而シテ本年度末ニ於ケル現任人員ハ二百二十五名ナリトス  
尚ホ其詳細ヲ表示セハ左ノ如シ

東京郵便電信學校生徒						三十五年度	
二年級	入學	退學	死亡	卒業	年度末現員	三十四	三七

通信 吏員養成



前年度ニ比シ増	總計	技術科		行政科		入學	退學	死亡	卒業	年度末現員
		一年級	二年級	一年級	二年級					
減	一四〇	五	三九	五〇	五〇					
減	一三	四	三	六	六					
八減										
三										
七	一一三	四八	三一	三一	三三					
一四	二二五	四七	九〇	四三	四七					

備考 前年度末行政科及技術科二年級現員ニ對シ行政科卒業生一名技術科卒業生三名ノ差アルハ原級據置ノモノアリシニ因ル

東京郵便電信學校生徒最近十箇年比較

入學	退學	死亡	卒業	現年度末	行政科		技術科		通信科	
					入學	退學	入學	退學	入學	退學
一	一	一	二六	二五	二	二	一	一	三三	三三
五五	一	一	二四	五四	六	五	一	三〇	六二	六二
三〇	五	一	三〇	四九	五〇	八	三	二四	七六	七六
二	三	三	一七	三八	二	三	一	二九	六八	六八

三十年度	三十一年度	三十二年度	三十三年度	三十四年度	三十五年度	行政科		技術科		通信科	
						入學	退學	入學	退學	入學	退學
三四	三三	二七	三三	二七	三〇	一	一	五	三	四	四
一五	一三	一三	一五	二〇	二七	二	二	六	二	二	二
二七	二七	二七	二七	二七	三〇	三	三	七	三	三	三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四	四	八	四	四	四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五	五	九	五	五	五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六	六	一〇	六	六	六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七	七	一一	七	七	七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八	八	一二	八	八	八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	九	九	一三	九	九	九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一〇	一〇	一四	一〇	一〇	一〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一一	一一	一五	一一	一一	一一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一二	一二	一六	一二	一二	一二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一三	一三	一七	一三	一三	一三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一四	一四	一八	一四	一四	一四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一五	一五	一九	一五	一五	一五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一六	一六	二〇	一六	一六	一六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一七	一七	二一	一七	一七	一七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一八	一八	二二	一八	一八	一八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	一九	一九	二三	一九	一九	一九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二〇	二〇	二四	二〇	二〇	二〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二一	二一	二五	二一	二一	二一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二二	二二	二六	二二	二二	二二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二三	二三	二七	二三	二三	二三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二四	二四	二八	二四	二四	二四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二五	二五	二九	二五	二五	二五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二六	二六	三〇	二六	二六	二六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二七	二七	三一	二七	二七	二七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二八	二八	三二	二八	二八	二八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	二九	二九	三三	二九	二九	二九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三〇	三〇	三四	三〇	三〇	三〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三一	三一	三五	三一	三一	三一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三二	三二	三六	三二	三二	三二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三七	三三	三三	三三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三四	三四	三八	三四	三四	三四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三五	三五	三九	三五	三五	三五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三六	三六	四〇	三六	三六	三六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三七	三七	四一	三七	三七	三七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三八	三八	四二	三八	三八	三八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三九	三九	四三	三九	三九	三九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四〇	四〇	四四	四〇	四〇	四〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四一	四一	四五	四一	四一	四一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四二	四二	四六	四二	四二	四二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四三	四三	四七	四三	四三	四三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四四	四四	四八	四四	四四	四四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四五	四五	四九	四五	四五	四五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四六	四六	五〇	四六	四六	四六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四七	四七	五一	四七	四七	四七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四八	四八	五二	四八	四八	四八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	四九	四九	五三	四九	四九	四九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五〇	五〇	五四	五〇	五〇	五〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五一	五一	五五	五一	五一	五一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五二	五二	五六	五二	五二	五二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五三	五三	五七	五三	五三	五三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五四	五四	五八	五四	五四	五四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五五	五五	五九	五五	五五	五五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五六	五六	六〇	五六	五六	五六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五七	五七	六一	五七	五七	五七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五八	五八	六二	五八	五八	五八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	五九	五九	六三	五九	五九	五九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六〇	六〇	六四	六〇	六〇	六〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六一	六一	六五	六一	六一	六一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六二	六二	六六	六二	六二	六二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六三	六三	六七	六三	六三	六三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六四	六四	六八	六四	六四	六四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六五	六五	六九	六五	六五	六五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六六	六六	七〇	六六	六六	六六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六七	六七	七一	六七	六七	六七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六八	六八	七二	六八	六八	六八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	六九	六九	七三	六九	六九	六九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七〇	七〇	七四	七〇	七〇	七〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七一	七一	七五	七一	七一	七一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七二	七二	七六	七二	七二	七二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七三	七三	七七	七三	七三	七三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七四	七四	七八	七四	七四	七四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七五	七五	七九	七五	七五	七五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七六	七六	八〇	七六	七六	七六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七七	七七	八一	七七	七七	七七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七八	七八	八二	七八	七八	七八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	七九	七九	八三	七九	七九	七九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八〇	八〇	八四	八〇	八〇	八〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八一	八一	八五	八一	八一	八一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八二	八二	八六	八二	八二	八二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八三	八三	八七	八三	八三	八三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八四	八四	八九	八四	八四	八四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八五	八五	九〇	八五	八五	八五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八六	八六	九一	八六	八六	八六
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八七	八七	九二	八七	八七	八七
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八八	八八	九三	八八	八八	八八
三三	三三	三三	三三	三三	三三	八九	八九	九四	八九	八九	八九
三三	三三	三三	三三	三三	三三	九〇	九〇	九五	九〇	九〇	九〇
三三	三三	三三	三三	三三	三三	九一	九一	九六	九一	九一	九一
三三	三三	三三	三三	三三	三三	九二	九二	九七	九二	九二	九二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	九三	九三	九八	九三	九三	九三
三三	三三	三三	三三	三三	三三	九四	九四	九九	九四	九四	九四
三三	三三	三三	三三	三三	三三	九五	九五	一〇〇	九五	九五	九五

備考 三十一年度末現員ノ前年度末分ト差引符合セサルハ技術科ヨリ行政科へ編入セラレタルモノ三名アルニ因ル

第二節 通信吏員本務外事務修習

通信吏員本務外事務修習規程ヲ設ケタルハ一、二等局員中現業務ニ執掌スル者ハ勿論其他ノ者ト雖モ本人ノ志望ニ依リ公務ノ餘暇ヲ以テ成ルヘク各種ノ業務ヲ傳習セシメ共通事務ヲ處理スル能力ヲ養成スルニ在リ而シテ其修習ハ左ノ區別ニ依リテ之ヲ爲サシム

- 一、郵便郵便爲替郵便貯金法規其他郵便現業ニ關スル諸般ノ事務
- 二、電信法規電氣通信其他電信現業ニ關スル諸般ノ事務
- 三、會計法規其他計算ニ關スル諸般ノ事務

本規程ニ依リ修習ヲ爲サ、ルモ單ニ試験ノミヲ請求スル者アルトキハ之ヲ行ヒ其試験ハ四箇月毎ニ執行シ事務修習ノ手續方法ハ一等局長適宜之ヲ定メ修習科目及其程度竝ニ檢定試験ノ程度手續採點方法問題採擇ニ關スル事項ハ東京郵便電信學校長之ヲ指定スルコト、セリ



本年度ニ於ケル修習ノ狀況ハ左ノ如シ

通信吏員本務外事務修習者		三十五年 年度	
入學	退學	死亡	卒業
神 戸 二〇			
仙 臺 一三六			
宇 宮 一三八			
長 野 七六			
青 森 四二			
合 計 四二二	五二		
			三六〇
			年度末現員

第三節 通信傳習生

通信傳習生ハ一、二、三等局ノ通信ニ從事セシムル目的ヲ以テ之ヲ養成スルモノトス通信傳習生養成規則ハ電氣通信技術傳習生養成規則及女子電氣通信技術傳習生養成規則ニ比スレハ養成期間六箇月ヲ四箇月ニ短縮シ教授科目中ニ郵便郵便爲替郵便貯金事務大意ヲ加ヘ東京郵便電信學校長ノ指定シ來リタル傳習生養成ニ關スル學科程度及採點方法ヲ一等局長ニ於テ定ムルコト等ニ於テ差異アリ

本年度ニ於ケル通信傳習生ノ異動現在並ニ修業試験ノ成績ヲ表示スレハ左ノ如シ

通信傳習生異動及現員

三十五年 年度

通信傳習生異動及現員		三十五年 年度	
入學	退學	死亡	卒業
東 京 一三三			
大 阪 八六			
京 都 五四			
神 戶 九三			
横 濱 五四			
長 崎 四八			
神 門 一〇四			
新 潟 五七			
名 古屋 七五			
熊 本 七六			
仙 臺 八二			
廣 島 八八			
宇 宮 四〇			
長 野 四三			
青 森 六〇			
金 澤 三九			
多 摩 七二			
鹿 兒 島 二〇			
合 計 一、二九四	一六五		
			一、一三九
			年度末現員

通信 吏員養成







第二十五章 郵便及電信犯罪

通信事業ニ關スル犯罪ニ對シ本年度中ニ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ左ノ如シ

郵便及電信犯罪者

三十五年度

類ノ事業種	罪 狀		與事務ル者干	セ事務ル者與	合 計	
	取	通 普				
常 通	料金完納郵便物受取ヲ拒絕ス 郵便禁制品ヲ差出ス 料金ヲ免カレントス 切手類ヲ再使用ス 郵便物ヲ窃取ス 郵便物ヲ開披、隱匿、拋棄ス 郵便物ヲ失フ 渡津ヲ拒絕ス 郵便用物件ヲ破棄ス 郵便料金ヲ私消ス 受取人ニアラサル者ニ郵便物ヲ交付ス 郵便物ヲ遅延セシム 切手類ヲ偽造行使ス 郵便ヲ妨害阻止ス 信書ヲ私送ス	料金完納郵便物受取ヲ拒絕ス 郵便禁制品ヲ差出ス 料金ヲ免カレントス 切手類ヲ再使用ス 郵便物ヲ窃取ス 郵便物ヲ開披、隱匿、拋棄ス 郵便物ヲ失フ 渡津ヲ拒絕ス 郵便用物件ヲ破棄ス 郵便料金ヲ私消ス 受取人ニアラサル者ニ郵便物ヲ交付ス 郵便物ヲ遅延セシム 切手類ヲ偽造行使ス 郵便ヲ妨害阻止ス 信書ヲ私送ス	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
		計	計	一	一	一
		切手類ヲ窃取ス	官印ヲ盗用ス	一	一	一
		計	計	一	一	一
		料金完納郵便物受取ヲ拒絕ス	郵便物ヲ窃取ス	一	一	一
		郵便物ヲ開披、隱匿、拋棄ス	郵便物ヲ失フ	一	一	一
		郵便物ヲ失フ	料金ヲ免カレントス	一	一	一
		計	計	一	一	一
		料金完納郵便物受取ヲ拒絕ス	郵便物ヲ失フ	一	一	一
		郵便物ヲ開披、隱匿、拋棄ス	郵便物ヲ失フ	一	一	一
		郵便物ヲ失フ	料金ヲ免カレントス	一	一	一
計	計	一	一	一		
切手類ヲ再使用ス	郵便物ヲ窃取ス	一	一	一		
郵便物ヲ開披、隱匿、拋棄ス	郵便物ヲ失フ	一	一	一		
郵便物ヲ失フ	渡津ヲ拒絕ス	一	一	一		
渡津ヲ拒絕ス	郵便用物件ヲ破棄ス	一	一	一		
郵便用物件ヲ破棄ス	郵便料金ヲ私消ス	一	一	一		
郵便料金ヲ私消ス	受取人ニアラサル者ニ郵便物ヲ交付ス	一	一	一		
受取人ニアラサル者ニ郵便物ヲ交付ス	郵便物ヲ遅延セシム	一	一	一		
郵便物ヲ遅延セシム	切手類ヲ偽造行使ス	一	一	一		
切手類ヲ偽造行使ス	郵便ヲ妨害阻止ス	一	一	一		
郵便ヲ妨害阻止ス	信書ヲ私送ス	一	一	一		
信書ヲ私送ス		一	一	一		

便 郵 包 小	便 郵		合 計	合 計		
	取 特	取 通 普				
合	信書ヲ封入ス 郵便禁制品ヲ差出ス 郵便物ヲ窃取ス 郵便物ヲ失フ 封皮ノ申受ヲ拒絕ス 誤達郵便物ヲ郵便ニ差出サス	切手類ヲ窃取ス 官印ヲ盗用ス	信書ヲ封入ス 郵便禁制品ヲ差出ス 郵便物ヲ窃取ス 郵便物ヲ失フ 封皮ノ申受ヲ拒絕ス 誤達郵便物ヲ郵便ニ差出サス	切手類ヲ窃取ス 官印ヲ盗用ス	一 一 一 一 一 一	
			計	計	一	一
			計	計	一	一
			信書ヲ封入ス	切手類ヲ窃取ス	一	一
			郵便禁制品ヲ差出ス	官印ヲ盗用ス	一	一
			郵便物ヲ窃取ス	切手類ヲ窃取ス	一	一
			郵便物ヲ失フ	官印ヲ盗用ス	一	一
			封皮ノ申受ヲ拒絕ス	切手類ヲ窃取ス	一	一
			誤達郵便物ヲ郵便ニ差出サス	官印ヲ盗用ス	一	一
			計	計	一	一
			計	計	一	一

通信 郵便及電信犯罪

三十五年度







年度	郵便電信局			郵便局	郵便支局	郵便出張所	郵便受取所	合計	上				中			
	一等	二等	三等						取扱フモノ	小包郵便	郵便為替	郵便貯金	電信取扱	取扱フモノ	郵便貯金	電信取扱
三十年度末	五	二九	三四	三	二	三	二	七二	七二	七二	七二	五〇	五〇	四〇		
三十一年度末	四	二二	三二	一	三	一	二	七二	七二	七二	七二	五〇	五〇	四〇		
三十二年度末	四	一八	二八	一	三	一	二	七八	七八	七八	七八	五八	五八	四三		
三十三年度末	四	二二	三三	一	三	一	二	八八	八八	八八	八八	五八	五八	四三		
三十四年度末	二	二二	三六	一	三	一	二	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	五八	五八	四三		
三十五年度末	二	二二	三六	一	三	一	二	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	五八	五八	四三		

二百六十四

臺灣郵便切手賣下所及郵便函累年比較

年度	郵便切手賣下所		郵便函		郵便掛		郵便合		合計
	柱	函	掛	函	掛	函	合		
二十九年 度末	四五	八〇	七二	二四	八	八	八〇	八〇	
三十一年 度末	二八	一〇二	一五六	二六	二四	二四	一四〇	一四〇	
三十三年 度末	一七	一四二	一五二	二六	二六	二六	一七八	一七八	
三十四年 度末	二〇	一七七	二一六	二六	二八	二八	二一四	二一四	
三十五年 度末	三六	二〇一	二四七	二五	三八	三八	二四〇	二四〇	

臺灣郵便及電信局職員

三十五年度末

局ノ種類	局長		技師	書記	書記補	技手	雇員	合計	集配人	遞送人	郵便夫	船員	電工	信夫	合計
	奏任	列任													
一等局	二	一	二	八六	四三	二五	八九	二四七	一一〇	一	九	一五	一〇一	二四五	
二等局	四	八	一	一一	五八	四	一一〇	三〇八	一七五	三	二五	二七	一〇一	二三〇	
三等局	一	六	一	一	一	一	一四	一八八	二三八	一〇八	一	一	一	三四六	
總計	六	五	二	一〇〇	一〇一	二九	三五一	七四三	五三三	一一一	三四	四二	一〇一	八二一	
三十四年度末	六	五	二	一一〇	一一四	二二	三三二	七四三	五三三	一一一	三四	四二	一〇一	九三八	
三十三年度末	六	五	二	一一〇	一一四	二二	三三二	七四三	五三三	一一一	三四	四二	一〇一	九三八	
三十二年度末	四	五	二	一一〇	一一四	二二	三三二	七四三	五三三	一一一	三四	四二	一〇一	九三八	
三十一年度末	四	五	二	一一〇	一一四	二二	三三二	七四三	五三三	一一一	三四	四二	一〇一	九三八	
三十年度末	四	五	二	一一〇	一一四	二二	三三二	七四三	五三三	一一一	三四	四二	一〇一	九三八	
二十九年度末	四	五	二	一一〇	一一四	二二	三三二	七四三	五三三	一一一	三四	四二	一〇一	九三八	

備考 郵便及電信支局長ハ之ヲ書記中ニ算入セリ

臺灣郵便線路里程累年比較

年度	通常道路			鐵道	輕便鐵道	水路	合計	百分比			
	通常道路	鐵道	輕便鐵道					通常道路	鐵道	輕便鐵道	水路
二十九年度末	一九五	二六	一	二七〇	四九	三九七	三六〇	三九	五三	一	五五〇
三十年度末	二三五	二五	一	二七〇	四九	三九七	三六〇	三九	五三	一	五五〇
三十一年度末	一八七	二二	一	二七〇	四九	三九七	三六〇	三九	五三	一	五五〇

通信 臺灣郵便電信及電話

二百六十五



年度	臺灣通常郵便物數累年比較				百分比			
	通常道路	鐵道	輕便鐵道	水路合計	通常道路	鐵道	輕便鐵道	水路
三十二年度末	一八八	二二	八六	六四八	一九九	二四	九一	六八六
三十三年度末	三五二	三四	七九	二四〇八	二二三	二四	二七	八三八
三十四年度末	三五七	五三	六〇	二六八一	一一三	一七	一九	八五一
三十五年度末	三三三	六三	四六	二六八一	一〇七	二〇	一五	八五八

年度	臺灣通常郵便物數累年比較										
	書狀	書業	新聞雜誌	書籍類	業務用	見本	農產物	無料	合計	配達	前年度ニ比シ増
二十九年度	二六二二六五	八一三三三六	一九七、二八六	三九〇七六	—	一、二七九	七九一	五五六五七二	五二一九六〇五	六、八〇三、〇五七	—
三十年度	三二二、二九	二七〇八三七七	四八五、八七二	三六、九七二	六一	四、四六一	八六二	四、五、三〇四	六、八〇九、二二八	七、四〇四、四九五	—
三十一年度	三、四七五、四一八	二、六八九、五四〇	六、五三、四一六	六二、九五〇	五九	三、四四七	六二七	五、四三、四〇二	七、四二八、八五九	七、七八六、五六六	〇、九一
三十二年度	三、五六四、二五五	二、六三三、九九一	一〇、四四、九〇九	七、八八八	二五	四、〇九七	五、一三	八、四〇八、二四八	八、七二一、六一六	八、七二一、六一六	—
三十三年度	四、五〇九、四七四	二、七九、八九九	一、九三三、四六九	九二、一九八	五、五三七	一、五五六	六、二四二	七、六七三、三三三	一、一六〇、七五二	一、二九九、七四九	三、八一
三十四年度	五、五六四、二六一	二、五、四八八	二、五八四、七一九	一四二、二八九	二、八九九	二、二七五	二、三三三	八、八五八、八九一	一、四六五、〇〇〇	一、五七三、三三八	二、六三
三十五年度	五、三九三、二五	四、〇三、七三三	一、七八三、四〇三	一一二、六四四	一一、二七七	一、〇二二〇	五、五九三	九、三三八、〇七八	一、三、一五八、八〇三	一、七九八、六一九	一、〇三

臺灣小包郵便物數累年比較

年度	內國小包				外國小包				合計				前年度ニ比シ増
	有引	無引	計	受配	有引	無引	計	受配	有引	無引	計	受配	
二十九年度	三三〇五四	一五一七	三三、五七一	五四〇五一	—	—	—	—	三三、五七一	—	—	—	—
三十年度	一〇七、二七	二、二七九	一〇九、三九六	一七一、八五九	—	—	—	—	一〇九、三九六	—	—	—	—
三十一年度	一六〇、七七一	三、九八八	一六四、七二九	二三八、二九五	—	—	—	—	一六四、七三三	—	—	—	—
三十二年度	一七三、六七三	四、〇〇二	一七七、六七五	二八三、六八二	—	—	—	—	一七七、六九二	—	—	—	—
三十三年度	一〇六、六九九	四、四〇七	一一一、一〇六	一七五、八〇〇	—	—	—	—	一一一、二二一	—	—	—	—
三十四年度	一〇三、七四九	四、三六九	一〇八、一一八	一八〇、二六九	—	—	—	—	一〇八、一三八	—	—	—	—
三十五年度	一一〇、八九七	三、七六五	一一四、六六二	一九〇、二七三	—	—	—	—	一一四、六九〇	—	—	—	—

臺灣內國郵便爲替累年比較

年度	振出				拂渡			
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
二十九年度	八六、一九五	一、四七、二八三	二、七九三	六、七五、八七	一、七五、五七	三、三二、七九	一〇、〇六、五四五	一、五七、二五九
三十年度	八六、一九五	一、四七、二八三	二、七九三	六、七五、八七	一、七五、五七	三、三二、七九	一〇、〇六、五四五	一、五七、二五九
三十一年度	八六、一九五	一、四七、二八三	二、七九三	六、七五、八七	一、七五、五七	三、三二、七九	一〇、〇六、五四五	一、五七、二五九
三十二年度	八六、一九五	一、四七、二八三	二、七九三	六、七五、八七	一、七五、五七	三、三二、七九	一〇、〇六、五四五	一、五七、二五九
三十三年度	八六、一九五	一、四七、二八三	二、七九三	六、七五、八七	一、七五、五七	三、三二、七九	一〇、〇六、五四五	一、五七、二五九
三十四年度	八六、一九五	一、四七、二八三	二、七九三	六、七五、八七	一、七五、五七	三、三二、七九	一〇、〇六、五四五	一、五七、二五九
三十五年度	八六、一九五	一、四七、二八三	二、七九三	六、七五、八七	一、七五、五七	三、三二、七九	一〇、〇六、五四五	一、五七、二五九



年度	振替		電信		小計		合計		拂渡		前年度比 増加口數
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	
三十年度	一九五七五三	三三二、八五六	九、一〇五	二一六、三五五	四〇、一〇四	七二、七五二	二四四、九六五	三六〇、一九六	七六、一〇九	一、二六八〇七	一〇三
三十一年度	二一四四六八	三二四、七八一	一〇、五四三	二二二、四四五	四五、二二二	八〇、六三七	二七〇、二二三	三三三、五六〇	一〇二、〇六六	四一八、〇六三	一〇三
三十二年度	二五一四九三	二八三、二一六	二〇、一四一	五八、九三三	五一、八七〇	九〇、六七六	三三三、五〇四	四八八、三一一	一三四、〇三二	三三九、三五六	一九七
三十三年度	一七八四九八	三六五、一八五	四〇、三九二	一〇七、三三四	六九、三三〇	一六四、一四二	二八八、二一〇	四八八、九六八	一二二、五六二	二六五、八六六	一〇九
三十四年度	一六五三三三	四〇八、二三九	四六、七一八	一三〇、一五〇	九九、九三三	二七九、八〇五	三二二、〇〇四	五九八、九五一	一四五、二九九	一六五、七六九	〇、八三
三十五年度	一六七五六九	四七五、〇四九	四七、九九六	一、二七八、八四四	一一〇、七三三	三四〇、四〇四	三三六、二九七	一、四六二、九七	一五九、九七三	四八七、五六二	〇、七八

備考 從來通常爲替及電信爲替金額ノ制限ハ證書一枚ニ付三十圓ナリシカ三十三年十月一日以降之ヲ五十圓トシ同時ニ小爲替金額ノ制限三圓ナリシヲ五圓トセリ

臺灣外國郵便爲替累年比較

年度	振替		出拂		平均一口ノ金額	
	口數	金額	口數	金額	振出	拂渡
三十一年度	六三	一、四一七	一、四一七	一、四一七	二二、五	二二、五
三十二年度	八七	二、二〇四	二、二〇四	二、二〇四	二五、三	二五、三
三十三年度	九二	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	三九、〇	三九、〇
三十四年度	九二	四、〇二五	四、〇二五	四、〇二五	四四、二	四四、二
三十五年度	一五〇	五、〇三八	五、〇三八	五、〇三八	四四、二	四四、二

備考 三十三年度以降ニ係ルモノハ郵便爲替貯金管理所ニ於テ取扱ヒタルモノトス

臺灣郵便貯金預ケ人及金額職業別累年比較(金額トハ單位トス)

年度	農業者		商業者		工業者		雜業者		職工及漁獵業		軍人吏生		無職業		未詳		社寺其他團體		合計	平均一人ノ預ケ金額
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額		
二十九年	九二	一、〇〇三	一四六	一、七七一	一七	四二四	四七九	一〇六	四二六	三六	一五二	二六八	一、二三四	一	一	一	一	一	五、八四七	三九、一
三十年	一〇三	一、〇〇三	一四六	一、七七一	一七	四二四	四七九	一〇六	四二六	三六	一五二	二六八	一、二三四	一	一	一	一	一	五、八四七	三九、一
三十一年	一一九	一、〇〇三	一四六	一、七七一	一七	四二四	四七九	一〇六	四二六	三六	一五二	二六八	一、二三四	一	一	一	一	一	五、八四七	三九、一
三十二年	一二九	一、〇〇三	一四六	一、七七一	一七	四二四	四七九	一〇六	四二六	三六	一五二	二六八	一、二三四	一	一	一	一	一	五、八四七	三九、一
三十三年	一三九	一、〇〇三	一四六	一、七七一	一七	四二四	四七九	一〇六	四二六	三六	一五二	二六八	一、二三四	一	一	一	一	一	五、八四七	三九、一
三十四年	一四九	一、〇〇三	一四六	一、七七一	一七	四二四	四七九	一〇六	四二六	三六	一五二	二六八	一、二三四	一	一	一	一	一	五、八四七	三九、一
三十五年	一五九	一、〇〇三	一四六	一、七七一	一七	四二四	四七九	一〇六	四二六	三六	一五二	二六八	一、二三四	一	一	一	一	一	五、八四七	三九、一

臺灣郵便貯金預入及拂戻累年比較

年度	預入		拂戻		前年度末ニ比シテ増減
	口數	金額	口數	金額	
二十九年	二五、七四七	三、五〇六、四〇〇	三、〇〇七	八、八〇九、九四〇	五、八四七
三十一年	二五、七四七	三、五〇六、四〇〇	三、〇〇七	八、八〇九、九四〇	五、八四七
三十三年	二五、七四七	三、五〇六、四〇〇	三、〇〇七	八、八〇九、九四〇	五、八四七
三十五年	二五、七四七	三、五〇六、四〇〇	三、〇〇七	八、八〇九、九四〇	五、八四七

通信 臺灣郵便電信及電話 二百六十九



年度	預入		拂戻		年度		前年度末ニ比シ増額
	度數	金額	度數	金額	預ケ人	金額	
三十一年度	五四,四四二	五九,九一七	一三,三三七	三九,七〇七	一〇,九九六	四〇,二八六	一
三十二年度	六七,九五二	六四,八七四	二〇,〇五四	五五,〇九七	一四,六九七	四八,五八三	三,四〇
三十三年度	一六,九九六	七一,四二六	二六,七六七	六一,四〇七	二二,五二〇	五五,八九九	五,三三
三十四年度	一五七,二一八	七九,四四二	三〇,九六三	六七,二五八	二七,六六九	六四,五二六	二,二九
三十五年度	一八九,九一七	七九,四四三	三八,二八七	七四,七四九	三三,八六六	六五,五九四	二,二四
	二二二,五五九	八九,七〇九	四五,五八三	七五,二九〇	四一,一四五	七六,三五一	二,一五

備考  
本表預入金額中ニハ元加利子及公債利子ヲ包含ス  
本表掲ケルモノ、外郵便貯金ヲ以テ購入保管セル公債證書アリ其三十五年度ニ於ケル事實ハ左ノ如シ

購入手數料  
八円

### 臺灣電信線里程累年比較

年度	陸上線		海底線	
	線路一里ニ付線條	線路一里ニ付線條	線路一里ニ付線條	線路一里ニ付線條
二十九年 度末	三三,〇二七	三三,〇二七	五,二〇〇	五,二〇〇
三十年 度末	三三,三三三	三三,三三三	五,四三九	五,四三九
三十一年 度末	二七,〇一五	四二,四三五	五,四八一	五,四八一
三十二年 度末	三〇,四三三	五八,〇二六	六,一八三	六,一八三

### 臺灣電信機械現用數累年比較

年度	現用數	現波二重機
三十三年 度末	三二,六一五	六,〇〇七
三十四年 度末	三二,五〇一	五,八一八
三十五年 度末	三二,〇一〇	五,三六九

### 臺灣電報數及料金

年度	現用數字		音響機	
	單信	重信	單信	重信
二十九年 度末	七九	三	三	三
三十年 度末	八七	三	三	三
三十一年 度末	一一一	三	三	三
三十二年 度末	七七	三	三	三
三十三年 度末	一四三	三	三	三
三十四年 度末	七七	三	三	三
三十五年 度末	七〇	三	三	三

### 臺灣電報數及料金

年度	和文		歐文		合計		前年度ニ比シ減少	平均一通ノ料金
	信數	通數	信數	通數	信數	通數		
二十九年 度末	七〇,二四二	九七,九二〇	二〇,三〇〇	一四,四一四	九〇,五四六	五三,〇〇五	〇,五七	〇,五四
三十年 度末	五三,一九五〇	二二,四八三	三三,九九六	三三,三三三	三,四八二	二二,八〇七	〇,三九	〇,四一
三十一年 度末	五三,一九〇四	九七,二二七	三三,九九六	三三,三三三	三,四八二	二二,八〇七	〇,三九	〇,四一
三十二年 度末	五三,一九〇四	九七,二二七	三三,九九六	三三,三三三	三,四八二	二二,八〇七	〇,三九	〇,四一
三十三年 度末	五三,一九〇四	九七,二二七	三三,九九六	三三,三三三	三,四八二	二二,八〇七	〇,三九	〇,四一
三十四年 度末	五三,一九〇四	九七,二二七	三三,九九六	三三,三三三	三,四八二	二二,八〇七	〇,三九	〇,四一
三十五年 度末	五三,一九〇四	九七,二二七	三三,九九六	三三,三三三	三,四八二	二二,八〇七	〇,三九	〇,四一

通信 臺灣郵便電信及電話







臺灣電話交換取扱局所及電話加入者

年度	電話交換取扱局		電話所		加入者		加入申込中ノ者	
	局數	電話機	局數	電話機	人員	電話機	人員	電話機
三十三年度末	五	四	一	一	四三一	四五六	一九六	三
三十四年度末	五	四	一	一	六二五	六三四	二二三	三
三十五年度末	五	四	一	一	六八六	六九四	四	五

備考 三十五年一月二十四日勅令第六號ヲ以テ同月二十七日ヨリ電話交換局官制ヲ廢止シ電話交換業務ハ特ニ指定シタル一、二等郵便電信局及其支局所ニ於テ兼掌又ハ分掌スルコト、ナレリ

臺灣電話線里程

年度	架空線		架空ケーブル		水底線	
	線路	線條	線路	線條	線路	線條
三十三年度末	一六、一〇七	三、七〇五	〇、三三三	〇、三三三	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
三十四年度末	一九、五〇二	五、四〇三	〇、三三三	〇、三三三	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
三十五年度末	一五、五三五	五、四〇三	〇、三三三	〇、三三三	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇

臺灣電話機械及電池

年度	交換機		電話機		電池
	式	台數	台數	台數	
三十三年度末	百人附	四	六	一〇	一、〇四〇
三十四年度末	五十人附	三	二	二	一、四八三
三十五年度末	廿五人附	三	二	二	一、六四八

臺灣電話加入一區域内通話度數及其料金

年度	加入者ヨリ通話		電話所ニテ通話		合計
	度數(概算)	平均一度ノ料金	度數	平均一度ノ料金	
三十三年度末	八二、一八九	二、九〇七	二六	一、五七	八二、一八九
三十四年度末	二、八三三	六、一〇三	二七	二、八三三	二、八三三
三十五年度末	三、六八六	七、四七四	二七	三、六八六	三、六八六

臺灣電話加入二區域間通話度數及其料金

年度	加入者ヨリ通話		電話所ニテ通話		合計
	度數	平均一度ノ料金	度數	平均一度ノ料金	
三十三年度	七、四七三	三、二七七	一四二	四、二二三	七、四七三
三十四年度	一、七九九	七、九九二	一四九	六、〇	一、八〇三
三十五年度	一、七六八	七、九三〇	一三九	三、九三	一、八〇三

通信 臺灣郵便電信及電話







前者ハ一萬二千九百八十五名後者ハ内國人ニ五百八十八名外國人ニ十四名ヲ増加セリ又本年中ノ海技受験者ハ内國人二千四百五名外國人四十一名其合格者ハ内國人八百七十八名外國人二十四名ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ受験者ハ上級免狀ニ於テ増加シタルタメ總員ニ於テハ僅ニ一名ヲ減シタルノミ合格者ハ試験程度ノ高マリタルタメ百六十二名ヲ減少セリ又審判事件ハ高等海員審判所ノ裁決及決定三十件四十一名地方海員審判所ノ裁決二百八十八件三百二十二名ニシテ前者ハ二件十一名後者ハ二十二件二十四名ヲ増加セリ

官設航路標識ハ本年度ノ新營ニ係ルモノ燈標四基晝標二箇繼續事業ニ係ルモノ燈標三基ニシテ其工事ヲ了ヘタルモノハ白石、クダゴ島、中ノ瀬、日御崎、日燈標及瓦洲、沖ノ洲ノ兩浮標トス而シテ本年末ノ標識ハ官設百七十二箇公設五十三箇私設十五箇ニシテ燈標ノ射光面積ハ六萬五千百三十方淫ナリ

湖南汽船株式會社ハ本年九月以降五箇年間利子補給ノ方法ニ依リ保護ヲ受クルコト、爲レリ同社ノ從事スヘキ航路ハ漢口、岳州、長沙、湘潭ノ各地ニシテ開始準備中トス又本年度中日本海員救濟會ハ高等海員二百七十四名水火夫九百八十四名ヲ養成セリ又大日本帝國水難救濟會ハ救難所及救難組合ヲ十三箇所ニ増設シ船舶三百八十九艘人員千六百八十七名ヲ救助セリ

### 第一章 法規

三十五年度中管船事務ニ關シ發布セル法規ノ重要ナルモノハ左ノ如シ  
 省令 三十五年五月二十九日省令第二十號ヲ以テ海員試驗規程第六條ヲ改正セリ

八月二十七日省令第三十七號ヲ以テ開港港則第十八條中ヲ削除セリ  
 九月三日省令第三十九號ヲ以テ火藥類船舶運送及貯藏規程ヲ定ム  
 十月十八日省令第四十八號ヲ以テ三十二年省令第十九號商法第五百六十二條中ニ掲クル書類ノ件第二條ヲ改正セリ

十二月一日省令第五十七號ヲ以テ船燈、信號器、救命具取締規則中ヲ改正セリ  
 三十六年一月十四日省令第二號ヲ以テ火藥類船舶運送及貯藏規程中ヲ改正セリ  
 訓令 三十五年六月二日訓令第一號ヲ以テ水難救護法、取扱手續中ヲ改正セリ  
 三十六年一月十六日訓令第一號ヲ以テ臺灣汽船職員懲戒取扱規則ニ依ル届出處理方ノ件ヲ定ム

### 第三章 管海官廳

三十五年度末ニ於ケル海事局ハ四箇所海務署ハ十八箇所其職員ハ

人	局	長	海事官	書記	手	員	合	計
月	給	員	員	員	員	員	員	員
	六五〇圓	四	一四九	三五	三〇	二二	一三九	
		責任	責任	責任	責任	責任	責任	
		四三〇八圓	一〇四〇圓	一〇六五圓	三四九圓	七四二圓		

ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ人員ハ増減ナク月給ニ百三十六圓ヲ増加セリ

又船員法ノ事務ヲ行フ指定ノ市町村長ハ七十名ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ六名ヲ増加セリ是レ長崎縣上縣郡佐須奈戶長、宮城縣宮城郡鹽釜町長、富山縣上新川郡東岩瀨町長、同縣下新川











製造地	航路別					合計	汽船	帆船	汽船	帆船	汽船	帆船	合計	總噸數
	遠洋	近海	沿海	平水	未定									
二十噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
五十噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
一百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
二百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
三百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
四百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
五百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
六百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
七百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
八百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
九百噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
一千噸以上	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1
合計	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	5	1	1

登簿石數船積量船齡及航路別

三十五年末

船齡別	五百石未滿	五百石以上	千石以上	合計	積石數
十五年未滿	109	4	1	114	37,463
十五年以上	349	4	1	354	140,558

航路別	合計	近海	未定	合計	不詳	三十五年未滿	三十五年以上	二十五年未滿	二十五年以上	十五年未滿	十五年以上	五年未滿	五年以上
合計	898	641	257	898	137	2	1	1	1	1	1	1	1
近海	641	641	257	641	137	2	1	1	1	1	1	1	1
未定	257	257	257	257	137	2	1	1	1	1	1	1	1
合計	898	641	257	898	137	2	1	1	1	1	1	1	1
不詳	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137
三十五年未滿	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
三十五年以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
二十五年未滿	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
二十五年以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十五年未滿	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十五年以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
五年未滿	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
五年以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

是等各種船舶ノ既往十箇年間ニ於ケル消長ハ左ノ如シ

船舶最近十箇年比較(石數船ヲハ五ナ除ク)

管船	汽船		帆船		石		平均一艘ノ積量	
	數	總噸數	數	總噸數	數	積石數	噸數	石數
二十六年末	680	176,915	749	48,303	1,720	28,784	260	167
二十七年末	745	273,419	733	46,959	1,730	28,761	367	166
二十八年末	827	341,369	701	44,794	1,736	29,688	413	171
合計	2,252	591,703	2,183	139,956	5,176	87,233	1,040	304



年	汽船		帆船		合計	平均噸數	汽船噸數	帆船噸數	合計噸數
	艘數	噸數	艘數	噸數					
二十九年末	八九九	三七三三八八	六四四	四四〇五五	一七六二二	三〇六六二八	四一六	六八	一七四
三十一年末	一〇三三	四三三七七九	七一五	四八一三〇	一九〇九七	三、三三〇、二八四	四二五	六七	一七四
三十三年末	一、一三〇	四七、四三〇	一九一四	一七〇八九四	一九〇九九	三、〇四九、〇三五	四二二	八九	一六〇
三十四年末	一、三三九	五、〇〇七	三、三三三	二八六、九三三	一八、四七九	二、七三三、六四六	四一八	八六	一四七
三十五年末	一、三九五	五、八三三	四、〇二六	三三〇、五七二	一八、七九六	二、七八五、一一四	四〇九	八三	一四八
	一、四四一	六、一〇、四四六	三、九七七	三三六、二五四	一八、七四三	二、三五一、九五〇	四二一	八五	一三五

登簿噸數船積量別最近十箇年比較

年	汽船		帆船		合計	總噸數	汽船噸數	帆船噸數	合計噸數
	艘數	噸數	艘數	噸數					
二十六年末	一、一八	一八九	四三	一、一	四〇〇、六七九	一〇八	一〇二	二一八	三、三六六
二十七年末	一、三三	二〇三	四六	二九	四六一、二六三	八五	一〇四	一九六	三、一〇三
二十八年末	一、四八	二二五	四一	四〇	五二八、三三七	九八	一〇三	二〇一	三、〇三三
二十九年末	一、五七	二二九	四八	四五	五七〇、三三三	九一	九一	一八二	二、七四二
三十一年末	一、七五	二六〇	五二	六八	六二六、六二四	九五	九五	一七〇	二、七四二
三十三年末	二、〇二	二七七	六八	四四	六七四、四四二	六六	六六	一三二	二、七四二
三十四年末	二、二〇	二八七	六五	四七	七三三、四九八	六八	六八	一四〇	二、七四二
三十五年末	二、六〇	三〇六	七〇	五二	八五九、五三四	七三	七三	一四九	二、七四二

年	汽船	帆船	合計
三十四年末	四二七	七四	五〇一
三十五年末	四七九	八一	五六〇

登簿噸數船質及製造地別最近十箇年比較

年	鋼及鐵		鐵及木		木		合計	
	內國製	外國製	內國製	外國製	內國製	外國製	內國製	外國製
二十六年末	八	一〇	一六	七五	三	九	三〇一	九九
二十七年末	一一	二二	一六	九六	三	八	三二七	一三四
二十八年末	一四	三三	一五	一六	六	八	三六六	一六二
二十九年末	一四	三三	一五	一六	六	八	三八七	一八三
三十一年末	一九	四六	一六	二二	六	八	四三〇	一九六
三十三年末	三三	七二	一六	一〇九	五	六	四七九	一九五
三十四年末	五六	八〇	一八	一一三	七	七	五五三	二〇六
三十五年末	七〇	八四	二二	一一三	一	七	七五四	二二五

登簿石數船積量別四箇年比較

管船 船船















航路	船數	總噸數
米國線	三	一七〇七三
孟買線	二	七〇八三
東洋近海及南洋線	八	一九八一七
總計	一三	四三、九七三
前年度末ニ比シ増	二	九二四三

第二節 特別助成

本年度末ニ於ケル特別助成航路ハ左ノ如シ

線路	補助金年額	命令期間	受命者
橫濱「メルボルン」線	五二五、六五八	三十四年三月ニ終始	日本郵船株式會社
橫濱孟買線	一七、八七五	同	同
歐洲線	二六三、八九四	三十四年十一月ニ終始	同
香港「シヤトル」線	六五、四〇〇	三十四年十一月ニ終始	同
橫濱上海線	五五、〇〇〇	三十四年九月ニ終始	同
神戶北清線			
神戶韓國北清線			
神戶補鹽斯德線			
神戶小樽線			

線路	補助金年額	命令期間	受命者
青森室蘭線	一〇、三三八〇	三十四年二月ニ終始	東洋汽船株式會社
香港桑港線	二四、四九三	三十四年二月ニ終始	大阪商船株式會社
上海漢口線	一一〇、三九九	三十四年二月ニ終始	同
漢口宜昌線	三〇、〇〇〇	三十四年二月ニ終始	同
神戶韓國線	一七、六七二	三十四年六月ニ終始	大東汽船株式會社
上海蘇州線	二二、五〇七	同	同
上海杭州線	二七、六九四	同	同
蘇州杭州線	一四、〇〇〇	三十四年三月ニ終始	同
日本海線	六、一七九〇六	三十四年三月ニ終始	大阪商船株式會社
總計	七、一六八		

三十五年九月湖南航路補助ノ爲メ湖南汽船株式會社(資本金百五十萬圓)ニ對シ同月十五日ヨリ向フ五箇年間其拂込金額ニ對シ年六分ノ利子ヲ補給スルコト、セリ而シテ該社ノ從事スヘキ航路ハ漢口、岳州、長沙、湘潭ノ各地ニシテ目下開始準備中ナリ

第九章 造船獎勵

三十五年度中造船獎勵法ノ規定ニ依リ造船獎勵認許證書ヲ下付セル船舶ハ九艘計畫總噸數一萬七千六百噸ニシテ同年度中ニ竣工セル汽船ハ七艘總噸數一萬六千九百五十一噸トス其造船所及獎勵金給與額ハ左ノ如シ







百七十一名返還ノ者六百八十六名アリシヲ以テ現在ノ受有者ハ八萬八百二十二名ニ及ヘリ

第二節 海技免狀受有者

三十五年中海員名簿ニ新規登録セラレタル者ハ内國人九百八十八名外國人二十五名又其登録ヲ抹消セラレタル者ハ内國人四百名外國人十一名ニシテ同年末ノ海技免狀受有者ハ内國人一萬五千九百七十七名外國人三百三十三名トス之ヲ前年末ニ比スレハ内國人ニ五百八十八名外國人ニ十四名ヲ増加セリ其詳細ハ左ノ如シ

海技免狀受有者異動及現員

三十五年

種	類	異動		進		退		現員	
		試驗合格	試驗未合格	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人
甲	船長	内國人	200	10	14	3	3	4	200
		外國人	34	1	1	1	1	1	34
乙	船長	内國人	109	13	62	7	3	5	109
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
丙	船長	内國人	275	27	92	90	2	5	275
		外國人	18	4	9	4	1	5	18
甲	一等運轉士	内國人	34	17	14	3	1	3	34
		外國人	55	3	3	1	1	1	55
乙	一等運轉士	内國人	69	23	23	1	3	1	69
		外國人	26	1	1	1	1	1	26
丙	一等運轉士	内國人	277	27	92	90	2	5	277
		外國人	18	4	9	4	1	5	18
甲	二等運轉士	内國人	203	13	62	7	3	5	203
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
乙	二等運轉士	内國人	109	13	62	7	3	5	109
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
丙	二等運轉士	内國人	275	27	92	90	2	5	275
		外國人	18	4	9	4	1	5	18
甲	合計	内國人	200	10	14	3	3	4	200
		外國人	34	1	1	1	1	1	34
乙	合計	内國人	109	13	62	7	3	5	109
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
丙	合計	内國人	275	27	92	90	2	5	275
		外國人	18	4	9	4	1	5	18

種	類	異動		進		退		現員	
		試驗合格	試驗未合格	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人
甲	船長	内國人	200	10	14	3	3	4	200
		外國人	34	1	1	1	1	1	34
乙	船長	内國人	109	13	62	7	3	5	109
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
丙	船長	内國人	275	27	92	90	2	5	275
		外國人	18	4	9	4	1	5	18
甲	一等機關士	内國人	34	17	14	3	1	3	34
		外國人	55	3	3	1	1	1	55
乙	一等機關士	内國人	69	23	23	1	3	1	69
		外國人	26	1	1	1	1	1	26
丙	一等機關士	内國人	277	27	92	90	2	5	277
		外國人	18	4	9	4	1	5	18
甲	二等機關士	内國人	203	13	62	7	3	5	203
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
乙	二等機關士	内國人	109	13	62	7	3	5	109
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
丙	二等機關士	内國人	275	27	92	90	2	5	275
		外國人	18	4	9	4	1	5	18
甲	合計	内國人	200	10	14	3	3	4	200
		外國人	34	1	1	1	1	1	34
乙	合計	内國人	109	13	62	7	3	5	109
		外國人	18	1	8	1	1	1	18
丙	合計	内國人	275	27	92	90	2	5	275
		外國人	18	4	9	4	1	5	18

更ニ其最近十箇年間ニ於ケル毎年末ノ狀況ヲ見ルニ左ノ如シ

海技免狀受有者最近十箇年比較

種	類	二十六年末		二十七年末	
		内國人	外國人	内國人	外國人
甲	船長	190	263	198	286
		155	83	162	93
乙	船長	205	59	205	64
		550	405	565	443
丙	船長	428	10	434	10
		402	10	411	10
甲	一等機關士	262	122	263	135
		381	4	385	4
乙	一等機關士	262	122	263	135
		381	4	385	4
丙	一等機關士	262	122	263	135
		381	4	385	4
甲	二等機關士	381	651	397	788
		381	651	397	788
乙	二等機關士	381	651	397	788
		381	651	397	788
丙	二等機關士	381	651	397	788
		381	651	397	788
甲	合計	381	651	397	788
		381	651	397	788
乙	合計	381	651	397	788
		381	651	397	788
丙	合計	381	651	397	788
		381	651	397	788

管船 船員



備考	三十五年末	三十四年末	三十三年末	三十二年末	三十一年末	三十年末	二十九年末	二十八年末	甲種		乙種		丙種		機關長			
									船長	一等運轉士	船長	一等運轉士	船長	運轉士	一等機	二等機	三等機	
内國人	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
外國人	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八
合計	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五	五三五

備考 本表中船舶職員法施行(三十年)以前ノ海技免狀受有者ハ同法ニ規定セル新舊免狀對照表ニ據リ各相當ノ欄ニ掲記セリ但舊乙種船長免狀中ニハ丙種船長免狀ト又舊乙種一二等運轉手免狀中ニハ丙種運轉士免狀ト交換セラレタルモノアルモ本表ニハ單ニ乙種船長及乙種一二等運轉士免狀ノミニ算入セリ

### 第三節 海技試験

海技試験ハ東京、大阪、長崎、函館ノ各海事局ニ於テ施行スルモノニシテ三十五年中ニ於テハ右ノ外石巻、伏木、三津濱、糸崎ノ各海務署ニ於テモ臨時ニ之ヲ開施セリ而シテ同年中ノ受験者及合格者ハ左ノ如シ

合	運船長及運轉士	機	受		合		受	
			内	外	内	外	内	外
計	甲種	乙種	計	計	計	計	計	計
二四〇五	四六一	五〇三	二四〇五	二四〇五	二四〇五	二四〇五	二四〇五	二四〇五

右ノ外海軍艦艇艇乘組員及商船學校全科卒業生ニシテ無試験免狀付與チ申請セシ者百十四名其内海員試験規程ニ合格スト認メシ者百九名アリ其種類左ノ如シ

- 船長 一五
  - 一等運轉士 一七
  - 二等運轉士 三一
  - 一等機長 一四
  - 二等機長 一〇
  - 二等機關士 二
- 水先人 三〇

### 第十二章 水先人

管船 水先人











開港出入船舶表

三十五年度

比前 シ年 増度 ニ	總計	港				港				合		
		入	出	總噸數	船數	入	出	總噸數	船數	總噸數	船數	
〃 〃 〃	計 外國船 内國船	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
〃	内國船	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	外國船	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	内國船	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	外國船	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

第十五章 航路標識 第一節 總說

航路標識ハ三十五年中官設ニ在リテハ鮭崎大濱ノ兩燈臺、コノセ、センガイ、岩ノ兩挂燈立標、丸山陸標ヲ新設シ、鮭崎燈臺ニ霧笛ヲ設置シ、沖ノ洲及瓦洲ノ兩打鐘浮標ヲ碇置シ、富岡鼻沖及富岡鼻地方ノ兩浮標ハ往年神奈川縣ヨリ内務省ヘ引繼ノ當時流失若クハ撤去ノ儘ナリシヲ同省ニ於テ之カ再碇置ヲ爲セリ、又本牧、鹿ノ瀬、伯方、瀬戸、神殿島ノ各浮標、北中根、權現洲、大礮根ノ各立標ハ其著色又ハ目標ヲ變更シ、富津燈竿ハ基礎ヨリ燈火迄ノ高サヲ變更シ、中ノ洲西及飛ヶ洲ノ兩浮標ハ其位置ヲ移轉シ、花咲燈臺ノ點火ハ從來毎年十一月ヨリ翌年三月迄ナリシカ、本年以降之ヲ毎年十二月ヨリ翌年四月迄ニ變更シ、安波移矢岬燈臺附屬ノ霧笛ハ機關破損ノ爲メ一時吹鳴ヲ停止シ、伯方、瀬戸浮標ハ流轉シ、高瀬挂燈浮標ハ流失シタルニ依リ各、之ヲ其舊位置ニ碇置セリ、公設ニ在リテハ、廣島縣佐伯郡嚴島町ニ於テ龜石燈竿ヲ新設シ、又同町ニ於テ私設鞍掛立標ニ修繕ヲ加ヘテ同町立ト爲シ、之ヲ龜燈籠立標ト改稱セリ、又宮城縣立石卷燈竿ハ燈器ヲ變換セリ、而シテ同年末ニ於ケル現在標識ハ官設百七十二箇、公設五十三箇、私設十五箇ナリ、即チ左ノ如シ

航路標識種類別

三十五年末

種 類	官設	公設	私設	合計	前年				比 シ 増
					官設	公設	私設	合計	
燈臺	110	10	6	126	110	10	6	126	〃
燈竿	5	9	1	15	5	9	1	15	〃
燈船	2	1	1	4	2	1	1	4	〃
標	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
管船	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
航路標識	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
合計	117	20	13	150	117	20	13	150	〃



管船 航路標識

不動燈 二十 十 二十 十 未 滿 上	燈質及其光力		官		公		私		合計 面射 積光
	燈臺	燈竿	燈臺	燈竿	燈臺	燈竿	燈臺	燈竿	
二九	二九	一五	二	九	二	八	一	六	七〇
二九	二九	一五	二	九	二	八	一	六	三六
二九	二九	一五	二	九	二	八	一	六	二八〇
二九	二九	一五	二	九	二	八	一	六	一九

航路標識(燈標燈質光力別)

三十五年末

總計	陸		立		浮		導		燈		燈	
	標官	標公	標私	標公	標官	標公	標官	標公	標官	標公	標官	標私
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八四	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二二九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

備考  
表中\*ハ挂燈ナリ  
導燈ハ前表ニ於テハ之ヲ一箇トセルモ本表ニ於テハ之ヲ二箇トセリ次表亦同シ

燈臺 公 官 設	種類	航路標識構造別	
		竹造	木造
一	煉石造	一	一
七	石造	一	一
三	鐵造	一	一
一	コンクリ造	一	一
一	木鐵造及	一	一
一	石鐵造及	一	一
一	鐵及コンクリ造	一	一
一	合計	一	一

三十五年末

又之ヲ構造燈質及光力等ニ依リテ分テハ左ノ如シ

看守及看守人	合計	警						種	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増
		號霧鐘	號霧笛	標陸	標落	標立	標浮						
看守人	一七二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	
看守人	三三二	一	一	一	一	一	一	官設	公設	私設	合計	前年未ニ比シ増	

三百八







年次	燈		標		浮		立		標		標		合	
	公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設
二十六年末	六	四	三	七	一	一	六	六	一	二	三	三	五	七
二十七年末	七	四	四	五	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
二十八年末	七	三	四	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
二十九年末	八	一	五	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
三十年末	八	七	五	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
三十一年末	八	六	五	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
三十二年末	一〇	六	五	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
三十三年末	一〇	六	五	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
三十四年末	一〇	六	五	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
三十五年末	一〇	六	五	四	一	一	六	六	二	二	三	三	五	六
合計	五三	五二	四八	四六	二〇	二〇	一六	一六	一五	一五	一五	一五	一五	一五

第二節 工事

三十五年度 公設ハ三ニ於ケル航路標識ノ工事概況ハ左ノ如シ  
 大濱燈臺 越伊豫國「コノ瀬」掛燈立標 越伊豫國「センガイ」岩掛燈立標 大島郡國ハ三十三年度以降二箇年度ノ繼續事業ニシテ孰モ三十五年三月二十六日竣工ヲ告ケ同年四月一日ヨリ點火セリ即チ大濱燈臺ハ鐵造六角形ニシテ白色ニ塗り基礎ヨリ頂上マテ四丈八尺ニシテ第四等連閃白色ノ燈器ヲ裝置シ毎十二秒時ヲ隔テ八秒時ノ間三連閃光ヲ發シテ南十五度五十五分東ヨリ南西ヲ經テ北三十八度二十分西マテ百五十七度三十五分間ヲ照輝ス該燈火ハ基礎ヨリ四丈一尺水面ヲ抜

クコト十一丈四尺光力ハ七千燭光ニシテ十六海里半ニ達ス○「コノ瀬」掛燈立標ハ石造圓形ニシテ紅色ニ塗り基礎ヨリ頂上マテ六丈五尺ニシテ無等不動白色ノ燈器ヲ裝置シ北八十六度五十三分東ヨリ東南西北ヲ經テ北三十三度十三分東マテ三百六度二十分間ヲ照輝ス該燈火ハ基礎ヨリ五丈七尺水面ヲ抜クコト二丈七尺光力ハ百燭光ニシテ十海里ニ達ス○「センガイ」岩掛燈立標ハ上部鐵造下部石造圓形ニシテ紅黑橫線ニ塗り基礎ヨリ頂上マテ六丈九尺ニシテ第六等不動白色ノ燈器ヲ裝置シ全度ヲ照輝ス該燈火ハ基礎ヨリ六丈三尺水面ヲ抜クコト四丈六尺光力ハ百燭光ニシテ十一海里ニ達ス  
 水ノ子島燈臺 豊後國 南 白石掛燈立標 佐伯郡國 日御崎燈臺 出雲國 雲川郡國 ハ前年度ノ工事ヲ繼續シ 姫島燈臺 豊後國 東 西ノ「ゴバン」掛燈立標 安藝國 佐伯郡國 中ノ瀬掛燈立標 安藝國 瓦洲浮標 岐國 鹽飽郡 廣 沖ノ洲浮標 廣 岐國 鹽飽郡 南 東 方 本 年 度 ニ 於 テ 新 設 ニ 著 手 セ リ 即 チ 水 ノ 子 島 ハ 三 十 四 年 三 月 十 八 日 ヲ 以 テ 姫 島 ハ 三 十 五 年 九 月 十 四 日 ヲ 以 テ 西 ノ 「ゴバン」ハ 三 十 五 年 八 月 二 十 四 日 ヲ 以 テ 白 石 ハ 三 十 四 年 十 月 十 六 日 ヲ 以 テ 「クダゴ」島 ハ 三 十 五 年 七 月 二 日 ヲ 以 テ 中 ノ 瀬 ハ 三 十 五 年 七 月 二 十 三 日 ヲ 以 テ 日 御 崎 ハ 三 十 三 年 十 一 月 十 六 日 ヲ 以 テ 各 建 設 ノ 工 ヲ 起 シ 白 石 「クダゴ」島 中 ノ 瀬 日 御 崎 ノ 四 燈 標 ハ 本 年 度 内 ニ 竣 工 ヲ 告 ケ 水 ノ 子 島 ハ 工 程 七 分 通 リ 姫 島 ハ 工 程 二 分 五 厘 西 ノ 「ゴバン」ハ 工 程 二 分 通 リ 成 工 セ リ 又 瓦 洲 及 沖 ノ 洲 ノ 兩 浮 標 ハ 三 十 五 年 十 月 中 ニ 之 ヲ 設 置 セ リ 前 者 ハ 鐵 造 截 頭 圓 錐 形 ニ シ テ 黒 色 ニ 塗 リ 後 者 ハ 鐵 造 截 頭 圓 錐 形 ニ シ テ 紅 色 ニ 塗 リ 各 上 部 ニ 格子 製 ノ 櫓 ヲ 組 立 テ 鳴 鐘 ヲ 取 附 ク 水 面 上 ノ 高 サ ハ 各 九 尺 ナ リ



右ノ外本年度ニ於テ野島崎燈臺安房郡ニ爆發警號ヲ設置シタルモ之ヲ實施スルノ運ニ至ラス  
(以上官設)

龜石燈竿<sup>安藝國佐伯郡</sup>廣島縣ニ於テ航路標識條例第二條第一項ニ依リ本省ノ許可ヲ經テ同  
郡嚴島町費ヲ以テ建設シ三十五年七月十三日ヨリ點火セリ其構造ハ鐵造ニシテ白色ニ塗り不  
動白色ノ燈器ヲ裝置シ全度ヲ照輝ス該燈火ハ基礎ヨリ二丈一尺水面ヲ抜クコト二丈二尺ニシ  
テ光力ハ三海里ニ達ス○龜燈籠立標<sup>安藝國廣島</sup>ハ從來私設ニ屬シタリシカ前記嚴島町ニ於テ  
引受ケ之ニ修繕ヲ施シ三十五年七月十三日ヨリ實施セリ其構造ハ上部方柱石造下部築石ニシ  
テ灰白色ニ塗ル水面ヲ抜クコト一丈四尺ナリ(以上公設)

第三節 建設費及維持費

本年度ニ於テ設置<sup>燈標</sup>點火<sup>標</sup>ハシタル官設航路標識ノ建設諸費ハ左ノ如シ

官設航路標識建設費(圓トナ單)		三十五年 度	
建築費	諸機械費	其他諸費	合計
大濱燈臺	一九八〇二	六二五五	二八、七〇八
「コノ」瀨掛燈立標	一六八三一	四、五五〇	二一、八一八
「センガイ」岩掛燈立標	二〇、二〇九	八、二八七	二九、三三三
瓦洲打鐘浮標	七、六五八	一、三〇八	八、九六六
沖ノ洲打鐘浮標	三、八五六	六、五四	四、五一〇
總計	六八、二五六	五、九八七	九三、三三五

右ノ外本年度ニ於テ實施ノ運ニ至ラザリシ日御崎白石、クダゴ島、中ノ瀨ノ各燈標及野島崎爆發  
警號ノ概算額ハ十八萬九千八百五十圓ナリ  
又公設龜石燈竿ノ新設等ニ要セシ金額ハ六百十七圓ナリ  
航路標識ノ増加スルニ從ヒテ之カ維持費モ亦其額ヲ増加セリ今本年度ニ於テ支出セシ各種標  
識ノ維持費ヲ見ルニ左ノ如シ

官設航路標識維持費概算額(圓トナ單)		三十五年 度	
給料	燃料	修繕費	雜費
燈臺	七、七八五	三、二八五〇	一一、七二五
燈竿	四、七三	六〇	一九二
導燈船	二、九八七	一、八五	三、七四
浮標	一一五	一七	六
立標	一九二	九	一九七六
總計	八二、五五一	三三、九〇四	六〇九
前年度ニ比シ増	九、四八六	二、七四〇	一、二七七
合計			三十五年度
			三、百十五
			八、八七九











### 第十七章 日本郵船株式會社

該社第十七期即チ三十四年十月ヨリ三十五年九月ニ至ル一周年間ニ於ケル營業ノ狀況ヲ摘載スレハ内國沿岸航路ハ比年不振ノ商況後半期ニ入りテ稍回復ノ途ニ向ハントセシモ偶々天時常ヲ失シ北海道漁季風雨多クシテ收穫豐ナラス踵テ土用中本州露雨久シキニ亘リ稻田ノ發育ヲ害シタルヲ以テ商況復々萎靡シ竟ニ荷動不活潑ノ裡ニ經過セリ然レトモ一面ニ於テハ物貨聚散ノ利便ヲ講シ通航區域ヲ擴張シ銳意貨物ノ吸收ヲ努メタルヲ以テ積貨ハ前期ヨリモ増加セシト雖モ同業者競争ノ爲メ運賃率頗ル低落セシヲ以テ收入ハ之ニ伴ハサリキ

東洋近海航路ハ概シテ載貨潤澤ナラス即チ韓國線ハ同國ニ於ケル防穀令ノ實施及通貨ノ濫鑄ニ依リ日韓貿易ヲ阻害シ稀有ノ不況ヲ呈シ浦鹽斯德線ハ昨春露國海關稅法ノ變更ニ依リ本邦貨物ノ輸入ヲ阻遏セシ以來不振ノ域ヲ脱セス上海線ハ清國棉花ノ不作ニ依リ載貨充分ナラス上海天津線ハ北清事變後再ヒ之ヲ開航セシモ日尙ホ淺クシテ當初ノ目的トシタル北清地方ヨリ上海ヲ經テ歐米ニ轉送スル貨物ハ僅少ニ過キス又今夏中東洋近海各地ニ惡疫ノ流行アリ爲ニ船内ニ傳播シテ業務上被リタル影響少ナカラス

歐洲航路ハ往航ニ於テ香港ノ載貨増加シ新嘉坡及卑南ハ前期ト大差ナク古倫母ハ曩ニ同業者ノ競争ニ依リ運賃ノ率大ニ低下シタルニ鑑ミ本年七月以降各船主間ニ協約成立セシ結果自ラ

減收ヲ免ガル、ヲ得タリ又復航ハ一般船舶ノ供給過多ナルト東洋ニ向フ普通商品ノ運送依然少ナキトニ因リ收入ハ前期ニ比シ遜色アリ而シテ本航路ハ本年一月ヨリ往航上海寄航ヲ開始シタルニ每航相當ノ貨物アルモ船舶巨大ニシテ該地ニ溯航スルコト不便ナルヲ以テ今ヤ其下流吳淞ニ地ヲ購ヒ適當ノ設備ヲ爲シ歐米二航路船舶ノ繫泊ニ便ナラシムルノ設計中ニ屬ス

米國航路ハ往航相當ノ載貨アリ復航ハ近時太平洋ニ於ケル航業ノ勃興ニ伴ヒ「シヤトル」及附近ノ地ニ出入セル船舶漸ク多ク同方面ヨリ東洋ニ向フ貨物ノ是等ノ船舶ニ吸收シラル、モノ少ナカラサルモ航海回數ヲ増加シタル爲メ往復航ニ於テハ前期ニ比シ多少ノ增收ヲ示シタリ

濠洲航路ハ濠洲ニ於ケル旱魃痛ク其生産ヲ阻害シタルト本邦商界ノ不況トニ因リ日濠間ノ貿易ハ前年ニ引續キ甚タ振ハス且ツ本年七月以降本航路ニ於ケル同業者ノ協約破レ競争ヲ見ルニ至リタル爲メ運賃率ノ低落ヲ來シタリ但シ香港ヨリ濠洲ニ至ル貿易ハ近來増加ノ勢アリ

孟買航路ハ本期中紡績業者ヨリ普通豫約ノ數量以外ニ追加積取ヲ要スル棉花ノ運賃率引下ニ關シ請求アリシヲ以テ共同運送ニ從事スル外國會社ニ提議シ其數量ト期日トヲ限定シテ引下ヲ爲スコトヲ協約セリ而シテ本邦ヨリノ出貨ハ逐年増進ノ勢ヲ維持セリ

旅客ハ浦鹽斯德及北清方面ニ於テ東清鐵道會社汽船ノ定期開航アリタルト一般船舶ノ來往頻繁ナリシトニ因リ減少シタルモノアルモ大體ニ於テ各方面トモ増加ヲ來セリ殊ニ歐洲米國及濠洲ノ三航路ハ依然好況ヲ持續セリ

之ヲ要スルニ本期ノ貨物業務ハ概シテ不況ヲ免カレサリシモ船客業務ノ好況ニ依リ之ヲ補充



スルコトヲ得相當ノ成績ヲ收メタリ  
而シテ本期ニ於ケル船舶ノ航海度數、航海運數、乘客、貨物等ハ左ノ如シ

第十七期	航海度數	航海運數	搭載貨物噸數	乘客人員
前期ニ比シ増	一、七〇八	二、八五二、四四八	二、一七一、七三九	三、三九九、五九九
	二八	一、四六、七八六	七、七、四五四	二、六九〇、八

該社ニ於テ本期以來船舶ノ新造ニ著手シ目下建造中ノ汽船ハ六艘總噸數約一萬八千六百噸ニ及ヘリ而シテ本期末ニ於ケル該社現在船舶ノ艘數及總噸數ハ左ノ如シ

日本郵船株式會社所有汽船		第十七期末	
千噸以上三千噸未満	千噸未滿	船數	總噸數
六千噸以上	三千噸以上六千噸未満	一	二、七九七
計		七〇	三、一八七
前期末ニ比シ減		一	二、七九七

備考 本表ノ外小蒸氣船三十九艘總噸數千八百八噸倉庫船四艘總噸數千八十噸及西洋形輕船九十五艘日本形輕船九十二艘傳馬船小船水船等四十八艘アリ

### 第十八章 大阪商船株式會社

三十五年ニ於ケル該社營業ノ狀況ヲ摘載スレハ臺灣航路ハ本期ノ初ニ於テ頗ル不振ノ觀ヲ呈シタルモ漸次衰況ヲ恢復シ而シテ期末ニ及ヒテハ復タ輸出貨物噸ニ減少スル傾向ヲ呈セリ  
南清航路ハ前期以來社外船ト著シク競争ヲ試ムルノ必要ナキニ至リシモ前年福州ノ大火ニ墮キ本期厦門ニ於テ亦大火アリ加フルニ南清一帶ノ商業不振ト臺灣南部ノ旱魃トヲ以テシ其本航路ノ收入ニ影響シタル所少ナカラス然レトモ厦門内地間ニ於ケル交通ヲ開始スルノ要ヲ認メ本期中厦門石碼間厦門同安間ノ航海ヲ創始セリ  
長江航路ハ本期ニ於テ日本郵船株式會社ノ歐米線ト貨物接續ノ契約ヲ締結シ且ツ在清國輸出商ト特約ヲ結ビ以テ荷客ノ吸收ニカムル所アリシモ該航路ノ主要點タル上海ニ於ケル設備完成セサルヲ以テ未タ充分ナル成績ヲ收ムルコト能ハス殊ニ漢口宜昌間ノ使用船ハ膠座ノ厄ニ遭ヒ荷客攬收ノ好期節ヲ空過シタルハ遺憾ナリトス  
北清航路ハ北清事變以來一時中止シタルモ本期ヨリ再ヒ之ヲ開始セリ然ルニ爲換相場ノ變動ヨリ綿糸燐寸ノ賣行佳良ナラス且ツ復航貨物タル牛莊大豆ハ低廉ナリシヲ以テ未タ充分ノ成績ヲ收メタリト謂フヲ得ス  
韓國航路ハ白銅貨濫造ノ結果對韓貿易ノ不振ヲ醸シ往航貨物モ亦盛況ヲ呈スルニ至ラザリシモ自由渡航ヲ認許セラレシ爲メ往復乘客ノ員數頗ル増加シ殊ニ後半期ニ於テハ韓國南西部一



帶ノ豐作ト本邦東北地方ノ凶作トニ因リ一層米穀ノ輸入ヲ促進シタル爲メ臨時船ヲ増發シ充  
分ノ利益ヲ收ムルコトヲ得タリ又本期ノ央ヨリ開航セル元山線ハ相當ノ利益ヲ收メツ、アリ  
内國航路ハ上半期ニ於テハ各線トモ相當ノ收益ヲ舉クルコトヲ得タリト雖モ後半期ニ於テハ  
虎列刺病流行ニ遭遇シ停船ノ命ヲ受ケタルモノ少ナカラス爲ニ收益甚タ佳良ナラス期末ニ及  
ヒテ九州米ノ輸出一時盛況ヲ呈シタリシモ時恰モ船舶ノ拂底ニ際シ僅ニ臺灣線ノ復航ヲ利用  
シタルニ過キサリシハ殊ニ遺憾トスル所ナリ  
而シテ本期ニ於ケル船舶ノ航海度數航海運數乘客貨物等ハ左ノ如シ

三十五年	航海度數	航海運數	搭載貨物箇數	乘客人員
前期ニ比シ増	七二七五 一、一九六	二七八八三二 三八四、三七五	一六、四七一、〇三九 一、七二五、七八三	一、六三三、五八〇 二二四、九〇〇

又本期末ニ於ケル該社現在船舶ノ艘數及總噸數ハ左ノ如シ

大阪商船株式會社所有汽船 三十五年末

百噸以上五百噸未満	船數	總噸數
五百噸以上千噸未満	二	一、六三九
千噸以上三千噸未満	四〇	一、一四一、一〇〇
三千噸以上	一三	八四、八五

千噸以上三千噸未満	二〇	三六、七九九
三千噸以上	二	六、六三一
總計	七七	六三、四九四
前期末ニ比シ減	三	一、五九九

備考 本表ノ外小蒸氣船二十一艘總噸數五百八十五噸倉庫船四艘總噸數四千六百三十三噸及解船其他二百二十六艘アリ

第十九章 東洋汽船株式會社

三十五年ニ於ケル該社營業ノ狀況ヲ摘載スレハ桑港香港航路ハ從來ノ業務成績ヨリ之ヲ見ル  
モ乘客ハ毎ニ上半季ニ多ク貨物ハ下半季ニ多キヲ例トスルカ如シ然ルニ本季下半季搭載貨物  
ハ著シク減少ヲ示シタリ其然ル所以ノモノ種々ノ原因アルヘシト雖モ要スルニ銀貨ノ暴落、蘇  
西航船ノ増加、臨時船ノ加入及米國ニ於ケル穀類ノ騰貴等ヲ以テ主要ナルモノトス又「マニラ」航  
路ハ前年末開始後引續キ汽船一艘ヲ使用セシカ本期末ヨリ更ニ一艘ヲ加ヘテ二艘ト爲シ每五  
日間ヲ以テ香港「マニラ」ノ兩港ヲ出帆スルコト、セリ之カ爲メ貨客共ニ其數大ニ増加シタルモ  
反對諸會社ニ於テ激烈ノ競争ヲ繼續シタルカ爲メ運賃頗ル低落ヲ示シタリ而シテ本期ニ於ケ  
ル船舶ノ航海度數航海運數乘客貨物等ハ左ノ如シ

三十五年	航海度數	航海運數	搭載貨物噸數	乘客人員
前期ニ比シ増	八二六 六、六四	三〇七、二七五 六〇、三七五	一〇五、七五九 七、七五五	一九九、三三 八、三七六



又本期末ニ於ケル該社現在ノ汽船ハ六千噸以上ノモノ三艘總噸數一萬八千六百四十六噸三千噸以上ノモノ二艘總噸數七千七百四十五噸合計五艘總噸數二萬六千三百九十一噸ナリ

### 第二十章 大東汽船株式會社

三十五年度ニ於ケル該社營業ノ狀況ヲ摘載スレハ上海蘇州線ハ前期ヨリ同業反對二會社ト競争ノ爲メ運賃半減ヲ繼續シテ本年一月ニ至レリ幸ニ當初目算ノ如ク反對會社ノ困憊殊ニ甚タシク運賃協定ノ機熟セルヲ以テ契約ヲ締結シ同月末ヨリ之ヲ實施セリ然ルニ本線路ニハ尙ホ協定ニ加盟セサル二會社アリテ該社ノ運賃引上ケニ乘シテ貨客ヲ奪ハントセルヲ以テ同盟三會社ハ更ニ此二會社ニ向ヒテ競争ヲ開始シ二月五日ヨリ再ヒ運賃ヲ低減シテ之ニ當レリ此ノ如ク再度運賃低落セルヲ以テ乘客數ハ更ニ非常ニ増加ヲ來シ每航殆ト滿載ノ姿ナレトモ期ヲ通シテ競争ヲ絶タサリシヲ以テ其收入ハ甚タ多カラス

上海杭州線モ上海蘇州線ト同シク前期ヨリ運賃半減ノ競争ヲ持續シ來リシモ三社協約成ルト共ニ運賃ヲ引上ケタリ幸ニ本線路ニハ他ノ競争者ナキヲ以テ契約ヲ履行シテ大ニ營業上ノ利益ヲ認ムルニ至レリ  
蘇州杭州線ハ幸ニシテ依然競争ノ外ニ立チ順當ナル發達ヲ示セリ又蘇州鎮江線ハ當期中ニ開始セル所ニシテ兩地ヨリ隔日ノ航行ヲ營メリ而モ十二月ニ至リ減水甚タシク常州附近河底淺深ノ未タ成ラサルアリ爲ニ常州鎮江間ハ航行スル能ハサルヲ以テ已ムナク蘇州常州間ノ航行ニ止メ以テ期末ニ及ヘリ

而シテ本期ニ於ケル船舶ノ航海度數航海哩數乘客貨物等ハ左ノ如シ

三十五年	航海度數	航海哩數	搭載貨物箇數	乘客人員
前期ニ比シ増	一七七八	二八五二七〇	一八五二五八	三三四四七
	一八一	四九四二〇	四七二二八	四九二二九

又同期末ニ於ケル該社現在ノ船舶ハ引船用汽船十艘二百十五噸被曳船十艘三百六十噸ナリ

### 第二十一章 大家七平

大家七平ハ其所有汽船凱旋丸總噸數一七九〇交通丸總噸數一六〇〇ノ二艘ヲ以テ命令航路ノ航通ニ從事セリ三十五年中日本海線ニ於テ輸送シタル乘客貨物等ハ左ノ如シ

三十五年	航海度數	航海哩數	搭載貨物噸數	乘客人員
前期ニ比シ増	一五	五三二八一	一八〇〇〇	六一五四
	七	三三九三九	一一二九九	二九一六

### 第二十二章 東京海上保險株式會社

該社ノ三十五年度自一月至十二月ニ於ケル契約保險金額ハ三億三千二百五十萬九千七百圓其内再保險ニ附セシ金額ハ一億二千四百二十六萬七千四百圓即チ正味ノ契約保險金額ハ二億八百二十四萬二千三百圓ナリトス而シテ前年度ノ船舶及貨物保險竝ニ收入支出ノ狀況ハ左ノ如シ







備考	被		救		助		救		助	
	船數	同上價格	貨物價格	人員	船數	人員	船數	人員		
三十五年度	349	74,549	275,295	1,687	67	782	78	993		
前年度ニ比シ増	93	9,689,950	167,047	155	78	993				

備考 表中 \* ハ汽船及帆船ニシテ其他ハ石數船ナリ

又本年度末ニ於ケル該會ノ會員ハ二萬三千四百八十四名ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ五千五十八名ヲ増加セリ



# 附 録

又本年度末ニ於ケル該會ノ會員ハ二萬三千四百八十四名ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ五千五十八名ヲ増加セリ

備考	被 救		助 救	
	船 數	同 上 價 格	貨 物 價 格 一 人	員 船 數 人 員
三十五年	三〇四	七〇四,五〇九	二七五,二九五	一六八七
前年度ニ比シ増	九一	九六,八九〇	一六七,〇四七	一五五
				七六

備考 表中ハ汽船及帆船ニシテ其他ハ石敷船ナリ



總務

遞信省所屬高等官俸給別

三十五年度末

官名	年俸	親任																		
		大	總務長官	官房長	局長	參事官	鐵道局長	遞信技師	鐵道技師	商船學校長	局長									
	圓六千																			
	圓四千																			
	圓五千三百																			
	圓三千																			
	圓五千二百																			
	圓二千二百																			
	圓二千																			
	百千八																			
	百千六																			
	百千四																			
	百千二																			
	圓千																			
	千圓																			
	圓九百																			
	圓八百																			
	圓七百																			
	圓六百																			
	圓五百																			
	圓五百四十																			
	合計																			

附錄 總務

三百五十一







官名	月俸	前年度末ニ比シ増
總計	七十五圓	八
官名	六十五圓	三六
官名	五十圓	三六
官名	四十五圓	八三
官名	四十圓	九五
官名	三十五圓	九二
官名	三十圓	七〇
官名	二十五圓	一一
官名	二十圓	一八八
官名	十五圓	一七
官名	合計	九七

備考 本表ノ外左ノ判任官アリ又小笠原島嶼書記ヲ兼ナルモノ一人アリ

官名	月手當	前年度末ニ比シ増	
		前年度末	比シ増
官名	十圓(一級)	五	六
官名	七圓(二級)	四	二
官名	五圓(三級)	五	二
官名	四圓(四級)	五	二
官名	三圓(五級)	八	七
官名	二圓(六級)	一	〇
官名	合計	二〇	二〇

鐵道

私設鐵道哩程運輸數量運賃等各區間別

三十五年 又

地方會社名	區間	哩程	停車場	乘車人員	發送手小荷物及貨物噸數	運客		運貨	
						旅客	手小荷物及貨物	計	計
日本	上野前橋間	六九.〇九	一九	四二〇,一七	二二六,六三三	一,四二〇,七三	三三三,三三	一,七四三,三九七	七,七三三,四二七
	大宮白河間	九九.〇三	二二	一,二四二,六五〇	二五三,九三九	三,九四八,〇七	三七八,六二〇	七,七三三,四二七	七,七三三,四二七
	仙臺盛岡間	一〇一.四一	二〇	一,五六一,六四五	九一,三三七	五,三八〇,九八	二二六,八八六	七,六四九,九八四	七,六四九,九八四
	盛岡青森間	一一.七四	二二	八,一四七,七〇六	九三,二七六	三,一四七,七〇七	三〇三,二四六	六,一七九,五三三	六,一七九,五三三
	上野秋葉原間	一一.一五	一	四九二,八二〇	九三,五七五	三,〇六八,一一	三〇三,二四六	六,四九三,一一九	六,四九三,一一九
	品川赤羽間	一一.七六	七	一,二六九,一五八	二七,四一〇	一,三六九,九七	二八〇,一七	一,六四九,九四	一,六四九,九四
	海濱線	二四八.二六	六六	二,九六二,九一四	九四八,〇七九	七,〇三六,一五	一,八八四,七九二	二,五八八,四〇七	二,五八八,四〇七
	宇都宮日光間	二五.〇〇	五	三,八七五,八一	五七,〇一七	一,六二〇,七九	九四,九四六	二,五七〇,二五	二,五七〇,二五
	岩手盛岡間	四二.四	一	一,二九五,二〇	四六,二九四	三,三三二,一一	一一三,七二	一,四七五,三三三	一,四七五,三三三
	尻内湊間	五〇.七五	二	九八九,八六	一八,〇五五	二,九一七,八一	七〇,八八八	一,〇〇〇,六六	一,〇〇〇,六六
	小前橋間	八〇.七五	一	一,六二七,八〇九	七七,六〇三	三,四八六,五三	一〇四,二二四	四,五二八,七七	四,五二八,七七
	他鐵道所屬ノシテ	八五七.〇七	一	八六二,六五九	二八五,二八五	三,五四〇,二〇	五四,一七六	八,九五七,八五	八,九五七,八五
計		八五七.〇七	一九七	一五,五五一,五六五	二,三九二,三二六	四,七四二,八三一	五,一五二,七三一	九,八九五,五六二	九,八九五,五六二
神戶下關間		三三〇.六九	八〇	六八六,一九〇五	七,二五九,三三	一,九九三,五八〇	六三九,九〇〇	二,六三三,四八〇	二,六三三,四八〇

附錄 鐵道



附錄 鐵道

州		奈良		川越		青梅		播但		總武		佐野	
大千	網葉	七條	他鐵	國分	他鐵	立川	他鐵	飾磨	他鐵	本所	他鐵	葛生	計
東大	東大	櫻井	所屬	所屬	所屬	日向	所屬	新井	所屬	新生	所屬	越名	計
東	東	井	ノシ	ノシ	ノシ	和田	ノシ	井	ノシ	生	ノシ	間	計
金	金	間	分テ	分テ	分テ	間	分テ	間	分テ	間	分テ	間	計
原	原	間	分テ	分テ	分テ	間	分テ	間	分テ	間	分テ	間	計
間	間	間	分テ	分テ	分テ	間	分テ	間	分テ	間	分テ	間	計
三九三	三八一	三八一	一八三	一八三	一八三	一三〇	一三〇	三三三	三三三	七二二	七二二	九五六	二六〇
一四	一八	一八	七	七	六	六	六	一六	一六	二五	二五	六	一〇
四九三	一六四	一五七	五五八	四三九	二〇二	一六三	五三三	一七二	二二二	二二〇	二二〇	一六七	一〇七
五四四	九一七	四八二	七七一	四九六	五九三	五九三	八二〇	二二二	三三〇	三三〇	三三〇	一五四	三五二
一〇七	二六	二六	六三	一七〇	二〇三	一五二	九〇	八二	七九	七九	七九	一四	二六
四〇四	三七〇	一五八	二二	一三〇	一六〇	一四七	四八	六九	二二	二二	二二	一八	二二
一四七	二九	三三	八五	三〇	三六	七〇	一三	九三	二二	二二	二二	三〇	二八

三百三十六

本		山陽		甲武		關西		參宮	
廣島	他鐵	飯田	他鐵	名古	龜山	加茂	王寺	天王	山田
宇品	所屬	町	所屬	屋	津	草津	櫻井	寺	津
品	ノシ	八	ノシ	湊	間	間	間	大	間
間	分テ	子	分テ	町	間	間	間	阪	間
間	分テ	間	分テ	間	間	間	間	間	間
間	分テ	間	分テ	間	間	間	間	間	間
三三三	三三三	二六	二六	一〇七	九五	三三	三三	六四	二六
二	二	一五	一五	三三	三三	三三	三三	一〇	一〇
一五七	九二	四〇	三三	一八	二〇	二〇	二〇	八	八
二六八	二六八	一三	一三	三〇	三〇	三〇	三〇	二	二
四六八	四六八	三三	三三	一八	一八	一八	一八	一	一
四七四	四七四	三三	三三	一八	一八	一八	一八	一	一
四六四	四六四	三三	三三	一八	一八	一八	一八	一	一
四六四	四六四	三三	三三	一八	一八	一八	一八	一	一

三百三十六



州	本						地方 名會社
	尾西	高野	南海	豐川	北越	上野	
大阪	彌富 新一宮間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	沙見橋 長野間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	難波 和歌山市間 天下茶屋天王寺間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	吉田 長篠間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	直江津 沼垂間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	高崎 下仁田間	區 間
安治川口間	計	計	計	計	計	計	哩
三三二	一五、四六	一七、三二	四、四三	一八、三六	八、四二	二、〇〇	乘車人員
四	七	二	一九	二	二五	八	及貨物噸數
五〇、八四二	四七、三九四	一〇、七三二	三三、七九二	五、四七二	一、二二九	三、九三二	運客
一、八五三	三、六一七	三、七二九	一、四二五	三、五二一	一、五三三	三、三九〇	及手小荷物
一、八三七	四、八九五	七、七七一	五、四八二	七、五二九	三、九二九	四、八一八	計
九、七〇七	八、四六三	九、五六六	六、七五三	九、〇五七	一、四〇八	一、七二二	
二、八〇七	五、七四二	八、七二二	六、二五七	八、四三五	五、三三一	六、五三〇	

中越	本						地方 名會社
	阪鶴	京都	成田	南和	房總	高田	
伏木 城端間	尼崎 福知山間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	京都 園部間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	成田 佐倉間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	我孫子 佐原間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	高田 川端間 當他鐵道所屬ノシテ分テ	當他鐵道所屬ノシテ分テ	區 間
計	計	計	計	計	計	計	哩
三、〇六	六、八三三	三、二一六	四、五〇六	一、六六〇	三、九三二	一、〇〇	乘車人員
一〇	二六	七	二二	七	一四	一	及貨物噸數
五、三、八九三	一、三〇、二六五	九、七、一一〇	一、一〇、六七七	五、三、七、七二	三、三、七、六三二	八、三、〇、五二	運客
五、八、四、三九	一、三、二、一、八三	三、八、五、七〇	一、七、五、二、八	六、〇、一、八五	二、八、五、〇、七	九、九、七、九	及手小荷物
六、〇、八、七六	三、三、六、三〇〇	一、一、一、五、三、六	一、六、三、三、三三	七、一、七、三三	三、三、九、七、五	三、一、二、七、七	計
一、九、六、〇二	一、二、二、二、八四	五、八、三、六、八	三、七、三、二二	一、八、七、五、三	一、〇、一、五、八	六、七、三、三	
八、〇、四、七	四、五、八、五、八	一、六、九、九、〇	二、〇、九、七、〇	九、〇、四、八、六	四、三、一、三、三	三、八、〇、一〇	



州		水戸		上武		龍崎		東武		河南		中國		合計	
合計	計	水戸 當他 會社 所屬 ノシテ	水戸 太田間 計	上武 當他 會社 所屬 ノシテ	熊谷 寄居間 計	龍崎 龍ヶ崎 佐貫間 計	東武 當他 會社 所屬 ノシテ	吾妻橋 加須間 計	河南 當他 會社 所屬 ノシテ	栢原 長野間 計	中國 當他 會社 所屬 ノシテ	岡山市 津山間 計	合計	計	計
二二九二.六七	二二九二.六七		二二.一一		一一.五三		三三.三〇		一〇.三三		三四.七六		三九.一一	二二九二.六七	二二九二.六七
七〇七	七〇七	六	六	五	五	四	一七	五	一〇	一〇	一〇	一一	一一	七〇七	七〇七
五九九六〇.〇九五	五九九六〇.〇九五	一七〇.三三〇	一七〇.三三〇	二二九.六八三	九九.八一	一〇二.〇五七	一一.一九五	二八六.七二二	八〇.〇五五	三三七.八〇五	七.四九八	二〇八.一七七	五五.五五〇	五九九六〇.〇九五	五九九六〇.〇九五
六.二二九.六一七	六.二二九.六一七	二四.八五八	二四.八五八	一六.四六三	九.七七九	二.四九四	四.〇七四	二二.一九六	五.二〇五	五八.五七三	一四.八五四	五五.五五〇	二.〇八四	六.二二九.六一七	六.二二九.六一七
一三.四三三.九三九	一三.四三三.九三九	二九.二〇五	二九.二〇五	二〇.三三七	一四.〇七二	五.六七四	一三.六〇二	五八.三三四	六.五三八	一〇二.一一四	九.七〇九	八〇.七〇三	一.九三九	一三.四三三.九三九	一三.四三三.九三九
七.六五四.六四九	七.六五四.六四九	八.七六五	八.七六五	五.七〇九	二.七〇三	九.一一三	二.二八七	二〇.三三八	八.二七	四三.八三七	一一.五〇七	五九.三三四	一.四〇.四三	七.六五四.六四九	七.六五四.六四九
二.一〇.八八.五八八	二.一〇.八八.五八八	三.七九七.〇	三.七九七.〇	二.五九.四六	一.六.七七五	六.五八七	一.五八.八九	六.四八一	七.三六五	一.四.五九六	一.七.六八八	一.四〇.四三	二.五八.二	二.一〇.八八.五八八	二.一〇.八八.五八八

地方		本		西成		紀和		七尾		豆相		近江		岩越		合計	
名	會社	西成 當他 會社 所屬 ノシテ	和歌山市 五條間 計	紀和 當他 會社 所屬 ノシテ	矢田新 津幡間 計	三島 大仁間 計	彦根 貴生川間 計	近江 當他 會社 所屬 ノシテ	郡山 若松間 計	岩越 當他 會社 所屬 ノシテ	合計	計	計	計	計	計	
哩	程	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四	三三.二四
停車場	乘車人員	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
發送手小荷物 及貨物噸數	運客	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇
手小荷物 及貨物	計	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四	二.〇八四
計	計	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇	一七.一〇〇







度末ノ調査ニ依リタルト、本表ニハ支線ハ各驛間ノ哩程ニ依リテ計算シ他表ハ分岐點ヨリ起算シタルト本表ニハ運輸休止中ノ線路ヲ控除シタルトニ因ル  
 乗客及其運賃ノ他表ト符合セサルハ定期及回数乗車ニ係ルモノヲ算入セサルニ因ル但日本鐵道ハ本表中ニモ算入セリ  
 手小荷物及貨物ノ數量及運賃ノ他表ト符合セサルハ貴重品ノミヲ算入ス  
 鐵道ハ總テ本表中ニモ算入シ九州鐵道ハ貴重品ノミヲ算入ス

鐵道停車場數乗客人員別

三十五年度又  
 八三十五年

以上通信省所管計	官										地方 線名又ハ 會社名	
	九州 鹿兒島線	計	陰陽線	篠ノ井線	中央東線	中央西線	奧羽南線	奧羽北線	北陸線	信越線		東海道線
一三	一	二二	二	一	二	二	三	三	一	一	一	未滿一萬人
二八	一	二七	四	二	二	三	二	五	一	二	六	一萬人以上 二萬人未滿
五九	一	五八	一	五	五	二	六	八	六	九	一六	二萬人以上 五萬人未滿
六〇	二	五八	一	一	一	三	四	七	七	七	三五	五萬人以上 十萬人未滿
三七	一	三六	一	一	一	二	一	六	三	三	二二	十萬人以上 二十萬人未滿
二〇	一	二〇	一	一	一	一	一	二	三	一	一五	二十萬人以上 五十萬人未滿
五	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	五	五十萬人以上 百萬人未滿
五	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	五	百萬人以上
二七	六	三三	七	九	八	九	一	五	二	三	二四	合計

設 道北 道北 道海 所道 管鐵	私															合 計										
	日 本 鐵 道	山 陽 鐵 道	甲 武 鐵 道	關 西 鐵 道	參 宮 鐵 道	佐 野 鐵 道	總 武 鐵 道	播 磨 鐵 道	青 島 鐵 道	川 越 鐵 道	奈 良 鐵 道	房 總 鐵 道	南 部 鐵 道	成 田 鐵 道	京 阪 鐵 道		中 國 鐵 道	上 野 鐵 道	北 上 鐵 道	豐 川 鐵 道						
一六	二九	二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
九	三七	三二	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	六二	七三	一五	四	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一	六〇	四三	一三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一	三八	二八	一四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一	二〇	一二	八	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二九	二五六	一九四	六二	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六

附錄  
鐵道







設		州																				
國四	計	水	上	龍	東	河	中	岩	近	豆	七	紀	西	尾	高	南	豐	北	上	中	阪	
伊	豫	戶	武	崎	武	南	國	越	江	相	尾	和	成	西	野	海	川	越	野	越	鶴	
二	六二																					
	三三																					
三	七四																					
四	七六																					
四	一三〇																					
三	一六二																					
二	八四																					
一	六三																					
	三四																					
	六																					
	五																					
	二																					
一九	七三〇																					

三百四十九

私											官									
本											合	道北海 道北海 部海 所道 管鐵	以上 逡信 省所 管計	九州 鹿兒 島縣	地方 會社 名又 八					
京	成	南	房	奈	川	青	播	總	佐	參						關	甲	山	日	
都	田	和	總	良	越	梅	但	武	野	宮	西	武	陽	本	計					
																六		六		未百 滿噸
																		六		百噸以上 二百噸未滿
																一七	二	一五		二百噸以上 五百噸未滿
																二六	三	二三		五百噸以上 千噸未滿
																三七	三	三四		千噸以上 二千噸未滿
																六三	六	五七		二千噸以上 五千噸未滿
																四二	四	三八		五千噸以上 一萬噸未滿
																二七	六	二二		一萬噸以上 二萬噸未滿
																二二	四	一七		二萬噸以上 五萬噸未滿
																二		二		五萬噸以上 十萬噸未滿
																				十萬噸以上 二十萬噸未滿
																				二十萬噸以上 噸以上
八	二	九	一	四	一	九	八	七	一	六	二	五	六	二	一	二五	二九	三三		合計

三百四十八























備考  
表中△ハ定期開業ノモノナリ  
附錄 通信

總計	韓清	合	島兒鹿		津度多			澤金		森
			計	計	計	計	計	計	計	
四、一四七	一〇	四、二二五	二〇六	二七	五八	八四	八四	四九	五七	二六六
一、三六七	八	一、三五六	三九	七	二〇	二五	二四	一七	二六	七四
五、五一四	一八	五、四八一	二四五	二九	七八	九九	一〇八	五八	八三	三四〇
		四、五	五、一	五、四	三、五	四、六	三、二	三、八	三、三	六、六
		八、三、四九	八、五、四三	一、六、七、九七	八、六、七、六	八、五、八、一	六、三、〇、六	九、二、四、八	一、一、九、九、四	八、六、六、九
一、六二五	三	一、六二二	六八	五	三三	三三	三〇	一八	三二	九二
五七五	六	五六九	三		一八	五	三	五	五	三三
二、二〇〇	九	二、一九一	七一	五	二七	二六	三五	三三	三八	二四
		一一、三	一七、六	三、四	一〇、六	一七、五	九、七	四、九	七、一	一八、二
		二〇、八、八五	二九、四、八〇	九、七、四、二五	二六、八、一〇	二四、〇、一一	二八、五、三七	一九、〇、〇九	一八、九、三五	一七、四、三三

三百六十一

青	長野	宮都宇	島廣	臺	仙	熊本	局管轄	郵便及郵便爲替、郵便貯金		電	
								局	所	局	所
秋巖青	長	茨群栃	山島廣	山福宮	熊本	局管轄	局	所	局	所	
田手森	野	城馬木	口根島	形島城	計	地方	計	計	計	計	
九一	七六	九六	一〇三	九七	二八一	局	三三	三三	一〇六	二六	
九九	七六	六九	八七	九七	九二	所	三三	三三	三三	二六	
七六	七六	七七	八七	九七	九二	計	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	面	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	積	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	人	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	口	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	局	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	所	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	計	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	面	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	積	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	人	三三	三三	三三	二六	
二二	二二	二二	二二	二二	二二	口	三三	三三	三三	二六	

三百六十



本表ノ外東京府ニ窓口引受及郵便爲替、郵便貯金業務ヲ取扱ハサル郵便支局一、小包郵便及郵便爲替、郵便貯金業務ヲ取扱ハサル定期開設ノ郵便電信取扱所一及北海道廳ニ小包郵便及郵便爲替、郵便貯金業務ヲ取扱ハサル船中設置ノ郵便取扱所二アリ

郵便切手賣下所及郵便函數各地方別

三十五年度末

局管轄	東 京				大 阪		京 都	
	東 京	千 葉	山 梨	大 阪	和 歌 山	京 都	滋 賀	計
管轄地方	1,880	1,130	1,442	5,101	1,457	846	933	2,736
郵便切手賣下所	1,880	1,130	1,442	5,101	1,457	846	933	2,736
柱	1,610	1,142	1,442	2,040	768	94	141	592
函	506	1,142	1,183	3,336	793	763	791	1,603
掛	506	1,142	1,183	3,336	793	763	791	1,603
便	2,116	1,288	1,442	5,476	1,561	857	933	2,195
計	2,116	1,288	1,442	5,476	1,561	857	933	2,195
面積一方里	1,618	4,148	4,142	5,476	1,335	4,142	3,36	4,0
函數ニ付人口	951	908	850	906	626	745	716	759

局管轄	東 京		大 阪		京 都		神 戸		長 崎		名 古 屋		熊 本	
	東 京	千 葉	山 梨	大 阪	和 歌 山	京 都	鳥 取	兵 庫	長 崎	佐 賀	名 古 屋	三 岐	熊 本	大 分
管轄地方	1,880	1,130	1,442	5,101	1,457	846	933	2,736	591	1,034	1,137	1,526	1,342	933
郵便切手賣下所	1,880	1,130	1,442	5,101	1,457	846	933	2,736	591	1,034	1,137	1,526	1,342	933
柱	1,610	1,142	1,442	2,040	768	94	141	592	86	257	333	405	405	140
函	506	1,142	1,183	3,336	793	763	791	1,603	403	821	1,133	1,186	1,015	805
掛	506	1,142	1,183	3,336	793	763	791	1,603	403	821	1,133	1,186	1,015	805
便	2,116	1,288	1,442	5,476	1,561	857	933	2,195	589	1,078	1,409	1,591	1,484	945
計	2,116	1,288	1,442	5,476	1,561	857	933	2,195	589	1,078	1,409	1,591	1,484	945
面積一方里	1,618	4,148	4,142	5,476	1,335	4,142	3,36	4,0	3	2	2	5	1	2
函數ニ付人口	951	908	850	906	626	745	716	759	1,000	1,456	779	1,022	1,327	890

附録 通信







備考 本表ノ外船中設置ノ郵便切手賣下所九十二郵便函二百十二アリ之ヲ前年度末ニ比スレハ郵便切手賣下所ニ郵便函ニ十二ヲ増加セリ

各一二等及在外郵便及電信局職員

三十五年度末

局名	種別										合計							
	事務官	官事務	技師	書記	書記補	技手	雇員	合計	集配人	直備送人		郵便夫	海陸電信工	信使	給仕	小使	其他	合計
東京	二	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大阪	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
京都	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
神戶	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
長崎	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
札幌	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
新潟	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
名古屋	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
熊本	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
仙臺	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
廣島	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
宇宮	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
長野	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
青森	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
金澤	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

局名	種別										合計							
	事務官	官事務	技師	書記	書記補	技手	雇員	合計	集配人	直備送人		郵便夫	海陸電信工	信使	給仕	小使	其他	合計
千府	二	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
甲府	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
浦和	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八王子	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
和歌山	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
奈良	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
堺	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
新宮	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東舞鶴	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大津	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
靜岡	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
横須賀	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
岡崎	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
鳥取	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
姫路	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
米子	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
津賀	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
佐賀	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

附録 通信























